

## 第5章 商店街アンケート調査結果

# I. 調査実施概要

## 1. 調査の目的

県内に立地する商店街を対象としたアンケート調査により、商店街の活動状況及び問題点等を把握する。

## 2. 調査の対象・方法

### (1) 調査の対象

商店街組織を有する県内全商店街 570 団体(商店街振興組合、事業協同組合、任意団体。アンケート調査で既に解散または活動実態がないと回答があった団体を除く)

### (2) 調査の方法

#### ① 調査方法

郵送配布、郵送回収または Web 画面に入力して回答

#### ② 調査時点

令和4年 10 月 1 日現在(前回調査:平成 29 年 10 月 1 日現在)

#### ③ 回収結果

有効回答数 327(回収率 57.4%)

## 3. 調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、原則として回答率(%)を表記しており、小数第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が 100.0%とならない場合がある。また、1つの商店街が2つ以上の回答をしてもよい設問(複数回答)では、一般的に回答率は 100.0%を上回る。
- ・複数回答の設問のみ、その旨を図表に記載した(単数回答の設問にはその旨を記載していない)。
- ・本文や図表上の選択肢表記等は、場合によっては語句を簡略化してある。
- ・本文中の「n」はその設問の有効回答数を示す。
- ・属性別に集計して作成した図表は、無回答がある場合、各属性の有効回答数の合計は、無回答の数だけ全体の有効回答数より少なくなる。
- ・前出の設問に一定の回答をした商店街のみが回答する設問の有効回答数は、その一定の回答をした商店街の数となる。
- ・本調査は、母集団の全てを調べる全数調査の方法により行った。一般的に、全数調査は標本調査に比べてより正確な結果を得られるが、全数調査においても対象者が回答をしなかったことによる誤差(非回答誤差)や誤回答による誤差が生ずることがある。本調査では、属性ごとの特徴を把握するためにクロス集計を行ったが、回答数が比較的少ない属性の集計値については、非回答誤差等により真の値との乖離幅が相対的に大きい可能性がある。

・図表の一部には、以下の調査の結果を併記しており、本文や図表では、それぞれ次のおり表記している。

○「千葉県商店街実態調査」(平成 29 年度、千葉県商工労働部実施)：「平成 29 年度」

○「千葉県商店街実態調査」(平成 20 年度、千葉県商工労働部実施)：「平成 20 年度」

・本文や図表上に掲載している各地域及びブロックの区分は以下のとおりである。A地域とB地域は、都心との近接性やそれに伴う人口動態等に鑑みて分類した。

地域	ブロック	該当市町村
A地域	千葉	千葉市、習志野市、市原市、八千代市
	葛南	市川市、船橋市、浦安市
	東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
	印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
B地域	香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
	海匝	銚子市、匝瑳市、旭市
	山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、芝山町
	長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
	夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
	安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
	君津	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

・本文では、地域とタイプの2つの要素に基づき、県内の商店街を「A地域・近隣＋地域型」、「A地域・広域＋超広域型」、「B地域」の3つの類型に分けて分析を行っている。

## II. 調査結果

### 1. 商店街の概要

#### (1) 商店街数

商店街数の合計は 570 団体であった。平成 29 年度調査(団体)と比較すると、92 団体減少し、減少率は 13.9%であった。

ブロック別に見ると、減少率が最も高いのは長生で 38.9%、次いで香取(28.6%)、夷隅(23.1%)などとなっている。

図表 67 商店街数の推移(県全体、ブロック別)

		平成20年度 (A)	平成29年度 (B)	令和4年度 (C)	対平成20年度		対平成29年度	
					増減数 (C-A)	増減率 (%)	増減数 (C-B)	増減率 (%)
A地域	千葉	149	125	108	▲ 41	▲ 27.5	▲ 17	▲ 13.6
	葛南	143	122	112	▲ 31	▲ 21.7	▲ 10	▲ 8.2
	東葛飾	215	183	160	▲ 55	▲ 25.6	▲ 23	▲ 12.6
	印旛	73	66	63	▲ 10	▲ 13.7	▲ 3	▲ 4.5
	小計	580	496	443	▲ 137	▲ 23.6	▲ 53	▲ 10.7
B地域	香取	41	35	25	▲ 16	▲ 39.0	▲ 10	▲ 28.6
	海匝	27	26	22	▲ 5	▲ 18.5	▲ 4	▲ 15.4
	山武	17	11	10	▲ 7	▲ 41.2	▲ 1	▲ 9.1
	長生	23	18	11	▲ 12	▲ 52.2	▲ 7	▲ 38.9
	夷隅	14	13	10	▲ 4	▲ 28.6	▲ 3	▲ 23.1
	安房	25	18	14	▲ 11	▲ 44.0	▲ 4	▲ 22.2
	君津	52	45	35	▲ 17	▲ 32.7	▲ 10	▲ 22.2
小計	199	166	127	▲ 72	▲ 36.2	▲ 39	▲ 23.5	
県全体	779	662	570	▲ 209	▲ 26.8	▲ 92	▲ 13.9	

出所:千葉県商工労働部経営支援課

#### (2) 地域の状況

ブロック別に人口と商店街数の関係を見ると、人口が最も多いのは千葉であるが、商店街数では、最も多いのは東葛飾(160 団体)、次いで葛南(112 団体)、千葉(108 団体)などとなっている。

人口1万人当たりの商店街数を見ると、多い順に香取(2.46 団体)、夷隅(1.52 団体)、海匝(1.45 団体)となっている。少ない順では山武(0.51 団体)、千葉(0.67 団体)、長生(0.78 団体)となっている。

図表 68 人口と商店街数の関係

		人口 (人)	商店街数	1万人当たり 商店街数
A地域	千葉	1,623,063	108	0.67
	葛南	1,312,550	112	0.85
	東葛飾	1,528,767	160	1.05
	印旛	716,800	63	0.88
	小計	5,181,180	443	0.86
B地域	香取	101,531	25	2.46
	海匝	152,136	22	1.45
	山武	194,843	10	0.51
	長生	141,162	11	0.78
	夷隅	65,706	10	1.52
	安房	116,256	14	1.20
	君津	322,464	35	1.09
	小計	1,094,098	127	1.16
県全体		6,275,278	570	0.91

出所：人口＝千葉県総合企画部「千葉県毎月常住人口調査」（令和4年10月1日時点）  
 商店街数＝千葉県商工労働部経営支援課（令和4年4月1日時点）

### (3) 商店街の組織形態（問1-1）

有効回答 327 商店街の多くは、非法人である「任意団体」の組織形態をとっている(69.7%)。

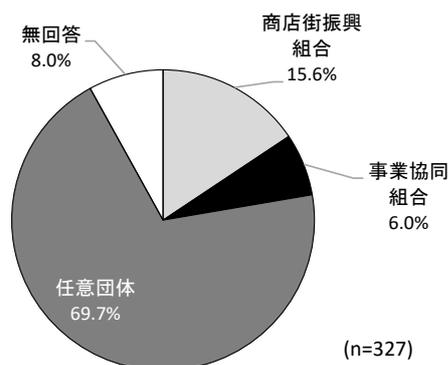
法人化している商店街の内訳を見ると、商店街振興組合法に基づく商店街振興組合（以下「振興組合」）が15.6%、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合が（以下「協同組合」）が6.0%となっている。

ブロック別に法人化率を見ると、最も高いのは山武(58.4%)で、次いで安房(44.0%)となっている。

一方、最も低いのは印旛(9.4%)で、次いで海匝(15.4%)となっている。

今後、法人化を予定している商店街が葛南と印旛に1団体ずつある。

図表 69 商店街の組織形態



図表 70 商店街の組織形態(県全体、ブロック別)

(単位:団体、%)

		県全体	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
振興組合	回答数	51	7	11	19	1	3	1	1	1	0	1	3
	割合	15.6	13.7	21.6	37.3	2.0	5.9	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0	5.9
協同組合	回答数	22	4	3	3	2	1	1	3	0	3	2	0
	割合	6.7	18.2	13.6	13.6	9.1	4.5	4.5	13.6	0.0	13.6	9.1	0.0
任意団体	回答数	228	36	46	67	25	7	10	2	4	5	3	12
	割合	69.7	15.8	20.2	29.4	11.0	3.1	4.4	0.9	1.8	2.2	1.3	5.3
無回答	回答数	26	2	6	8	4	0	1	1	0	0	1	1
	割合	8.0	7.7	23.1	30.8	15.4	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8
合計	回答数	327	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
法人数		73	11	14	22	3	4	2	4	1	3	3	3
法人化率		22.3	22.4	21.2	22.7	9.4	36.0	15.4	58.4	20.8	38.1	44.0	18.8
法人化予定		2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

平成 20 年度調査との割合の比較では、振興組合が 4.0 ポイント低い一方、協同組合が 0.8 ポイント、任意団体が 7.3 ポイント高くなっている。

図表 71 商店街の組織形態(過去の調査との比較)

(単位:団体、%、ポイント)

		平成20年度 (A)	平成29年度 (B)	令和4年度 (C)	差異 (C-A)
振興組合	回答数	53	71	51	2
	割合	11.6	17.8	15.6	▲ 4.0
協同組合	回答数	34	24	22	12
	割合	7.5	6	6.7	0.8
任意団体	回答数	351	284	228	123
	割合	77.0	71.0	69.7	7.3
無回答	回答数	18	21	26	▲ 8
	割合	3.9	5.3	8.0	▲ 4.1
合計	回答数	456	400	327	129
	割合	100.0	100.0	100.0	0.0

#### (4) 役員数等

##### ① 役員数 (問 1 - 2)

役員数は、県全体では 10 人未満が 70.9%、10 人以上が 22.9%となっており、平成 29 年度との比較では、10 人未満が 4.7 ポイント減、10 人以上が 2.8 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、10 人未満の割合が比較的高いのはA地域・近隣+地域で、10 以上の割合が比較的高いのはB地域である。

ブロック別に見ると、10 人未満の割合が比較的高いのは東葛飾、香取、海匝、長生で、10 人以上の割合が比較的高いのは山武、夷隅、君津である。

組織形態別に見ると、10 人以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

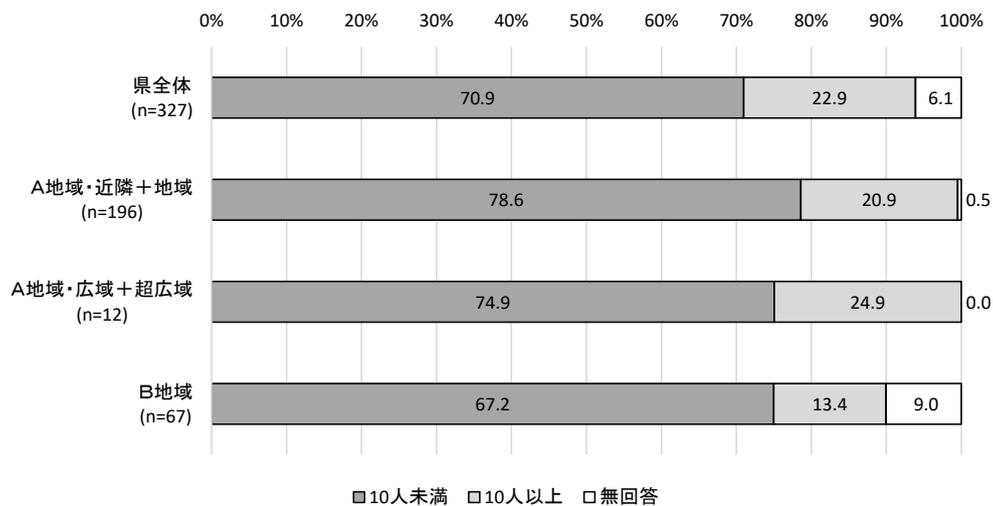
立地環境別に見ると、10 人未満の割合が比較的高いのは住宅団地、駅ビル、ロードサイドである。

図表 72 役員数(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)									10人以上	無回答
			1~3人	4~6人	7~9人	10人未満	10~12人	13~15人	16人以上			
令和4年度	県全体	327	21.7	32.7	16.5	<b>70.9</b>	11.6	4.6	6.7	<b>22.9</b>	6.1	
平成29年度	県全体	400	19.8	36.3	19.5	<b>75.6</b>	11.0	3.3	5.8	<b>20.1</b>	4.5	
タイプ別	A地域	A地域計	244	21.7	34.4	16.4	<b>72.5</b>	11.1	3.7	6.1	<b>20.9</b>	6.6
		うち近隣+地域	196	24.5	38.3	15.8	<b>78.6</b>	12.2	3.1	5.6	<b>20.9</b>	0.5
		うち広域+超広域	12	8.3	33.3	33.3	<b>74.9</b>	8.3	8.3	8.3	<b>24.9</b>	0.0
		B地域計	67	23.9	28.4	14.9	<b>67.2</b>	13.4	9.0	7.5	<b>29.9</b>	3.0
ブロック	A地域	千葉	49	22.4	32.7	12.2	<b>67.3</b>	8.2	10.2	8.2	<b>26.6</b>	6.1
		葛南	66	21.2	30.3	15.2	<b>66.7</b>	15.2	4.5	6.1	<b>25.8</b>	7.6
		東葛飾	97	23.7	40.2	17.5	<b>81.4</b>	11.3	0.0	3.1	<b>14.4</b>	4.1
		印旛	32	15.6	28.1	21.9	<b>65.6</b>	6.3	3.1	12.5	<b>21.9</b>	12.5
	B地域	香取	11	36.4	45.5	9.1	<b>91.0</b>	9.1	0.0	0.0	<b>9.1</b>	0.0
		海匝	13	38.5	23.1	23.1	<b>84.7</b>	0.0	7.7	7.7	<b>15.4</b>	0.0
		山武	7	0.0	14.3	14.3	<b>28.6</b>	28.6	28.6	0.0	<b>57.2</b>	14.3
		長生	5	20.0	40.0	40.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0
		夷隅	8	0.0	12.5	25.0	<b>37.5</b>	12.5	0.0	50.0	<b>62.5</b>	0.0
		安房	7	42.9	0.0	14.3	<b>57.2</b>	14.3	14.3	0.0	<b>28.6</b>	14.3
君津	16	18.8	43.8	0.0	<b>62.6</b>	25.0	12.5	0.0	<b>37.5</b>	0.0		
組織形態	振興組合	51	25.5	27.5	13.7	<b>66.7</b>	15.7	9.8	3.9	<b>29.4</b>	3.9	
	協同組合	22	4.5	22.7	18.2	<b>45.4</b>	36.4	9.1	9.1	<b>54.6</b>	0.0	
	任意団体	228	24.6	37.7	16.7	<b>79.0</b>	9.6	3.5	7.5	<b>20.6</b>	0.4	
立地環境	繁華街	18	5.6	50.0	16.7	<b>72.3</b>	11.1	0.0	16.7	<b>27.8</b>	0.0	
	一般商店街	68	23.5	33.8	22.1	<b>79.4</b>	5.9	5.9	8.8	<b>20.6</b>	0.0	
	一般住宅街	76	28.9	31.6	13.2	<b>73.7</b>	14.5	6.6	5.3	<b>26.4</b>	0.0	
	住宅団地	14	35.7	42.9	21.4	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	
	駅前	72	13.9	37.5	16.7	<b>68.1</b>	20.8	6.9	4.2	<b>31.9</b>	0.0	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	
	ロードサイド	27	33.3	33.3	14.8	<b>81.4</b>	11.1	3.7	3.7	<b>18.5</b>	0.0	
	その他	12	8.3	33.3	50.0	<b>91.6</b>	0.0	0.0	8.3	<b>8.3</b>	0.0	

図表 73 役員数(地域・タイプ別)



## ② 役員の平均年齢（問 1 - 2）

役員の平均年齢は、県全体では60歳未満が28.7%、60歳以上が62.0%となっており、平成29年度との比較では、60歳未満が3.1ポイント増、60歳以上が1.1ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、60歳以上の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、60歳未満の割合が比較的高いのは山武、長生で、60歳以上の割合が比較的高いのは香取、安房、君津である。

組織形態別に見ると、60歳以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

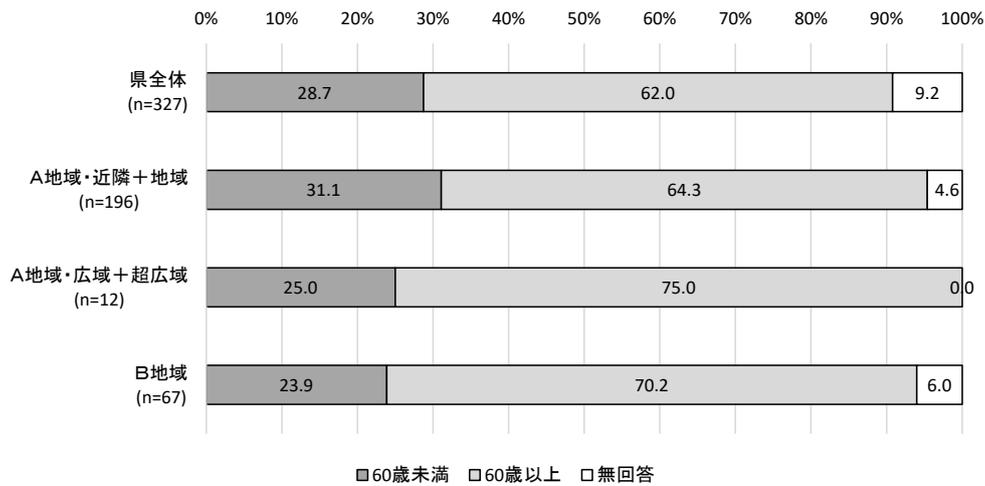
立地環境別に見ると、60歳未満の割合が比較的高いのは繁華街、住宅団地で、60歳以上の割合が比較的高いのは一般住宅街、ロードサイドである。

図表 74 役員の平均年齢(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	60歳未満				60歳以上			無回答		
			40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上				
令和4年度	県全体	327	0.0	6.1	22.6	<b>28.7</b>	38.2	22.0	1.8	<b>62.0</b>	9.2	
平成29年度	県全体	400	0.3	4.3	21.0	<b>25.6</b>	44.8	17.3	1.0	<b>63.1</b>	11.5	
地域 タイプ	A地域	244	0.0	6.6	22.5	<b>29.1</b>	36.9	21.7	2.5	<b>61.1</b>	9.8	
	うち近隣+地域	196	0.0	6.6	24.5	<b>31.1</b>	39.3	22.4	2.6	<b>64.3</b>	4.6	
	うち広域+超広域	12	0.0	16.7	8.3	<b>25.0</b>	41.7	33.3	0.0	<b>75.0</b>	0.0	
	B地域	67	0.0	4.5	19.4	<b>23.9</b>	41.8	28.4	0.0	<b>70.2</b>	6.0	
ブロック	A地域	千葉	49	0.0	12.2	22.4	<b>34.6</b>	32.7	20.4	2.0	<b>55.1</b>	10.2
	葛南	66	0.0	3.0	22.7	<b>25.7</b>	39.4	24.2	3.0	<b>66.6</b>	7.6	
	東葛飾	97	0.0	6.2	25.8	<b>32.0</b>	36.1	20.6	2.1	<b>58.8</b>	9.3	
	印旛	32	0.0	6.3	12.5	<b>18.8</b>	40.6	21.9	3.1	<b>65.6</b>	15.6	
	香取	11	0.0	18.2	9.1	<b>27.3</b>	54.5	18.2	0.0	<b>72.7</b>	0.0	
	海匠	13	0.0	7.7	23.1	<b>30.8</b>	46.2	23.1	0.0	<b>69.3</b>	0.0	
	B地域	山武	7	0.0	0.0	42.9	<b>42.9</b>	14.3	28.6	0.0	<b>42.9</b>	14.3
	長生	5	0.0	0.0	60.0	<b>60.0</b>	0.0	40.0	0.0	<b>40.0</b>	0.0	
	夷隅	8	0.0	0.0	25.0	<b>25.0</b>	37.5	25.0	0.0	<b>62.5</b>	12.5	
	安房	7	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	57.1	28.6	0.0	<b>85.7</b>	14.3	
君津	16	0.0	0.0	6.3	<b>6.3</b>	50.0	37.5	0.0	<b>87.5</b>	6.3		
組織 形態	振興組合	51	0.0	7.8	27.5	<b>35.3</b>	43.1	15.7	2.0	<b>60.8</b>	3.9	
	協同組合	22	0.0	4.5	18.2	<b>22.7</b>	45.5	22.7	4.5	<b>72.7</b>	4.5	
	任意団体	228	0.0	6.6	24.1	<b>30.7</b>	39.5	24.6	1.8	<b>65.9</b>	3.5	
立地 環境	繁華街	18	0.0	16.7	27.8	<b>44.5</b>	27.8	22.2	0.0	<b>50.0</b>	5.6	
	一般商店街	68	0.0	4.4	26.5	<b>30.9</b>	45.6	19.1	1.5	<b>66.2</b>	2.9	
	一般住宅街	76	0.0	6.6	14.5	<b>21.1</b>	40.8	31.6	2.6	<b>75.0</b>	3.9	
	住宅団地	14	0.0	0.0	50.0	<b>50.0</b>	42.9	7.1	0.0	<b>50.0</b>	0.0	
	駅前	72	0.0	9.7	27.8	<b>37.5</b>	36.1	19.4	1.4	<b>56.9</b>	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	100.0	
	ロードサイド	27	0.0	0.0	22.2	<b>22.2</b>	48.1	29.6	0.0	<b>77.7</b>	0.0	
	その他	12	0.0	0.0	16.7	<b>16.7</b>	58.3	16.7	8.3	<b>83.3</b>	0.0	

図表 75 役員の平均年齢(地域・タイプ別)



### ③ 役員会の開催回数 (問 1 - 3)

役員会の開催回数は、県全体では10回未満が79.6%、10回以上が13.8%となっており、平成29年度との比較では、10回未満が2.4ポイント増、10回以上が4.5ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、10回以上の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、10回未満の割合が比較的高いのは海匠で、10回以上の割合が比較的高いのは山武、長生、夷隅である。

組織形態別に見ると、10回以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

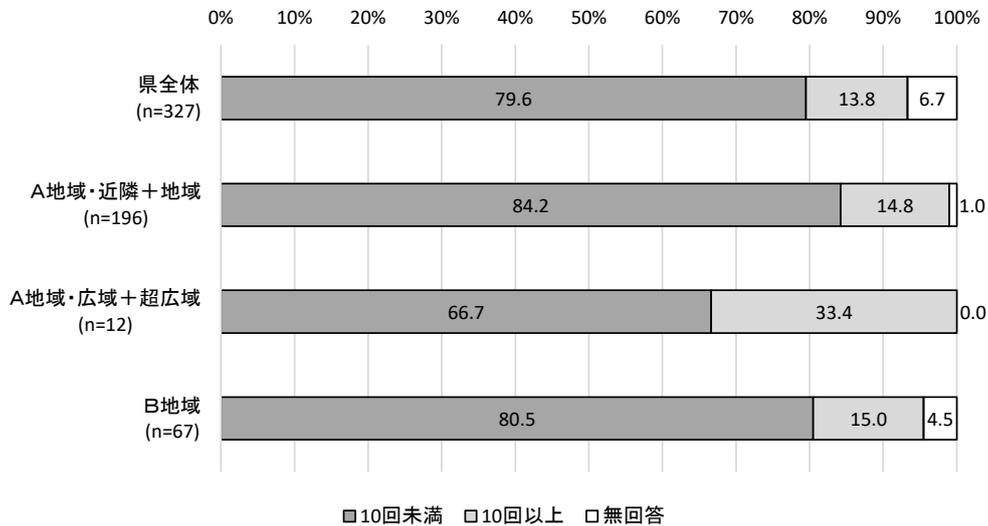
立地環境別に見ると、10回未満の割合が比較的高いのはロードサイドで、10回以上の割合が比較的高いのは駅前、駅ビルである。

図表 76 役員会の開催回数(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	開催回数					開催回数				無回答	
			0回	1~3回	4~6回	7~9回	10回未満	10~12回	13~15回	16回以上	10回以上		
令和4年度	県全体	327	14.1	46.8	15.3	3.4	<b>79.6</b>	8.9	2.8	2.1	<b>13.8</b>	6.7	
平成29年度	県全体	400	11.8	36.3	25.3	3.8	<b>77.2</b>	14.3	3.0	1.0	<b>18.3</b>	4.8	
地域タイプ	A地域	244	14.8	45.5	15.2	3.3	<b>78.8</b>	9.4	2.9	2.0	<b>14.3</b>	7.0	
	うち近隣+地域	196	16.8	48.0	15.8	3.6	<b>84.2</b>	10.2	2.0	2.6	<b>14.8</b>	1.0	
	うち広域+超広域	12	0.0	41.7	16.7	8.3	<b>66.7</b>	16.7	16.7	0.0	<b>33.4</b>	0.0	
	B地域	67	11.9	52.2	11.9	4.5	<b>80.5</b>	9.0	3.0	3.0	<b>15.0</b>	4.5	
ブロック	A地域	千葉	49	12.2	53.1	6.1	2.0	<b>73.4</b>	12.2	4.1	4.1	<b>20.4</b>	6.1
		葛南	66	16.7	40.9	18.2	0.0	<b>75.8</b>	9.1	4.5	3.0	<b>16.6</b>	7.6
		東葛飾	97	16.5	42.3	15.5	6.2	<b>80.5</b>	11.3	2.1	1.0	<b>14.4</b>	5.2
		印旛	32	9.4	53.1	21.9	3.1	<b>87.5</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	12.5
	B地域	香取	11	0.0	54.5	9.1	9.1	<b>72.7</b>	18.2	0.0	0.0	<b>18.2</b>	9.1
		海匝	13	38.5	53.8	7.7	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0
		山武	7	0.0	28.6	14.3	14.3	<b>57.2</b>	0.0	14.3	14.3	<b>28.6</b>	14.3
		長生	5	20.0	20.0	20.0	0.0	<b>60.0</b>	40.0	0.0	0.0	<b>40.0</b>	0.0
		夷隅	8	0.0	37.5	37.5	0.0	<b>75.0</b>	12.5	0.0	12.5	<b>25.0</b>	0.0
		安房	7	0.0	57.1	14.3	14.3	<b>85.7</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	14.3
君津	16	12.5	75.0	0.0	0.0	<b>87.5</b>	6.3	6.3	0.0	<b>12.6</b>	0.0		
形態組織	振興組合	51	13.7	49.0	11.8	5.9	<b>80.4</b>	7.8	7.8	3.9	<b>19.5</b>	0.0	
	協同組合	22	4.5	27.3	27.3	13.6	<b>72.7</b>	0.0	9.1	18.2	<b>27.3</b>	0.0	
	任意団体	228	16.7	50.9	16.2	2.2	<b>86.0</b>	11.0	1.3	0.4	<b>12.7</b>	1.3	
立地環境	繁華街	18	5.6	55.6	11.1	11.1	<b>83.4</b>	16.7	0.0	0.0	<b>16.7</b>	0.0	
	一般商店街	68	14.7	52.9	11.8	4.4	<b>83.8</b>	10.3	1.5	2.9	<b>14.7</b>	1.5	
	一般住宅街	76	15.8	50.0	18.4	3.9	<b>88.1</b>	3.9	3.9	0.0	<b>7.8</b>	3.9	
	住宅団地	14	28.6	42.9	14.3	0.0	<b>85.8</b>	7.1	7.1	0.0	<b>14.2</b>	0.0	
	駅前	72	12.5	45.8	12.5	4.2	<b>75.0</b>	15.3	4.2	5.6	<b>25.1</b>	0.0	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	100.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	48.1	33.3	0.0	<b>92.5</b>	3.7	0.0	3.7	<b>7.4</b>	0.0	
	その他	12	0.0	58.3	33.3	0.0	<b>91.6</b>	8.3	0.0	0.0	<b>8.3</b>	0.0	

図表 77 役員会の開催回数(地域・タイプ別)



#### ④ その他の会合の開催回数（問 1-3）

その他の会合の開催回数は、県全体では6回以下が 72.1%、7回以上が 5.5%となっており、平成 29 年度との比較では、6回以下が 9.7 ポイント増、7回以上が 1.6 ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、7回以上の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、6回以下の割合が比較的高いのは海匝で、7回以上の割合が比較的高いのは長生、夷隅である。

組織形態別に見ると、7回以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

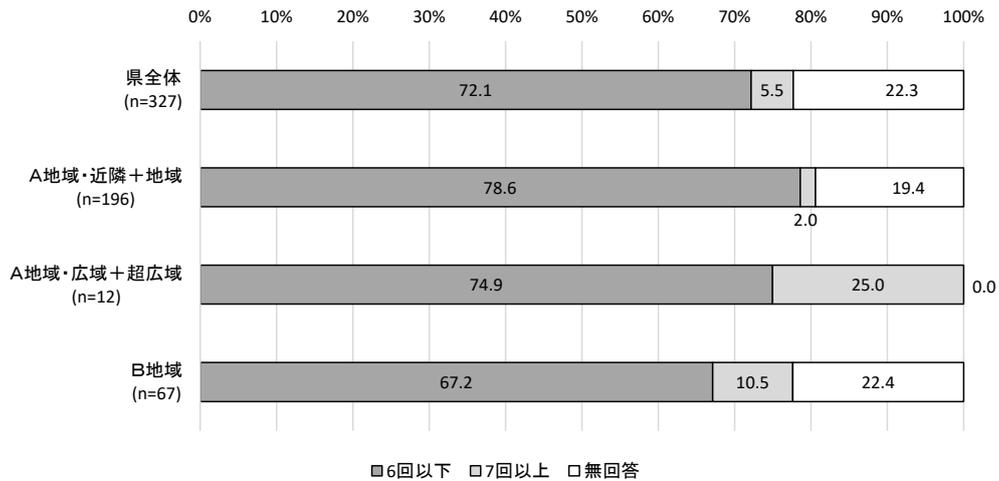
立地環境別に見ると、6回以下の割合が比較的高いのは駅ビル、ロードサイドである。

図表 78 その他の会合の開催回数(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	開催回数				開催回数			無回答	
			0回	1~3回	4~6回	6回以下	7~9回	10回以上	7回以上		
令和4年度	県全体	327	39.4	25.7	7.0	<b>72.1</b>	0.6	4.9	<b>5.5</b>	22.3	
平成29年度	県全体	400	15.8	37.8	8.8	<b>62.4</b>	1.8	5.3	<b>7.1</b>	30.8	
地域 タイプ	A 地域	A地域	244	40.6	25.8	6.6	<b>73.0</b>	0.8	3.3	<b>4.1</b>	23.0
		うち近隣+地域	196	44.9	26.0	7.7	<b>78.6</b>	1.0	1.0	<b>2.0</b>	19.4
		うち広域+超広域	12	58.3	8.3	8.3	<b>74.9</b>	0.0	25.0	<b>25.0</b>	0.0
	B 地域	67	34.3	23.9	9.0	<b>67.2</b>	0.0	10.5	<b>10.5</b>	22.4	
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	38.8	30.6	4.1	<b>73.5</b>	0.0	4.1	<b>4.1</b>	22.4
		葛南	66	39.4	22.7	10.6	<b>72.7</b>	3.0	3.0	<b>6.0</b>	21.2
		東葛飾	97	47.4	21.6	5.2	<b>74.2</b>	0.0	3.1	<b>3.1</b>	22.7
		印旛	32	25.0	37.5	6.3	<b>68.8</b>	0.0	3.1	<b>3.1</b>	28.1
	B 地 域	香取	11	36.4	27.3	0.0	<b>63.7</b>	0.0	9.1	<b>9.1</b>	27.3
		海匝	13	53.8	30.8	7.7	<b>92.3</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	7.7
		山武	7	28.6	28.6	0.0	<b>57.2</b>	0.0	14.3	<b>14.3</b>	28.6
		長生	5	0.0	60.0	20.0	<b>80.0</b>	0.0	20.0	<b>20.0</b>	0.0
		夷隅	8	25.0	12.5	0.0	<b>37.5</b>	0.0	37.5	<b>37.5</b>	25.0
		安房	7	14.3	28.6	28.6	<b>71.5</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	28.6
君津	16	43.8	6.3	12.5	<b>62.6</b>	0.0	6.3	<b>6.3</b>	31.3		
形 態 組 織	振興組合	51	37.3	21.6	13.7	<b>72.6</b>	2.0	3.9	<b>5.9</b>	21.6	
	協同組合	22	31.8	27.3	4.5	<b>63.6</b>	0.0	22.7	<b>22.7</b>	13.6	
	任意団体	228	44.3	29.4	6.6	<b>80.3</b>	0.4	3.5	<b>3.9</b>	15.8	
立 地 環 境	繁華街	18	38.9	22.2	5.6	<b>66.7</b>	0.0	5.6	<b>5.6</b>	27.8	
	一般商店街	68	38.2	26.5	10.3	<b>75.0</b>	0.0	4.4	<b>4.4</b>	20.6	
	一般住宅街	76	43.4	25.0	6.6	<b>75.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	25.0	
	住宅団地	14	57.1	14.3	0.0	<b>71.4</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	28.6	
	駅前	72	40.3	25.0	12.5	<b>77.8</b>	2.8	9.7	<b>12.5</b>	9.7	
	駅ビル	1	100.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	
	ロードサイド	27	55.6	25.9	3.7	<b>85.2</b>	0.0	3.7	<b>3.7</b>	11.1	
その他	12	41.7	41.7	0.0	<b>83.4</b>	0.0	16.7	<b>16.7</b>	0.0		

図表 79 その他の会合の開催回数(地域・タイプ別)



### ⑤ 専従役員数 (問 1 - 4)

専従役員数は、県全体では0人が 80.7%、1人以上が 12.0%となっており、平成 29 年度との比較では、0人が 5.8 ポイント減、1人以上が 4.2 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、0人の割合が比較的高いのはA地域・近隣+地域である。

ブロック別に見ると、0人の割合が比較的高いのは海匠、君津で、1人以上の割合が比較的高いのは長生、安房である。

組織形態別に見ると、1人以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

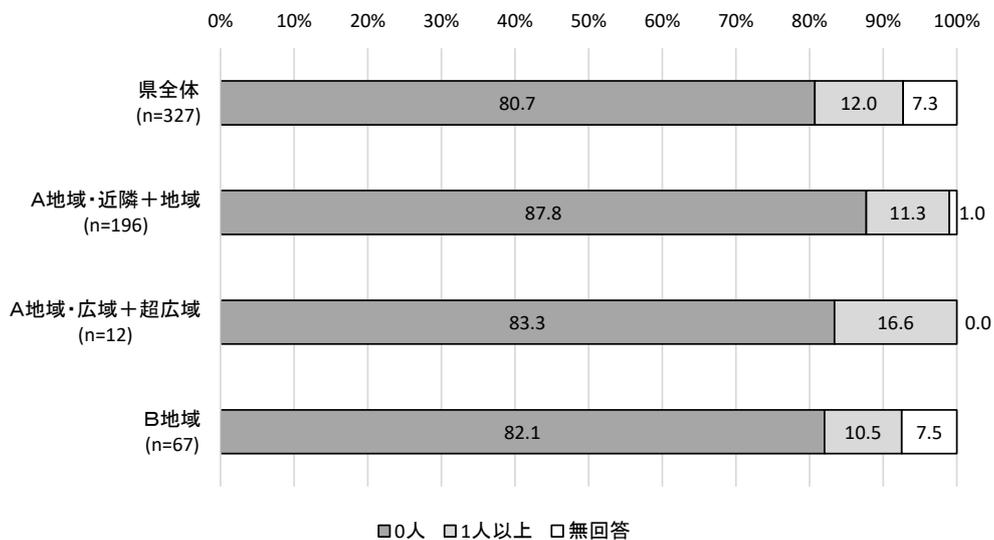
立地環境別に見ると、0人の割合が比較的高いのは住宅団地で、1人以上の割合が比較的高いのは駅ビルである。

図表 80 専従役員数(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別)

(単位:%)

		回答数 (n)	0人	1人以上				無回答		
				1人	2~3人	4~5人	6人以上			
令和4年度	県全体	327	80.7	4.9	3.1	3.1	0.9	12.0	7.3	
平成29年度	県全体	400	86.5	4.3	2.0	0.0	1.5	7.8	5.8	
令和3年度	全国(参考)	4,536	74.1	12.5	6.2	1.5	2.6	22.8	3.3	
地域 タイプ	A地域	244	81.6	5.3	2.9	3.3	0.0	11.5	7.0	
	うち近隣+地域	196	87.8	5.1	2.6	3.6	0.0	11.3	1.0	
	うち広域+超広域	12	83.3	8.3	8.3	0.0	0.0	16.6	0.0	
	B地域	67	82.1	4.5	1.5	3.0	1.5	10.5	7.5	
ブロック	A地域	千葉	49	79.6	8.2	2.0	4.1	0.0	14.3	6.1
		葛南	66	80.3	4.5	3.0	4.5	0.0	12.0	7.6
		東葛飾	97	82.5	6.2	4.1	3.1	0.0	13.4	4.1
		印旛	32	84.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6
	B地域	香取	11	72.7	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2
		海匝	13	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		山武	7	71.4	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3
		長生	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
		夷隅	8	75.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
		安房	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
君津	16	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
組織 形態	振興組合	51	78.4	11.8	3.9	5.9	0.0	21.6	0.0	
	協同組合	22	59.1	13.6	18.2	4.5	4.5	40.8	0.0	
	任意団体	228	89.0	3.1	1.8	2.6	0.9	8.4	2.6	
立地 環境	繁華街	18	83.3	5.6	0.0	5.6	0.0	11.2	5.6	
	一般商店街	68	88.2	7.4	1.5	0.0	1.5	10.4	1.5	
	一般住宅街	76	86.8	5.3	2.6	1.3	1.3	10.5	2.6	
	住宅団地	14	92.9	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	
	駅前	72	81.9	4.2	5.6	6.9	1.4	18.1	0.0	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	85.2	3.7	0.0	7.4	0.0	11.1	3.7	
その他	12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

図表 81 専従役員数(地域・タイプ別)



## (5) 青年部及び女性部

### ① 青年部（問 1 - 5）

青年部は、県全体では「設置していない」が 87.2%とほとんどであり、「設置しており、活動状況は活発である」が 0.3%、「設置しており、活動状況は普通である」が 2.8%、「設置しているが、活動状況は活発ではない」が 1.2%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「設置していない」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣＋地域である。

ブロック別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、千葉、香取、海匝である。

組織形態別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、振興組合である。

立地環境別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、繁華街、住宅団地である。

図表 82 青年部(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	設置してお り、活動状況 は活発である	設置してお り、活動状況 は普通である	設置してい るが、活動 状況は活発 ではない	設置して いる	設置して いない	無回答	
令和4年度	県全体	327	0.3	2.8	1.2	4.3	87.2	8.6	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	0.0	2.9	1.6	4.5	86.9	8.6
		うち近隣＋地域	196	0.0	2.0	1.0	3.0	94.9	2.0
		うち広域＋超広域	12	0.0	8.3	8.3	16.6	75.0	8.3
		B地域計	67	1.5	3.0	0.0	4.5	88.1	7.5
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	49	0.0	4.1	4.1	8.2	83.7	8.2
		葛南	66	0.0	1.5	0.0	1.5	89.4	9.1
		東葛飾	97	0.0	4.1	1.0	5.1	88.7	6.2
		印旛	32	0.0	0.0	3.1	3.1	81.3	15.6
	B地域	香取	11	0.0	9.1	0.0	9.1	81.8	9.1
		海匝	13	7.7	7.7	0.0	15.4	69.2	15.4
		山武	7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
		長生	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		夷隅	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		安房	7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
	君津	16	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
形 組 態 織	振興組合	51	2.0	3.9	3.9	9.8	88.2	2.0	
	協同組合	22	0.0	4.5	0.0	4.5	90.9	4.5	
	任意団体	228	0.0	2.2	0.9	3.1	93.0	3.9	
立 地 環 境	繁華街	18	0.0	5.6	5.6	11.2	83.3	5.6	
	一般商店街	68	0.0	1.5	1.5	3.0	94.1	2.9	
	一般住宅街	76	0.0	2.6	1.3	3.9	96.1	0.0	
	住宅団地	14	0.0	0.0	7.1	7.1	92.9	0.0	
	駅前	72	0.0	5.6	0.0	5.6	91.7	2.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	3.7	0.0	0.0	3.7	92.6	3.7	
	その他	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

## ② 女性部（問 1 - 5）

女性部は、県全体では「設置していない」が 87.8%とほとんどであり、「設置しており、活動状況は活発である」は 0.3%、「設置しており、活動状況は普通である」が 1.5%、「設置しているが、活動状況は活発ではない」が 2.1%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「設置していない」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣＋地域である。

ブロック別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、千葉、印旛、海匝である。

組織形態別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、振興組合である。

立地環境別に見ると、「設置している」の割合が比較的高いのは、繁華街、一般住宅街である。

図表 83 女性部(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別)

(単位:%)

		回答数 (n)	設置しており、活動状況は活発である	設置しており、活動状況は普通である	設置しているが、活動状況は活発ではない	設置している	設置していない	無回答	
令和4年度	県全体	327	0.3	1.5	2.1	3.9	87.8	8.3	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	244	0.0	1.6	1.6	3.2	88.5	8.2
		うち近隣＋地域	196	0.0	1.5	1.5	3.0	95.4	1.5
		うち広域＋超広域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	8.3
		B地域計	67	1.5	0.0	3.0	4.5	88.1	7.5
ブロック	A地域	千葉	49	0.0	4.1	2.0	6.1	85.7	8.2
		葛南	66	0.0	1.5	0.0	1.5	89.4	9.1
		東葛飾	97	0.0	1.0	1.0	2.0	91.8	6.2
		印旛	32	0.0	0.0	6.3	6.3	81.3	12.5
	B地域	香取	11	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	9.1
		海匝	13	7.7	0.0	15.4	23.1	61.5	15.4
		山武	7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
		長生	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		夷隅	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		安房	7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
	君津	16	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
組織形態	振興組合	51	2.0	3.9	2.0	7.9	90.2	2.0	
	協同組合	22	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5	4.5	
	任意団体	228	0.0	0.9	2.6	3.5	93.0	3.5	
立地環境	繁華街	18	0.0	0.0	5.6	5.6	94.4	0.0	
	一般商店街	68	0.0	0.0	2.9	2.9	94.1	2.9	
	一般住宅街	76	0.0	1.3	3.9	5.2	94.7	0.0	
	住宅団地	14	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	駅前	72	0.0	2.8	0.0	2.8	94.4	2.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	3.7	0.0	0.0	3.7	92.6	3.7	
	その他	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

## (6) 商店街の年間予算

---

### ① 年間予算（問 1 - 6）

---

年間予算は、県全体では 300 万円未満が 56.9%で、300 万円以上が 18.0%であった。

平成 29 年度との比較では、300 万円未満が 1.7 ポイント減、300 万円以上が 1.9 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、300 万円以上の割合が比較的高いのはA地域・広域＋超広域である。

ブロック別に見ると、300 万円未満の割合が比較的高いのは海匝で、300 万円以上の割合が比較的高いのは山武、夷隅、安房である。

組織形態別に見ると、300 万円未満の割合が比較的高いのは任意団体で、300 万円以上の割合が比較的高いのは協同組合である。

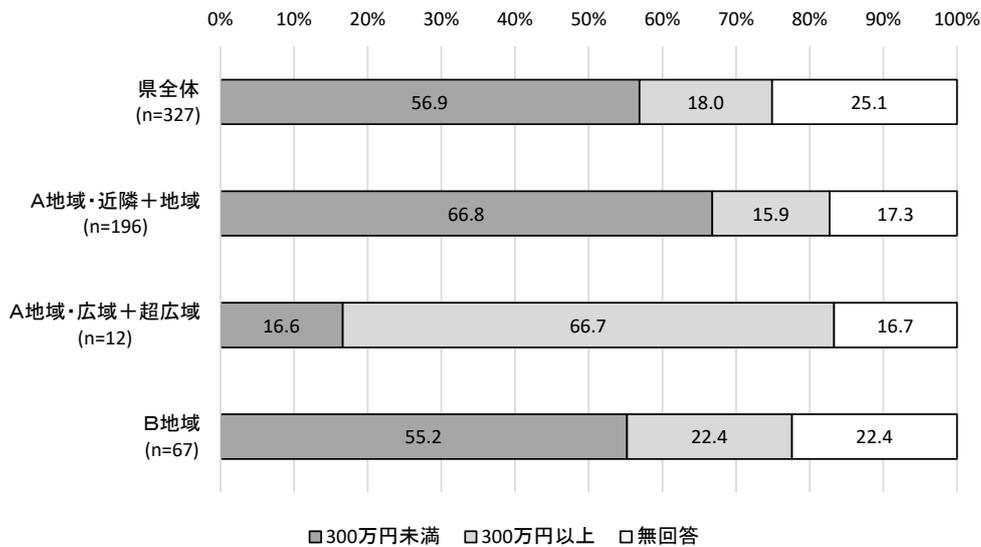
立地環境別に見ると、300 万円未満の割合が比較的高いのは一般住宅街、住宅団地、ロードサイドで、300 万円以上の割合が比較的高いのは駅前である。

図表 84 年間予算(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	100万円 未満	100万円 以上200 万円未満	200万円 以上300 万円未満	300万円 未満	300万円 以上400 万円未満	400万円 以上500 万円未満	500万円 以上	300万円 以上	無回答	
令和4年度	県全体		327	36.4	15.3	5.2	<b>56.9</b>	3.1	2.4	12.5	<b>18.0</b>	25.1
平成29年度	県全体	400	35.3	15.3	8.0	<b>58.6</b>	3.3	1.5	11.3	<b>16.1</b>	25.5	
令和3年度	全国(参考)	4,536	33.6	14.4	7.5	<b>55.5</b>	9.1		20.1	<b>29.2</b>	15.2	
地域 タイプ	A地域	244	37.7	15.2	4.1	<b>57.0</b>	3.3	2.5	11.1	<b>16.9</b>	26.2	
	うち近隣+地域	196	45.4	17.3	4.1	<b>66.8</b>	4.1	3.1	8.7	<b>15.9</b>	17.3	
	うち広域+超広域	12	0.0	8.3	8.3	<b>16.6</b>	0.0	0.0	66.7	<b>66.7</b>	16.7	
	B地域	67	32.8	13.4	9.0	<b>55.2</b>	3.0	3.0	16.4	<b>22.4</b>	22.4	
ブロック	A地域	千葉	49	32.7	16.3	4.1	<b>53.1</b>	0.0	2.0	24.5	<b>26.5</b>	20.4
	葛南	66	37.9	10.6	3.0	<b>51.5</b>	3.0	1.5	9.1	<b>13.6</b>	34.8	
	東葛飾	97	42.3	16.5	3.1	<b>61.9</b>	5.2	3.1	9.3	<b>17.6</b>	20.6	
	印旛	32	31.3	18.8	9.4	<b>59.5</b>	3.1	3.1	0.0	<b>6.2</b>	34.4	
	B地域	香取	11	36.4	18.2	9.1	<b>63.7</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	36.4
	海匠	13	53.8	7.7	7.7	<b>69.2</b>	7.7	0.0	0.0	<b>7.7</b>	23.1	
	山武	7	28.6	0.0	28.6	<b>57.2</b>	0.0	14.3	14.3	<b>28.6</b>	14.3	
	長生	5	0.0	20.0	40.0	<b>60.0</b>	0.0	0.0	20.0	<b>20.0</b>	20.0	
	夷隅	8	12.5	12.5	0.0	<b>25.0</b>	12.5	0.0	62.5	<b>75.0</b>	0.0	
	安房	7	28.6	0.0	0.0	<b>28.6</b>	0.0	14.3	14.3	<b>28.6</b>	42.9	
君津	16	37.5	25.0	0.0	<b>62.5</b>	0.0	0.0	18.8	<b>18.8</b>	18.8		
組織 形態	振興組合	51	27.5	11.8	9.8	<b>49.1</b>	2.0	3.9	19.6	<b>25.5</b>	25.5	
	協同組合	22	4.5	0.0	9.1	<b>13.6</b>	0.0	13.6	54.5	<b>68.1</b>	18.2	
	任意団体	228	44.3	18.9	4.4	<b>67.6</b>	3.9	1.3	8.3	<b>13.5</b>	18.9	
立地 環境	繁華街	18	44.4	16.7	5.6	<b>66.7</b>	0.0	5.6	22.2	<b>27.8</b>	5.6	
	一般商店街	68	41.2	10.3	8.8	<b>60.3</b>	7.4	1.5	10.3	<b>19.2</b>	20.6	
	一般住宅街	76	53.9	19.7	3.9	<b>77.5</b>	0.0	1.3	5.3	<b>6.6</b>	15.8	
	住宅団地	14	50.0	21.4	0.0	<b>71.4</b>	0.0	0.0	14.3	<b>14.3</b>	14.3	
	駅前	72	22.2	22.2	5.6	<b>50.0</b>	4.2	6.9	23.6	<b>34.7</b>	15.3	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>0.0</b>	100.0	
	ロードサイド	27	51.9	14.8	11.1	<b>77.8</b>	3.7	0.0	3.7	<b>7.4</b>	14.8	
	その他	12	33.3	8.3	0.0	<b>41.6</b>	8.3	0.0	33.3	<b>41.6</b>	16.7	

図表 85 年間予算(地域・タイプ別)



## ② 年間予算の増減（問 1 - 6）

年間予算の3年前との比較は、県全体では「増えた」が6.7%、「変わらない」が37.6%、「減った」が34.3%であった。

地域・タイプ別に見ると、「減った」の割合が比較的高いのは、A地域・広域＋超広域、B地域である。

ブロック別に見ると、「減った」の割合が比較的高いのは、香取、山武、長生、夷隅である。長生は「増えた」の割合も比較的高い。

組織形態別に見ると、「減った」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

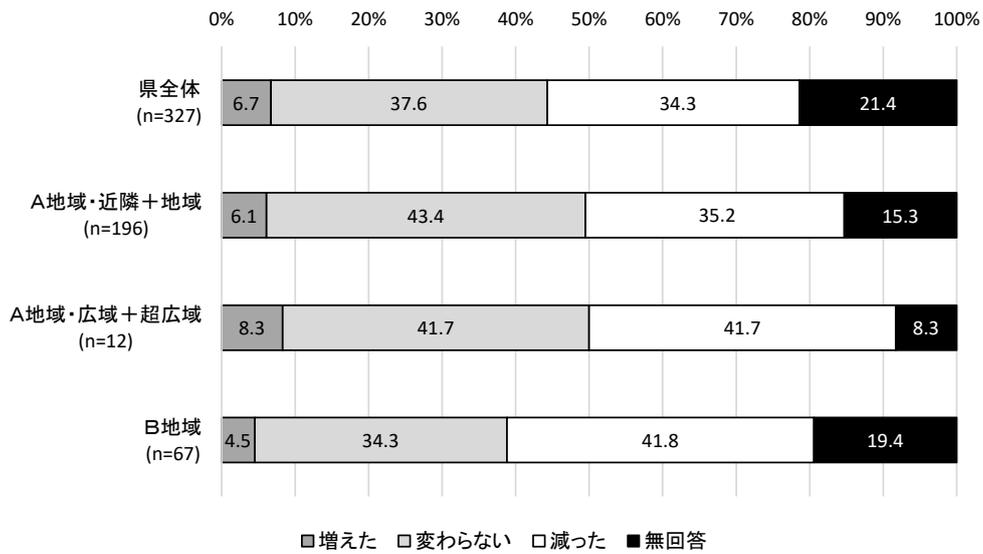
立地環境別に見ると、「減った」の割合が比較的高いのは、一般住宅街である。

図表 86 年間予算の3年前との比較  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数(n)	増えた	変わらない	減った	無回答	
令和4年度	県全体	327	6.7	37.6	34.3	21.4	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	244	5.7	39.8	32.4	22.1
		うち近隣＋地域	196	6.1	43.4	35.2	15.3
		うち広域＋超広域	12	8.3	41.7	41.7	8.3
	B地域計	67	4.5	34.3	41.8	19.4	
ブロック	A地域	千葉	49	6.1	51.0	26.5	16.3
		葛南	66	9.1	39.4	25.8	25.8
		東葛飾	97	4.1	34.0	39.2	22.7
		印旛	32	3.1	40.6	34.4	21.9
	B地域	香取	11	0.0	18.2	54.5	27.3
		海匝	13	0.0	46.2	23.1	30.8
		山武	7	0.0	28.6	57.1	14.3
		長生	5	20.0	0.0	60.0	20.0
		夷隅	8	12.5	37.5	50.0	0.0
		安房	7	0.0	42.9	28.6	28.6
君津	16	6.3	43.8	37.5	12.5		
組織形態	振興組合	51	7.8	37.3	31.4	23.5	
	協同組合	22	0.0	50.0	40.9	9.1	
	任意団体	228	7.9	39.5	37.7	14.9	
立地環境	繁華街	18	16.7	50.0	27.8	5.6	
	一般商店街	68	8.8	35.3	35.3	20.6	
	一般住宅街	76	1.3	46.1	44.7	7.9	
	住宅団地	14	0.0	35.7	35.7	28.6	
	駅前	72	8.3	40.3	38.9	12.5	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	7.4	40.7	40.7	11.1	
	その他	12	25.0	41.7	25.0	8.3	

図表 87 年間予算の3年前との比較(地域・タイプ別)

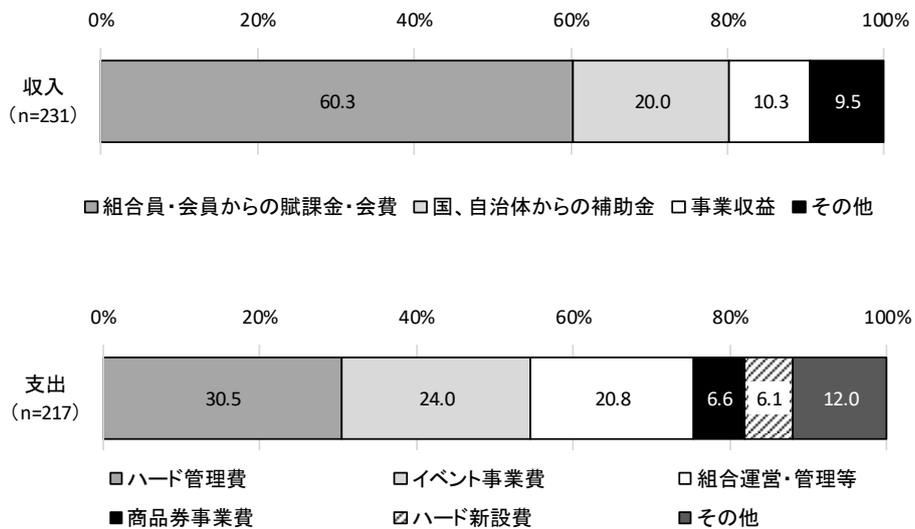


### ③ 年間予算の内訳 (問 1 - 6)

年間予算の内訳を見ると、収入は「組合員・会員からの賦課金・会費」が60.3%で最も高く、次いで「国、自治体からの補助金」(20.0%)、「事業収益」(10.3%)などとなっている。

一方、支出は「ハード管理費」(30.5%)で最も高く、次いで「イベント事業費」(24.0%)、「組合運営・管理等」(20.8%)、「商品券事業費」(6.6%)、「ハード新設費」(6.1%)などとなっている。

図表 88 年間予算の内訳



## (7) 事業計画の策定状況等

### ① 来街者ニーズ調査の実施状況（問 1 - 7）

来街者のニーズ調査は、県全体では「実施している(定期的に+必要に応じて)」が 14.3%で、「実施していない」が 75.5%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣+地域である。

ブロック別に見ると、「実施している」の割合が比較的高いのは、山武、安房である。

組織形態別に見ると、「実施している」の割合が比較的高いのは、振興組合、協同組合である。

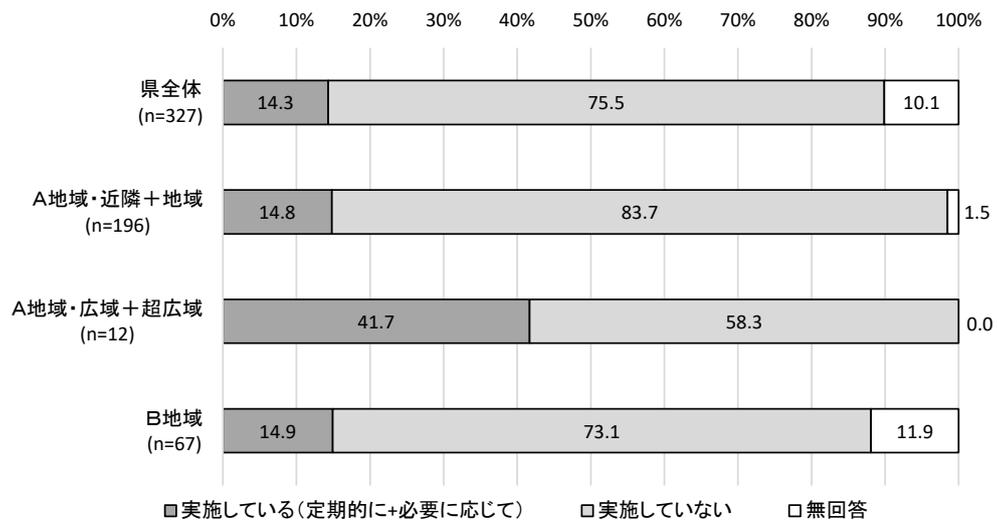
立地環境別に見ると、「実施している」の割合が比較的高いのは、駅前である。

図表 89 来街者ニーズ調査の実施状況  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	定期的に実施 している	必要に応じて 実施している	実施している (定期的に+ 必要に応じて)	実施していない	無回答	
令和4年度	県全体	327	1.2	13.1	14.3	75.5	10.1	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	1.2	13.5	14.7	76.2	9.0
		うち近隣+地域	196	1.5	13.3	14.8	83.7	1.5
		うち広域+超広域	12	0.0	41.7	41.7	58.3	0.0
		B地域計	67	1.5	13.4	14.9	73.1	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	2.0	16.3	18.3	75.5	6.1
		葛南	66	0.0	15.2	15.2	77.3	7.6
		東葛飾	97	2.1	11.3	13.4	76.3	10.3
		印旛	32	0.0	12.5	12.5	75.0	12.5
	B地域	香取	11	0.0	18.2	18.2	72.7	9.1
		海匝	13	0.0	0.0	0.0	76.9	23.1
		山武	7	0.0	28.6	28.6	57.1	14.3
		長生	5	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0
		夷隅	8	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0
		安房	7	0.0	28.6	28.6	42.9	28.6
	君津	16	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	
組織 形態	振興組合	51	3.9	21.6	25.5	68.6	5.9	
	協同組合	22	0.0	31.8	31.8	59.1	9.1	
	任意団体	228	0.9	11.0	11.9	83.3	4.8	
立地 環境	繁華街	18	0.0	22.2	22.2	77.8	0.0	
	一般商店街	68	4.4	13.2	17.6	77.9	4.4	
	一般住宅街	76	0.0	10.5	10.5	89.5	0.0	
	住宅団地	14	0.0	7.1	7.1	92.9	0.0	
	駅前	72	1.4	25.0	26.4	72.2	1.4	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	その他	12	0.0	16.7	16.7	75.0	8.3	

図表 90 来街者ニーズ調査の実施状況(地域・タイプ別)



## ② 事業計画の策定状況（問 1 - 8）

商店街の活性化に向けた事業計画は、県全体では「策定済み」が 27.8%、「策定中」が 3.7%、「検討中」が 15.9%、「策定予定なし」が 40.1%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「策定予定なし」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣+地域、B地域である。

ブロック別に見ると、「策定済み」の割合が比較的高いのは、葛南である。

組織形態別に見ると、「策定済み」の割合が比較的高いのは、任意団体である。

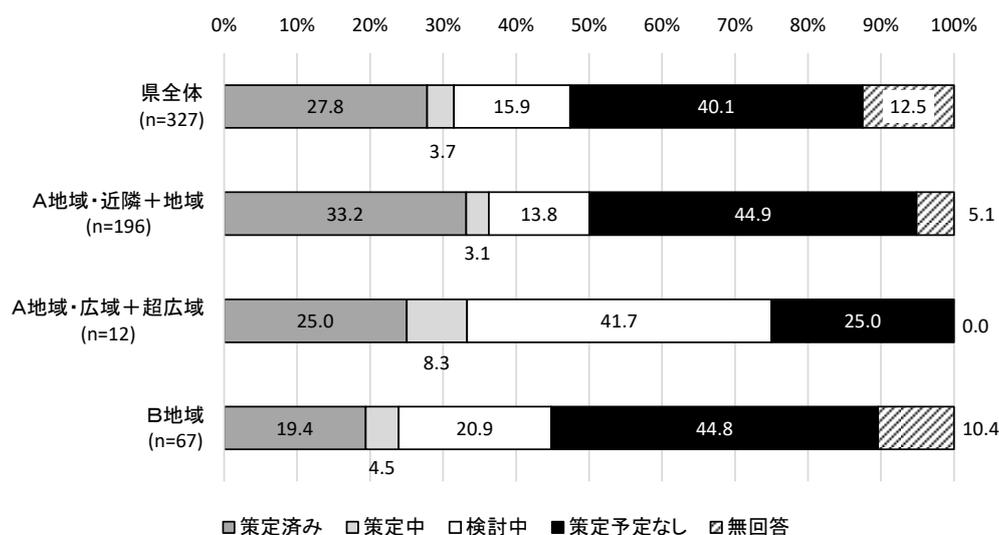
立地環境別に見ると、「策定済み」の割合が比較的高いのは、繁華街、一般住宅街である。

図表 91 事業計画の策定状況（県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別）

（単位：％）

		回答数(n)	策定済み	策定中	検討中	策定予定なし	無回答	
令和4年度	県全体	327	27.8	3.7	15.9	40.1	12.5	
令和3年度	全国(参考)	4,536	18.1	5.0	22.1	41.9	12.9	
地域・タイプ	A地域	A地域計	244	29.9	3.3	14.3	39.8	12.7
		うち近隣+地域	196	33.2	3.1	13.8	44.9	5.1
		うち広域+超広域	12	25.0	8.3	41.7	25.0	0.0
	B地域計		67	19.4	4.5	20.9	44.8	10.4
ブロック	A地域	千葉	49	24.5	2.0	14.3	53.1	6.1
		葛南	66	42.4	1.5	15.2	25.8	15.2
		東葛飾	97	25.8	5.2	11.3	44.3	13.4
		印旛	32	25.0	3.1	21.9	34.4	15.6
	B地域	香取	11	27.3	0.0	18.2	45.5	9.1
		海匝	13	7.7	0.0	30.8	38.5	23.1
		山武	7	28.6	0.0	14.3	42.9	14.3
		長生	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0
		夷隅	8	12.5	12.5	25.0	50.0	0.0
		安房	7	28.6	0.0	28.6	28.6	14.3
君津	16	25.0	6.3	6.3	62.5	0.0		
組織形態	振興組合	51	21.6	5.9	29.4	33.3	9.8	
	協同組合	22	13.6	9.1	27.3	36.4	13.6	
	任意団体	228	32.9	3.1	13.6	44.7	5.7	
立地環境	繁華街	18	38.9	0.0	5.6	50.0	5.6	
	一般商店街	68	30.9	4.4	17.6	41.2	5.9	
	一般住宅街	76	35.5	1.3	6.6	51.3	5.3	
	住宅団地	14	28.6	0.0	28.6	35.7	7.1	
	駅前	72	31.9	6.9	23.6	34.7	2.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	0.0	25.9	63.0	0.0	
	その他	12	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	

図表 92 事業計画の策定状況(地域・タイプ別)



### ③ 事業計画の取組状況 (問 1 - 8)

事業計画を策定した商店街に、同計画に基づいた施策の取組状況を確認したところ、「実施済み」が 24.2%、「取組中」が 28.6%で、これらを合わせると 52.8%となっている。

一方、「検討中」が 15.4%、「予定なし」が 30.8%あった。

地域・タイプ別に見ると、「実施済み」と「取組中」を合わせた割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「実施済み」と「取組中」を合わせた割合が比較的高いのは、千葉、香取、山武、夷隅である。

組織形態別に見ると、「実施済み」と「取組中」を合わせた割合が比較的高いのは、振興組合、協同組合である。

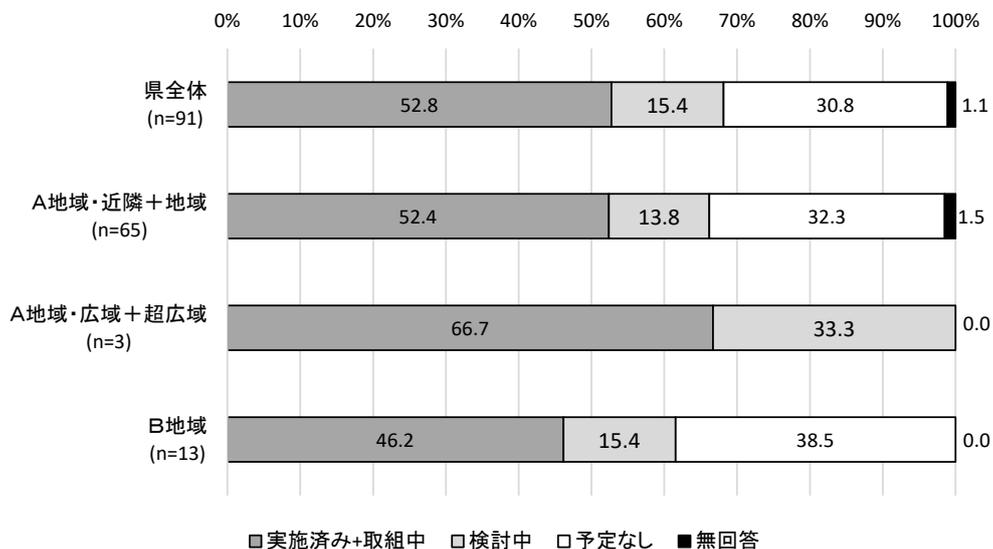
立地環境別に見ると、「実施済み」と「取組中」を合わせた割合が比較的高いのは、繁華街、住宅団地、駅前、ロードサイドである。

図表 93 事業計画の取組状況(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数(n)			実施済み+取組中	検討中	予定なし	無回答	
			実施済み	取組中					
令和4年度	県全体	91	24.2	28.6	52.8	15.4	30.8	1.1	
令和3年度	全国(参考)	4,536	26.5	42.9	69.4	15.9	14.7	0.0	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	73	24.7	27.4	52.1	16.4	30.1	1.4
		うち近隣+地域	65	26.2	26.2	52.4	13.8	32.3	1.5
		うち広域+超広域	3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0
	B地域計		13	15.4	30.8	46.2	15.4	38.5	0.0
ブロック	A地域	千葉	12	16.7	50.0	66.7	8.3	16.7	8.3
		葛南	28	28.6	25.0	53.6	17.9	28.6	0.0
		東葛飾	25	24.0	20.0	44.0	20.0	36.0	0.0
		印旛	8	25.0	25.0	50.0	12.5	37.5	0.0
	B地域	香取	3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0
		海匝	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		山武	2	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		長生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		安房	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
君津	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
組織形態	振興組合	11	27.3	36.4	63.7	18.2	9.1	9.1	
	協同組合	3	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	
	任意団体	75	24.0	25.3	49.3	16.0	34.7	0.0	
立地環境	繁華街	7	42.9	42.9	85.8	0.0	14.3	0.0	
	一般商店街	21	19.0	19.0	38.0	28.6	33.3	0.0	
	一般住宅街	27	14.8	25.9	40.7	11.1	48.1	0.0	
	住宅団地	4	25.0	50.0	75.0	0.0	25.0	0.0	
	駅前	23	34.8	34.8	69.6	13.0	13.0	4.3	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
	その他	4	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	

図表 94 事業計画の取組状況(地域・タイプ別)



## (8) 商店街の業種構成（問 1 - 9）

---

商店街の業種構成は、県全体では「飲食、サービス、観光土産品業種等が中心」が 23.2%で最も高く、次いで「最寄品店、買回り品店混合」(21.1%)、「買回り品店、専門店が中心」(20.5%)、「最寄品店、生鮮品店が中心」(5.8%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「最寄品店、生鮮品店が中心」が 1.5 ポイント減、「最寄品店、買回り品店混合」が 3.7 ポイント減となった一方、「買回り品店、専門店が中心」が 0.7 ポイント増、「飲食、サービス観光土産品業種等が中心」が 1.2 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域＋超広域で「買回り品店、専門店が中心」の割合が比較的高い。

ブロック別に見ると、「最寄品店、生鮮品店が中心」の割合が比較的高いのは、香取、長生、夷隅、「買回り品店、専門店が中心」の割合が比較的高いのは、長生、「最寄品店、買回り品店混合」の割合が比較的高いのは、夷隅、安房、君津、「飲食、サービス、観光土産品業種等が中心」の割合が比較的高いのは、君津である。

組織形態別に見ると、「買回り品店、専門店が中心」の割合が比較的高いのは、協同組合、「最寄品店、買回り品店混合」の割合が比較的高いのは、振興組合である。

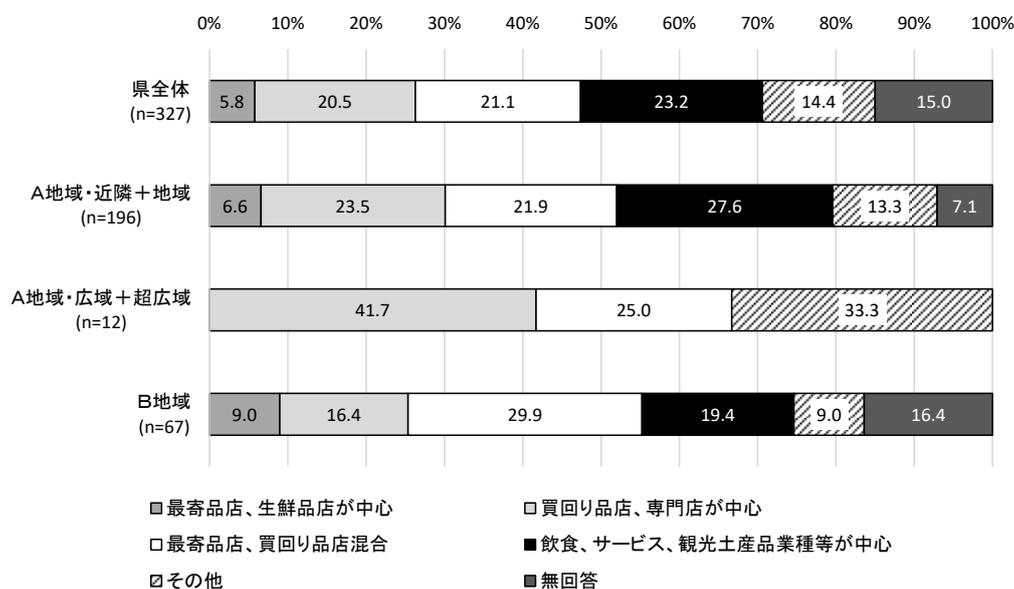
立地環境別に見ると、「最寄品店、生鮮品店が中心」の割合が比較的高いのは、住宅団地、「最寄品店、買回り品店混合」の割合が比較的高いのは、駅ビル、「飲食、サービス、観光土産品業種等が中心」の割合が比較的高いのは繁華街である。

図表 95 商店街の業種構成  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数(n)	最寄品店、 生鮮品店が 中心	買回り品店、 専門店が中 心	最寄品店、 買回り品店 混合	飲食、サービ ス、観光土産 品業種等が 中心	その他	無回答	
令和4年度	県全体	327	5.8	20.5	21.1	23.2	14.4	15.0	
平成29年度	県全体	400	7.3	19.8	24.8	22.0	12.5	13.8	
タ地 域 プ・	A 地 域	A地域計	244	5.3	22.1	19.3	24.2	14.8	14.3
		うち近隣+地域	196	6.6	23.5	21.9	27.6	13.3	7.1
		うち広域+超広域	12	0.0	41.7	25.0	0.0	33.3	0.0
		B地域計	67	9.0	16.4	29.9	19.4	9.0	16.4
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	14.3	22.4	20.4	20.4	14.3	8.2
		葛南	66	1.5	27.3	22.7	19.7	12.1	16.7
		東葛飾	97	4.1	18.6	19.6	27.8	16.5	13.4
		印旛	32	3.1	21.9	9.4	28.1	15.6	21.9
	B 地 域	香取	11	18.2	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1
		海匝	13	7.7	23.1	23.1	0.0	7.7	38.5
		山武	7	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3
		長生	5	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0
		安房	7	0.0	0.0	42.9	28.6	14.3	14.3
		君津	16	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5
形 組 織	振興組合	51	7.8	21.6	31.4	19.6	7.8	11.8	
	協同組合	22	13.6	31.8	27.3	4.5	9.1	13.6	
	任意団体	228	5.3	19.7	20.6	28.1	17.1	9.2	
立 地 環 境	繁華街	18	0.0	0.0	11.1	50.0	22.2	16.7	
	一般商店街	68	11.8	27.9	27.9	19.1	5.9	7.4	
	一般住宅街	76	2.6	23.7	15.8	26.3	21.1	10.5	
	住宅団地	14	28.6	14.3	21.4	14.3	21.4	0.0	
	駅前	72	1.4	23.6	26.4	26.4	18.1	4.2	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	7.4	25.9	29.6	25.9	11.1	0.0	
	その他	12	8.3	16.7	33.3	16.7	25.0	0.0	

図表 96 商店街の業種構成(地域・タイプ別)



## (9)集客力の高い施設 (問 1 -10)

商店街で最も集客力の高い核となる施設について確認したところ、県全体では「核店舗がない」が 30.0%で最も高く、次いで「飲食・サービス店」(15.3%)、「一般小売店」(11.9%)、「大型店」(9.8%)などとなっている。

平成 29 年度との比較では、「一般小売店」が 2.9 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・近隣+地域では「核店舗がない」(32.7%)、A地域・広域+超広域では「大型店」(41.7%)、B地域では「核店舗がない」(37.3%)が最も高い。

ブロック別に見ると、山武、夷隅以外の9ブロックで「核店舗がない」が最も高い。

組織形態別に見ると、振興組合と任意団体では「核店舗がない」、協同組合では「生鮮食料品店」が最も高い。

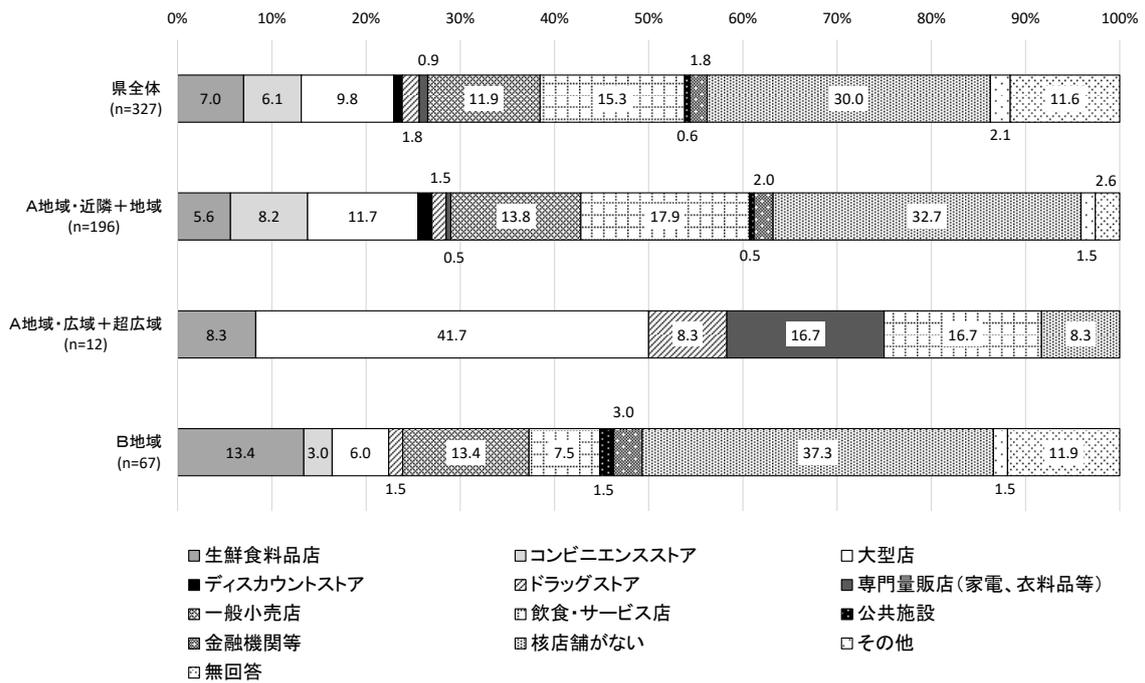
立地環境別に見ると、繁華街と駅ビルでは「飲食・サービス店」、住宅団地では「生鮮食料品店」が最も高い。それら以外の5項目では「核店舗がない」が最も高い。

図表 97 集客力の高い施設(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数 (n)	生鮮食 料品店	コンビニ エンス ストア	大型店	ディスカ ウントス ストア	ドラッグ ストア	専門量 販店(家 電、衣 料品等)	一般小 売店	飲食・ サービ ス店	公共施 設	金融機 関等	核店舗 がない	その他	無回答	
令和4年度	県全体	327	7.0	6.1	9.8	0.9	1.8	0.9	11.9	15.3	0.6	1.8	30.0	2.1	11.6	
平成29年度	県全体	400	7.5	6.3	10.8	1.3	1.8	0.8	9.0	15.0	0.8	1.8	30.5	2.8	12.0	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	4.9	7.0	11.5	1.2	1.6	1.2	11.5	16.8	0.4	1.6	29.1	2.0	11.1
		うち近隣+地域	196	5.6	8.2	11.7	1.5	1.5	0.5	13.8	17.9	0.5	2.0	32.7	1.5	2.6
		うち広域+超広域	12	8.3	0.0	41.7	0.0	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
		B地域計	67	13.4	3.0	6.0	0.0	1.5	0.0	13.4	7.5	1.5	3.0	37.3	1.5	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	4.1	2.0	16.3	4.1	2.0	0.0	10.2	20.4	0.0	0.0	26.5	2.0	12.2
		葛南	66	4.5	12.1	7.6	0.0	0.0	1.5	10.6	10.6	0.0	3.0	34.8	1.5	13.6
		東葛飾	97	5.2	6.2	10.3	0.0	3.1	2.1	12.4	21.6	1.0	2.1	26.8	2.1	7.2
		印旛	32	6.3	6.3	15.6	3.1	0.0	0.0	12.5	9.4	0.0	0.0	28.1	3.1	15.6
	B地域	香取	11	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1
		海匝	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	46.2	0.0	30.8
		山武	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3
		長生	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
		夷隅	8	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
		安房	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3
形態	振興組合	51	5.9	2.0	5.9	0.0	2.0	0.0	13.7	11.8	2.0	2.0	39.2	5.9	9.8	
	協同組合	22	27.3	0.0	18.2	0.0	4.5	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5	18.2	
	任意団体	228	6.1	8.3	10.5	1.3	1.8	1.3	10.5	18.9	0.4	2.2	32.5	1.3	4.8	
立地環境	繁華街	18	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	5.6	33.3	0.0	0.0	22.2	5.6	5.6	
	一般商店街	68	5.9	5.9	2.9	1.5	0.0	1.5	23.5	14.7	1.5	4.4	32.4	0.0	5.9	
	一般住宅街	76	3.9	9.2	6.6	0.0	3.9	0.0	10.5	17.1	0.0	1.3	42.1	2.6	2.6	
	住宅団地	14	35.7	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	28.6	7.1	0.0	
	駅前	72	5.6	8.3	20.8	1.4	1.4	2.8	12.5	16.7	0.0	1.4	26.4	1.4	1.4	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	11.1	11.1	0.0	3.7	0.0	7.4	14.8	0.0	3.7	33.3	3.7	0.0	
	その他	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	33.3	8.3	0.0	

図表 98 集客力の高い施設(地域・タイプ別)



(10)店舗数・会員数と加入率

① 店舗数・会員数 (問 1 -11)

有効回答 327 商店街の店舗数は、県全体で 8,978 店となっている。店舗の内訳の回答を集計したところ、大型店が 171 店、チェーン店が 1,015 店、店主が居住している店舗が 3,135 店であった。

図表 99 店舗数・会員数(県全体、ブロック別)

(単位: 店、人)

		県全体	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	無回答
店舗数	会員	6,587	1,548	1,180	1,507	451	170	141	280	96	345	218	211	440
	準会員	268	38	88	90	10	1	11	0	5	15	0	0	10
	非加入者	2,123	491	348	666	175	0	30	242	4	36	47	84	0
	合計	<b>8,978</b>	<b>2,077</b>	<b>1,616</b>	<b>2,263</b>	<b>636</b>	<b>171</b>	<b>182</b>	<b>522</b>	<b>105</b>	<b>396</b>	<b>265</b>	<b>295</b>	<b>450</b>
うち大型店	会員	110	12	26	33	9	3	0	2	3	0	1	2	19
	準会員	15	3	5	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	非加入者	46	23	3	9	6	0	0	1	0	1	3	0	0
	合計	<b>171</b>	<b>38</b>	<b>34</b>	<b>48</b>	<b>15</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>19</b>
うちチェーン店	会員	548	115	114	156	45	2	2	42	0	2	1	6	63
	準会員	35	10	15	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	非加入者	432	95	52	179	14	0	8	71	0	5	8	0	0
	合計	<b>1,015</b>	<b>220</b>	<b>181</b>	<b>344</b>	<b>59</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>113</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>6</b>	<b>63</b>
うち居住店舗	会員	2,632	720	468	617	161	71	88	58	48	84	58	123	136
	準会員	93	0	16	50	12	0	3	0	1	1	0	0	10
	非加入者	410	186	64	33	53	0	10	4	0	19	29	12	0
	合計	<b>3,135</b>	<b>906</b>	<b>548</b>	<b>700</b>	<b>226</b>	<b>71</b>	<b>101</b>	<b>62</b>	<b>49</b>	<b>104</b>	<b>87</b>	<b>135</b>	<b>146</b>

ブロック別に県全体に占める店舗数合計と会員数(会員、準会員)合計の割合を見ると、店舗数では東葛飾が25.2%で最も高く、次いで千葉(23.1%)、葛南(18.0%)などとなっている。

会員数では東葛飾が23.3%で最も高く、次いで千葉(23.1%)、葛南(18.5%)などとなっている。

東葛飾、千葉、葛南の3ブロックの店舗数、会員数を合計すると、店舗数は全体の66.3%、会員数は全体の64.9%を占めている。

図表 100 県全体に占める店舗数・会員数の割合(ブロック別)

(単位:%)

	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	無回答
店舗数	23.1	18.0	25.2	7.1	1.9	2.0	5.8	1.2	4.4	3.0	3.3	5.0
会員数	23.1	18.5	23.3	6.7	2.5	2.2	4.1	1.5	5.3	3.2	3.1	6.6

## ② 商店街加入率

店舗単位の商店街加入率(会員、準会員合計)は、県全体では76.4%で、平成29年度との比較では3.1ポイント低下している。

ブロック別に見ると、香取が100.0%で最も高く、次いで長生(96.2%)、夷隅(90.9%)などとなっている。

一方、山武(53.6%)は加入率が突出して低い。

図表 101 店舗単位の商店街加入率(県全体、ブロック別)

(単位:%、ポイント)

			合計	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	
令和4年度(A)	店舗	会員+準会員	76.4	76.4	78.5	70.6	72.5	100.0	83.5	53.6	96.2	90.9	82.3	71.5	
		非加入者	23.6	23.6	21.5	29.4	27.5	0.0	16.5	46.4	3.8	9.1	17.7	28.5	
	うち大型店	会員+準会員	73.1	39.5	91.2	81.3	60.0	100.0	-	66.7	100.0	50.0	25.0	100.0	
		非加入者	26.9	60.5	8.8	18.8	40.0	0.0	-	33.3	0.0	50.0	75.0	0.0	
	うちチェーン店	会員+準会員	57.4	56.8	71.3	48.0	76.3	100.0	20.0	37.2	-	37.5	11.1	100.0	
		非加入者	42.6	43.2	28.7	52.0	23.7	0.0	80.0	62.8	-	62.5	88.9	0.0	
	うち居住店舗	会員+準会員	86.9	79.5	88.3	95.3	76.5	100.0	90.1	93.5	100.0	81.7	66.7	91.1	
		非加入者	13.1	20.5	11.7	4.7	23.5	0.0	9.9	6.5	0.0	18.3	33.3	8.9	
	平成29年度(B)	店舗	会員+準会員	79.5	79.4	83.8	74.6	70.0	91.4	95.4	73.2	76.1	81.0	58.3	83.1
			非加入者	20.5	20.6	16.2	25.4	30.0	8.6	4.6	26.8	23.9	19.0	41.7	16.9
差異(A-B)		会員+準会員	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 5.3	▲ 4.0	2.5	8.6	▲ 11.8	▲ 19.5	20.1	9.9	24.0	▲ 11.5	
		非加入者	3.1	3.0	5.3	4.0	▲ 2.5	▲ 8.6	11.8	19.5	▲ 20.1	▲ 9.9	▲ 24.0	11.5	

## (11)業種別店舗数 (問 1-12)

### ① 1 商店街当たりの業種別店舗数の平均値

業種別に商店街に立地する店舗数の平均値を見ると、県全体では買回り品大型店 0.9 店、買回り品専門店 7.1 店、最寄品 8.7 店、飲食・サービス店 18.3 店、総数 35.8 店となっている。

図表 102 1 商店街当たりの業種別店舗数の平均値(県全体、ブロック別)

(単位:店)

	県全体	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
買回り品大型店	0.9	0.7	0.6	1.3	1.0	0.1	0.0	0.0	1.3	0.8	1.0	0.1
買回り品専門店	7.1	7.5	7.8	6.8	7.5	2.6	7.3	7.3	4.3	7.3	6.8	6.9
最寄品店	8.7	14.3	8.7	4.9	7.4	3.7	6.5	26.3	3.3	18.9	27.2	3.4
飲食・サービス店	18.3	24.4	20.8	17.5	11.8	5.8	8.0	18.0	20.7	13.0	9.3	13.3
その他	5.2	8.8	6.6	5.2	3.4	0.3	2.0	0.7	0.0	4.5	1.0	2.3
総数	35.8	49.6	40.3	31.6	26.8	11.6	20.0	45.8	23.3	40.6	39.2	23.2

(注)回答商店街の平均値であるため、業種別店舗数の合計は「総数」と一致しない

(注)業種別店舗の内容

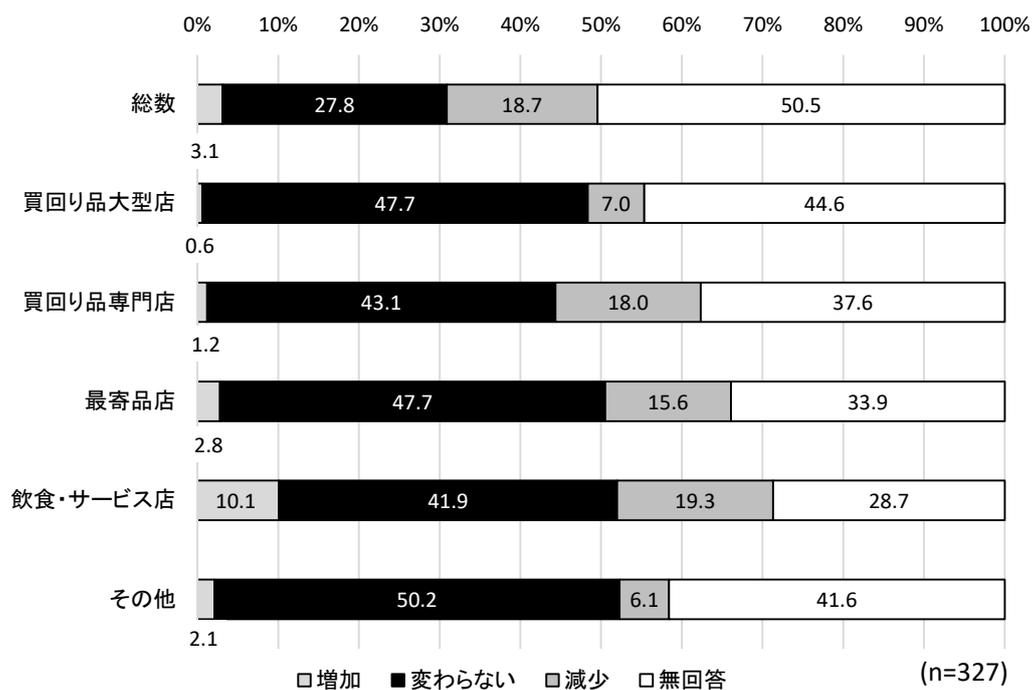
買回り品大型店	比較して購入する商品を販売する大型小売店(百貨店、総合スーパーマーケット、大型ディスカウント店等)
買回り品専門店	その他の買回り小売店(衣料品、靴、バッグ、家電品等、複数店舗を訪れて比較して購入する商品を販売する小売店)
最寄品店	最寄りの店舗で購入する商品を販売する小売店(食品スーパー、生鮮食品・日配食品店、コンビニエンスストア等)
飲食・サービス店	飲食店、理・美容、クリーニング、遊技場、マッサージ、デイサービス等
その他	公共施設、金融機関等

## ② 業種別店舗数の増減（3年前比）

3年前と比較した店舗数の増減を見ると、総数では「変わらない」が27.8%で最も高く、「増加」が3.1%、「減少」が18.7%であった。

業種別に見ると「増加」の割合、「減少」の割合とも、飲食・サービス店が最も高くなっている（増加:10.1%、減少:19.3%）。

図表 103 業種別店舗数の増減(3年前比)



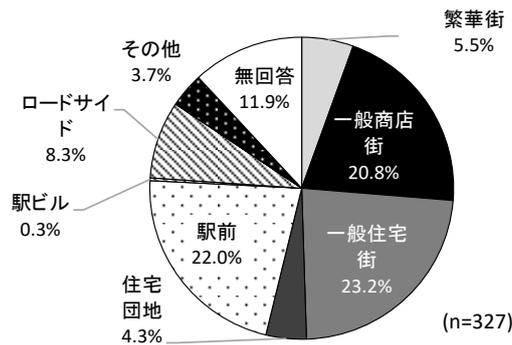
## 2. 商店街の立地環境等

### (1) 商店街の立地環境（問2-1）

商店街の立地環境は、県全体では「一般住宅街」が23.2%で最も高く、次いで「駅前」(22.0%)、「一般商店街」(20.8%)などとなっている。

平成29年度との比較では、「ロードサイド」(+2.8ポイント)や「駅前」(+2.2ポイント)などが増加した一方、「一般商店街」(▲4.7ポイント)などは減少している。

図表 104 商店街の立地環境



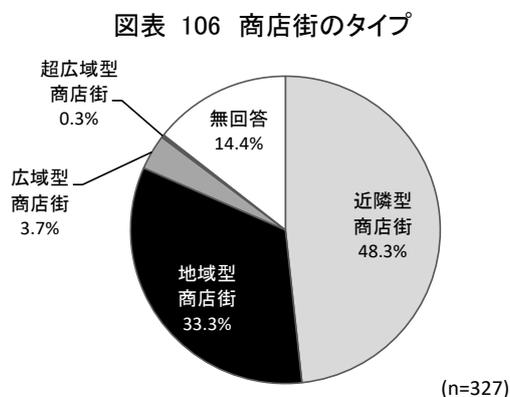
図表 105 商店街の立地環境(県全体、ブロック別、組織形態別、タイプ別)

(単位: %)

		回答数 (n)	繁華街	一般 商店街	一般 住宅街	住宅 団地	駅前	駅ビル	ロード サイド	オフィス 街	その他	無回答
令和4年度	県全体	327	5.5	20.8	23.2	4.3	22.0	0.3	8.3	0.0	3.7	11.9
平成29年度	県全体	400	4.3	25.5	24.3	4	19.8	0.3	5.5	0.5	4.5	11.5
ブ ロ ッ ク	千葉	49	4.1	14.3	22.4	10.2	28.6	2.0	4.1	0.0	0.0	14.3
	葛南	66	4.5	16.7	25.8	1.5	24.2	0.0	7.6	0.0	1.5	18.2
	東葛飾	97	8.2	20.6	23.7	6.2	23.7	0.0	7.2	0.0	3.1	7.2
	印旛	32	6.3	9.4	18.8	3.1	25.0	0.0	21.9	0.0	3.1	12.5
	香取	11	0.0	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1
	海匝	13	7.7	23.1	30.8	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4
	山武	7	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	長生	5	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	夷隅	8	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0
	安房	7	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
君津	16	0.0	31.3	31.3	0.0	25.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	
形 組 態 織	振興組合	51	3.9	27.5	13.7	5.9	25.6	0.0	11.8	0.0	2.0	9.8
	協同組合	22	4.6	22.9	9.0	4.5	40.9	0.0	4.5	0.0	0.0	13.7
	任意団体	228	6.6	19.7	27.6	4.4	21.9	0.4	8.8	0.0	4.8	5.7
タ イ プ	近隣型商店街	158	5.1	22.8	33.5	7.0	19.6	0.0	8.2	0.0	2.5	1.3
	地域型商店街	109	4.6	27.6	16.5	2.8	29.4	0.0	11.9	0.0	5.5	1.8
	広域型商店街	12	33.3	0.0	0.0	0.0	58.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	超広域型商店街	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (2) 商店街のタイプ (問 2 - 2)

商店街のタイプは、県全体では近隣型が 48.3%で最も高く、次いで地域型(33.3%)、広域型(3.7%)、超広域型(0.3%)となっている。



### ■ 商店街のタイプ(再掲)

近隣型商店街	最寄品中心で、地元主婦が日用品等を徒歩又は自転車等により日常の買い物をする商店街
地域型商店街	最寄品及び買回り品が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品より買回り品が多い商店街
超広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離からの来街者が買い物をする商店街

平成 29 年度との比較では、「地域型商店街」(+3.8 ポイント)などが増加した一方、「近隣型商店街」(▲6.0 ポイント)は減少している。

図表 107 商店街のタイプ(県全体、ブロック別、組織形態別)

(単位:%)

		回答数 (n)	近隣型 商店街	地域型 商店街	広域型 商店街	超広域型 商店街	無回答
令和4年度	県全体	327	48.3	33.3	3.7	0.3	14.4
平成29年度	県全体	400	54.3	29.5	3.0	0.3	13.0
ブ ロ ッ ク	千葉	49	40.8	36.7	6.1	0.0	16.3
	葛南	66	56.1	21.2	3.0	1.5	18.2
	東葛飾	97	54.6	28.9	6.2	0.0	10.3
	印旛	32	46.9	34.4	0.0	0.0	18.8
	香取	11	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1
	海匝	13	46.2	30.8	0.0	0.0	23.1
	山武	7	14.3	71.4	0.0	0.0	14.3
	長生	5	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0
	夷隅	8	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	安房	7	14.3	57.1	0.0	0.0	28.6
	君津	16	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
形 組 態 織	振興組合	51	37.3	49.0	3.9	0.0	9.8
	協同組合	22	13.6	63.6	9.1	0.0	13.6
	任意団体	228	57.5	30.3	3.5	0.4	8.3

### (3)顧客層 (問 2 - 3)

#### ① 中心顧客層

中心顧客層(複数回答)は、県全体では「高齢者」が 83.6%で最も高く、次いで「主婦」(74.0%)、「家族連れ」(41.6%)などとなっている。

平成 29 年度との比較では、「主婦」が 5.4 ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域で「学生・若者」、「家族連れ」、「ビジネスマン・OL」が比較的高く、B地域で「高齢者」が比較的高い。

図表 108 中心顧客層(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	学生・ 若者	家族連れ	主婦	ビジネス マン・OL	高齢者	観光客 (国内)	観光客 (海外)	その他	
令和4年度	県全体	250	22.0	41.6	74.0	20.4	83.6	4.4	0.8	2.8	
平成29年度	県全体	282	21.3	38.3	79.4	17.0	83.0	6.0	2.1	2.1	
地域 タイプ	A地域	A地域計	183	25.1	42.6	73.2	23.5	79.8	2.2	1.1	2.7
		うち近隣+地域	168	21.4	41.7	74.4	20.2	78.6	1.8	1.2	3.0
		うち広域+超広域	10	80.0	60.0	60.0	80.0	90.0	10.0	0.0	0.0
		B地域計	54	13.0	35.2	77.8	11.1	94.4	13.0	0.0	1.9
ブロック	A地域	千葉	39	23.1	35.9	61.5	20.5	79.5	0.0	0.0	2.6
		葛南	46	34.8	43.5	80.4	28.3	71.7	0.0	0.0	2.2
		東葛飾	75	22.7	44.0	77.3	25.3	85.3	2.7	0.0	2.7
		印旛	23	17.4	47.8	65.2	13.0	78.3	8.7	8.7	4.3
	B地域	香取	8	0.0	62.5	87.5	0.0	87.5	25.0	0.0	0.0
		海匝	9	0.0	11.1	88.9	22.2	100.0	0.0	0.0	0.0
		山武	6	33.3	33.3	66.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		長生	4	25.0	25.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	8	12.5	50.0	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
		安房	6	0.0	50.0	83.3	16.7	83.3	16.7	0.0	0.0
	君津	13	23.1	23.1	61.5	15.4	92.3	0.0	0.0	7.7	
組織 形態	振興組合	40	25.0	47.5	82.5	27.5	95.0	5.0	2.5	0.0	
	協同組合	18	55.6	50.0	88.9	22.2	83.3	11.1	0.0	0.0	
	任意団体	188	18.6	40.4	71.3	19.1	81.4	3.7	0.5	3.7	
立地 環境	繁華街	14	57.1	71.4	78.6	64.3	64.3	7.1	0.0	7.1	
	一般商店街	59	15.3	47.5	76.3	20.3	84.7	8.5	0.0	5.1	
	一般住宅街	62	11.3	37.1	72.6	4.8	80.6	3.2	1.6	0.0	
	住宅団地	13	15.4	38.5	61.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	63	34.9	34.9	77.8	33.3	84.1	3.2	1.6	3.2	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	25	20.0	40.0	72.0	12.0	88.0	0.0	0.0	4.0	
	その他	11	9.1	45.5	72.7	9.1	100.0	9.1	0.0	0.0	

(注)複数回答

## ② 最も多い顧客層

最も多い顧客層(単数回答)は、県全体では「高齢者」が 50.0%で最も高く、次いで「主婦」(31.8%)、「家族連れ」(8.5%)などとなっている。

平成 29 年度との比較では、「主婦」が 2.2 ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域で「家族連れ」、「主婦」が比較的高く、B地域で「高齢者」が比較的高い。

図表 109 最も多い顧客層(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	学生・ 若者	家族連れ	主婦	ビジネス マン・OL	高齢者	観光客 (国内)	観光客 (海外)	その他	
令和4年度	県全体	236	0.8	8.5	31.8	6.4	50.0	1.3	0.0	1.3	
平成29年度	県全体	253	2.4	7.1	34.0	6.3	47.4	1.6	0.0	1.2	
タ地 域 ブ	A 地域	A地域計	170	1.2	9.4	32.9	8.8	44.7	1.2	0.0	1.8
		うち近隣+地域	158	1.3	8.2	32.3	9.5	45.6	1.3	0.0	1.9
		うち広域+超広域	9	0.0	33.3	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
		B地域計	53	0.0	7.5	24.5	0.0	66.0	1.9	0.0	0.0
ブ ロ ク	A 地域	千葉	35	2.9	14.3	17.1	11.4	51.4	0.0	0.0	2.9
		葛南	44	2.3	2.3	40.9	9.1	45.5	0.0	0.0	0.0
		東葛飾	70	0.0	12.9	37.1	10.0	37.1	1.4	0.0	1.4
		印旛	21	0.0	4.8	28.6	0.0	57.1	4.8	0.0	4.8
	B 地域	香取	8	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
		海匠	9	0.0	0.0	22.2	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0
		山武	5	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		長生	4	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	8	0.0	0.0	25.0	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0
		安房	6	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0
	君津	13	0.0	7.7	15.4	0.0	76.9	0.0	0.0	0.0	
形 組 態 織	振興組合	39	0.0	5.1	35.9	5.1	53.8	0.0	0.0	0.0	
	協同組合	16	0.0	12.5	25.0	6.3	56.3	0.0	0.0	0.0	
	任意団体	178	1.1	9.0	30.9	6.7	48.9	1.7	0.0	1.7	
立 地 環 境	繁華街	14	0.0	14.3	28.6	35.7	21.4	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	56	1.8	3.6	44.6	5.4	42.9	0.0	0.0	1.8	
	一般住宅街	57	0.0	12.3	28.1	0.0	56.1	3.5	0.0	0.0	
	住宅団地	10	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	61	1.6	9.8	37.7	8.2	41.0	0.0	0.0	1.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	24	0.0	12.5	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	4.2	
	その他	11	0.0	0.0	9.1	0.0	81.8	9.1	0.0	0.0	

(注)単数回答

### ③ 今後増やしたい顧客層

今後増やしたい客層(複数回答)は、県全体では「学生・若者」が 54.3%で最も高く、次いで「家族連れ」(53.4%)、「主婦」(35.1%)などとなっている。

平成 29 年度との比較では、「家族連れ」が 5.9 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域で「学生・若者」、「ビジネスマン・OL」が比較的高い。

図表 110 今後増やしたい顧客層(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	学生・ 若者	家族連れ	主婦	ビジネスマン・OL	高齢者	観光客 (国内)	観光客 (海外)	その他	
令和4年度	県全体	208	54.3	53.4	35.1	21.6	21.6	14.4	5.3	2.4	
平成29年度	県全体	223	48.9	47.5	33.6	15.7	17.5	13.5	6.7	2.7	
地域・ タイプ	A地域計	150	57.3	52.0	32.7	20.0	20.7	11.3	4.7	2.7	
	うち近隣+地域	137	56.9	52.6	32.8	17.5	21.2	10.9	5.1	2.9	
	うち広域+超広域	9	66.7	55.6	33.3	55.6	11.1	22.2	0.0	0.0	
	B地域計	46	41.3	63.0	41.3	21.7	26.1	21.7	6.5	2.2	
ブロック	A地域	千葉	35	60.0	40.0	20.0	14.3	8.6	11.4	0.0	0.0
		葛南	36	50.0	72.2	36.1	19.4	19.4	5.6	2.8	2.8
		東葛飾	61	57.4	54.1	37.7	26.2	26.2	16.4	6.6	3.3
		印旛	18	66.7	27.8	33.3	11.1	27.8	5.6	11.1	5.6
	B地域	香取	7	42.9	85.7	57.1	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3
		海匠	9	66.7	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
		山武	5	60.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		長生	4	50.0	100.0	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0
		夷隅	6	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
		安房	6	16.7	66.7	66.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	君津	9	22.2	66.7	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	
組織 形態	振興組合	34	55.9	67.6	47.1	35.3	41.2	17.6	5.9	0.0	
	協同組合	15	53.3	60.0	33.3	20.0	13.3	26.7	6.7	0.0	
	任意団体	156	54.5	50.0	32.1	19.2	18.6	12.8	5.1	3.2	
立地 環境	繁華街	11	54.5	54.5	45.5	36.4	18.2	27.3	0.0	0.0	
	一般商店街	50	50.0	58.0	32.0	18.0	24.0	20.0	4.0	2.0	
	一般住宅街	48	60.4	54.2	43.8	16.7	22.9	12.5	6.3	4.2	
	住宅団地	10	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	54	59.3	53.7	31.5	27.8	16.7	9.3	7.4	1.9	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	22	59.1	50.0	31.8	18.2	31.8	18.2	4.5	4.5	
	その他	10	40.0	60.0	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	

(注)複数回答

#### ④ 来街者の交通手段（問2-4）

来街者の交通手段は、県全体では「徒歩」が41.0%で最も高く、次いで自家用車(26.0%)、自転車・バイク(12.5%)などとなっている。

図表 111 来街者の交通手段(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	徒歩	自転車・ バイク	自家用車	バス	鉄道	その他	無回答	
令和4年度	県全体	327	41.0	12.5	26.0	0.3	4.0	0.9	15.3	
タ 地 域 プ ・	A 地 域	A地域計	244	49.2	13.1	15.2	0.4	5.3	0.8	16.0
		うち近隣+地域	196	58.2	16.3	17.3	0.5	3.1	0.5	4.1
		うち広域+超広域	12	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
		B地域計	67	14.9	7.5	64.2	0.0	0.0	1.5	11.9
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	40.8	10.2	24.5	0.0	6.1	0.0	18.4
		葛南	66	51.5	15.2	6.1	0.0	4.5	1.5	21.2
		東葛飾	97	55.7	12.4	12.4	1.0	5.2	1.0	12.4
		印旛	32	37.5	15.6	28.1	0.0	6.3	0.0	12.5
	B 地 域	香取	11	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	0.0	9.1
		海匝	13	23.1	0.0	46.2	0.0	0.0	7.7	23.1
		山武	7	14.3	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	14.3
		長生	5	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	7	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3
		君津	16	18.8	6.3	68.8	0.0	0.0	0.0	6.3
形 組 態 織	振興組合	51	45.1	17.6	19.6	0.0	5.9	2.0	9.8	
	協同組合	22	31.8	13.6	36.4	0.0	4.5	0.0	13.6	
	任意団体	228	43.9	12.7	28.1	0.4	3.9	0.9	10.1	
立 地 環 境	繁華街	18	55.6	0.0	22.2	5.6	11.1	5.6	0.0	
	一般商店街	68	42.6	10.3	44.1	0.0	1.5	0.0	1.5	
	一般住宅街	76	46.1	13.2	27.6	0.0	2.6	1.3	9.2	
	住宅団地	14	92.9	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	72	51.4	22.2	11.1	0.0	6.9	1.4	6.9	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	25.9	18.5	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	12	16.7	25.0	50.0	0.0	8.3	0.0	0.0	

#### (4) 商圈範囲の変化（問 2 - 5）

3年前と比べた商圈範囲は、県全体では「変わらない」が 62.4%で最も高く、「狭くなった」が 21.4%、「広くなった」が 3.1%となっている。

地域・タイプ別に見ると、B地域では「狭くなった」の割合が比較的高い。

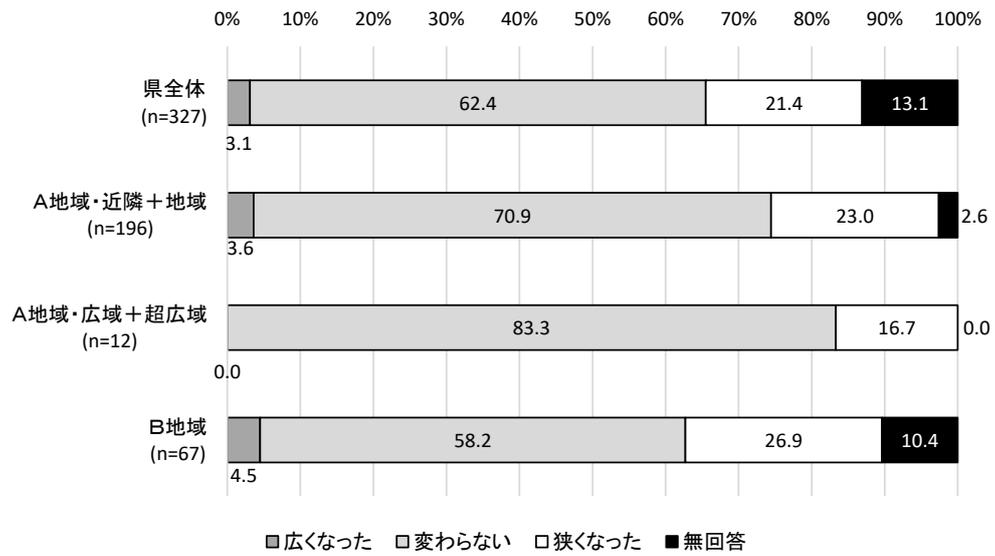
ブロック別に見ると、「狭くなった」の割合が比較的高いのは、香取、長生、夷隅である。

図表 112 商圈範囲の変化(3年前比。県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	広くなった	変わらない	狭くなった	無回答	
令和4年度	県全体	327	3.1	62.4	21.4	13.1	
地域・ タイプ別	A地域計	244	2.9	62.7	20.9	13.5	
	うち近隣+地域	196	3.6	70.9	23.0	2.6	
	うち広域+超広域	12	0.0	83.3	16.7	0.0	
	B地域計	67	4.5	58.2	26.9	10.4	
ブロック	A地域	千葉	49	4.1	61.2	22.4	12.2
		葛南	66	1.5	63.6	16.7	18.2
		東葛飾	97	3.1	62.9	23.7	10.3
		印旛	32	3.1	62.5	18.8	15.6
	B地域	香取	11	9.1	45.5	36.4	9.1
		海匝	13	0.0	53.8	23.1	23.1
		山武	7	14.3	71.4	0.0	14.3
		長生	5	20.0	20.0	40.0	20.0
		夷隅	8	0.0	62.5	37.5	0.0
		安房	7	0.0	57.1	28.6	14.3
		君津	16	0.0	75.0	25.0	0.0
組織形態	振興組合	51	2.0	64.7	25.5	7.8	
	協同組合	22	0.0	63.6	22.7	13.6	
	任意団体	228	3.9	66.2	22.4	7.5	
立地環境	繁華街	18	0.0	83.3	11.1	5.6	
	一般商店街	68	1.5	75.0	22.1	1.5	
	一般住宅街	76	3.9	65.8	26.3	3.9	
	住宅団地	14	0.0	71.4	28.6	0.0	
	駅前	72	4.2	62.5	30.6	2.8	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	7.4	66.7	25.9	0.0	
	その他	12	8.3	91.7	0.0	0.0	

図表 113 商圈範囲の変化(3年前比。県全体、地域・タイプ別)



## (5)人通りの変化（問2-6）

3年前と比べた商店街の人通りは、県全体では「少なくなった」が 51.7%に上るのに対し、「多くなった」は 2.4%にとどまっている。

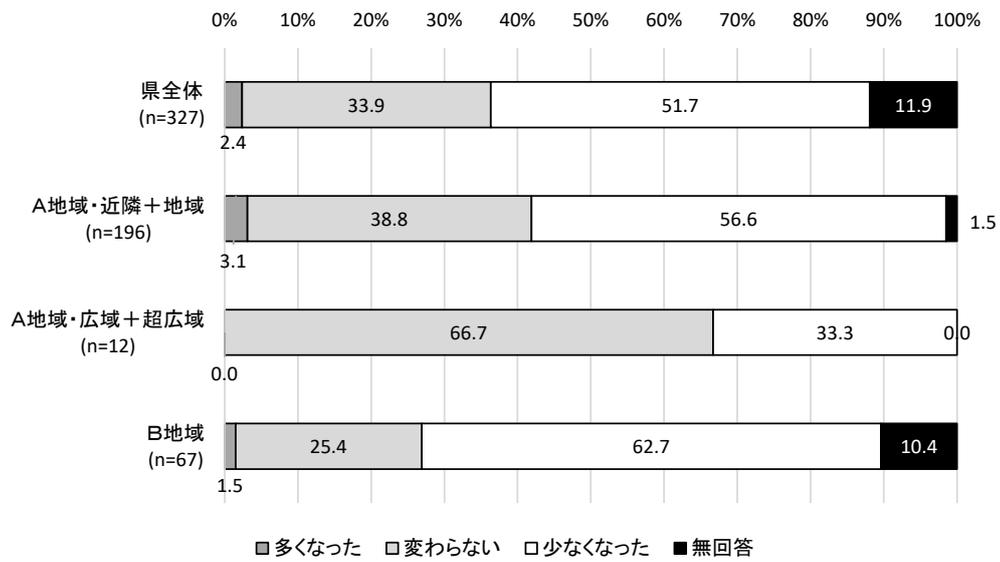
地域・タイプ別に見ると、B地域で「少なくなった」の割合が 62.7%と突出して高い。

図表 114 人通りの変化(3年前比。県全体、地域・タイプ別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	多くなった	変わらない	少なくなった	無回答	
令和4年度	県全体	327	2.4	33.9	51.7	11.9	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	2.9	35.7	49.6	11.9
		うち近隣+地域	196	3.1	38.8	56.6	1.5
		うち広域+超広域	12	0.0	66.7	33.3	0.0
	B地域計	67	1.5	25.4	62.7	10.4	
ブロック	A地域	千葉	49	2.0	36.7	46.9	14.3
		葛南	66	7.6	36.4	42.4	13.6
		東葛飾	97	1.0	37.1	52.6	9.3
		印旛	32	0.0	28.1	59.4	12.5
	B地域	香取	11	0.0	27.3	63.6	9.1
		海匝	13	0.0	7.7	69.2	23.1
		山武	7	0.0	42.9	42.9	14.3
		長生	5	20.0	20.0	40.0	20.0
		夷隅	8	0.0	12.5	87.5	0.0
		安房	7	0.0	28.6	57.1	14.3
		君津	16	0.0	37.5	62.5	0.0
組織 形態	振興組合	51	0.0	43.1	51.0	5.9	
	協同組合	22	0.0	27.3	59.1	13.6	
	任意団体	228	3.1	35.1	55.3	6.6	
立地 環境	繁華街	18	5.6	38.9	55.6	0.0	
	一般商店街	68	1.5	41.2	55.9	1.5	
	一般住宅街	76	5.3	30.3	61.8	2.6	
	住宅団地	14	0.0	35.7	64.3	0.0	
	駅前	72	2.8	37.5	58.3	1.4	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	0.0	59.3	40.7	0.0	
	その他	12	0.0	33.3	66.7	0.0	

図表 115 人通りの変化(3年前比。県全体、地域・タイプ別)



## (6)チェーン店舗数等の変化（問2-7）

### ①チェーン店舗数の変化

3年前と比べた商店街の中のチェーン店舗は、県全体では「変わらない」が58.7%で最も高く、「増えた」が7.6%、「減った」が12.8%となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域では「増えた」の割合が比較的高い。

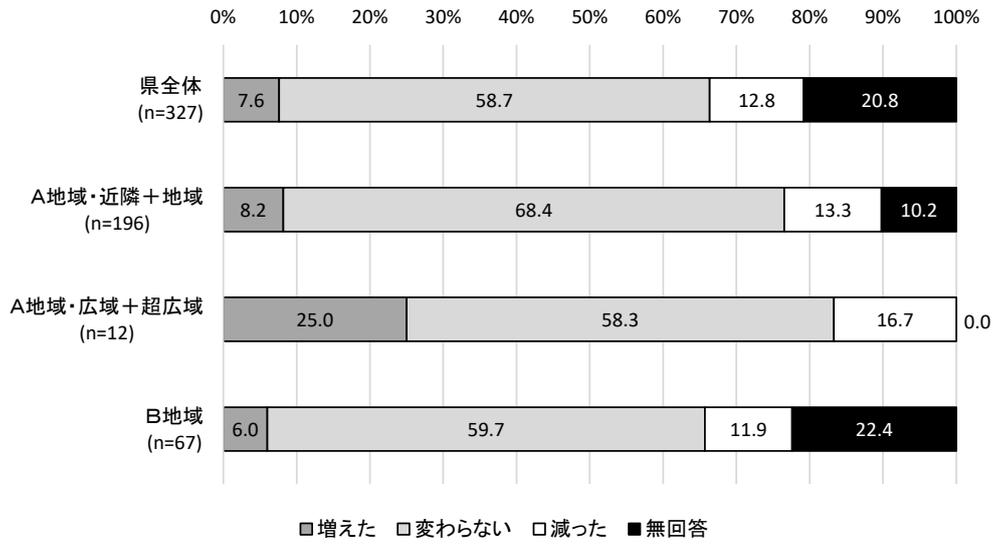
ブロック別に見ると、「増えた」の割合が比較的高いのは、長生、安房で、「減った」の割合が比較的高いのは、山武、君津である。

図表 116 チェーン店舗数の変化  
(3年前比。県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	増えた	変わらない	減った	無回答	
令和4年度	県全体	327	7.6	58.7	12.8	20.8	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	8.6	58.6	12.3	20.5
		うち近隣+地域	196	8.2	68.4	13.3	10.2
		うち広域+超広域	12	25.0	58.3	16.7	0.0
	B地域計	67	6.0	59.7	11.9	22.4	
ブロック	A地域	千葉	49	14.3	55.1	12.2	18.4
		葛南	66	10.6	47.0	18.2	24.2
		東葛飾	97	5.2	67.0	11.3	16.5
		印旛	32	6.3	62.5	3.1	28.1
	B地域	香取	11	0.0	63.6	9.1	27.3
		海匝	13	0.0	46.2	7.7	46.2
		山武	7	0.0	57.1	28.6	14.3
		長生	5	20.0	20.0	0.0	60.0
		夷隅	8	0.0	100.0	0.0	0.0
		安房	7	28.6	57.1	0.0	14.3
君津	16	6.3	62.5	25.0	6.3		
組織 形態	振興組合	51	7.8	51.0	21.6	19.6	
	協同組合	22	9.1	68.2	9.1	13.6	
	任意団体	228	7.9	65.8	12.7	13.6	
立地 環境	繁華街	18	11.1	66.7	16.7	5.6	
	一般商店街	68	2.9	66.2	16.2	14.7	
	一般住宅街	76	6.6	63.2	13.2	17.1	
	住宅団地	14	7.1	78.6	7.1	7.1	
	駅前	72	16.7	61.1	16.7	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	3.7	81.5	11.1	3.7	
	その他	12	0.0	83.3	0.0	16.7	

図表 117 チェーン店舗数の変化(3年前比。地域・タイプ別)



## ②テナント店舗数の変化

3年前と比べた商店街の中のテナント店舗は、県全体では「変わらない」が 54.1%で最も高く、「増えた」が 3.1%、「減った」が 19.0%となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域＋超広域では「増えた」の割合が比較的高い。

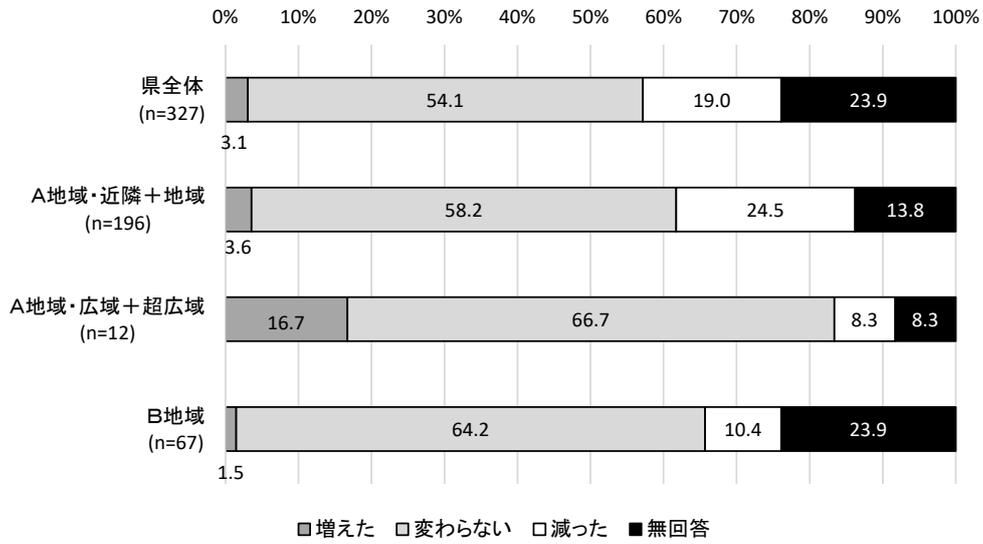
ブロック別に見ると、「増えた」の割合が比較的高いのは夷隅で、「減った」の割合が比較的高いのは千葉である。

図表 118 テナント店舗数の変化  
(3年前比。県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位：%)

		回答数 (n)	増えた	変わらない	減った	無回答	
令和4年度	県全体	327	3.1	54.1	19.0	23.9	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	3.7	51.2	20.9	24.2
		うち近隣＋地域	196	3.6	58.2	24.5	13.8
		うち広域＋超広域	12	16.7	66.7	8.3	8.3
	B地域計	67	1.5	64.2	10.4	23.9	
ブロック	A地域	千葉	49	0.0	49.0	28.6	22.4
		葛南	66	6.1	42.4	25.8	25.8
		東葛飾	97	4.1	60.8	12.4	22.7
		印旛	32	3.1	43.8	25.0	28.1
	B地域	香取	11	0.0	54.5	18.2	27.3
		海匝	13	0.0	38.5	15.4	46.2
		山武	7	0.0	85.7	0.0	14.3
		長生	5	0.0	40.0	20.0	40.0
		夷隅	8	12.5	87.5	0.0	0.0
		安房	7	0.0	85.7	0.0	14.3
	君津	16	0.0	68.8	12.5	18.8	
組織 形態	振興組合	51	3.9	51.0	25.5	19.6	
	協同組合	22	4.5	72.7	9.1	13.6	
	任意団体	228	3.1	58.8	20.6	17.5	
立地 環境	繁華街	18	5.6	83.3	5.6	5.6	
	一般商店街	68	0.0	61.8	25.0	13.2	
	一般住宅街	76	1.3	56.6	18.4	23.7	
	住宅団地	14	7.1	57.1	7.1	28.6	
	駅前	72	6.9	58.3	27.8	6.9	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	
	ロードサイド	27	3.7	63.0	22.2	11.1	
その他	12	0.0	83.3	8.3	8.3		

図表 119 テナント店舗数の変化(3年前比。地域・タイプ別)



### 3. 商店街の景況

#### (1) 景況 (問3-1)

商店街の景況は、県全体では「衰退している(衰退+やや)」が 67.9%に上るのに対し、「繁栄している(繁栄+やや)」は 2.4%にとどまっている。

平成 29 年度との比較では、「繁栄している(繁栄+やや)」は 0.2 ポイント減少、「衰退している(衰退+やや)」は 0.8 ポイント増加で、いずれもほぼ横ばいである。

地域・タイプ別に見ると、「繁栄している(繁栄+やや)」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「衰退している(衰退+やや)」の割合が比較的高いのは、夷隅、安房、香取、君津である。

組織形態別に見ると、「衰退している(衰退+やや)」の割合が比較的高いのは任意団体である。

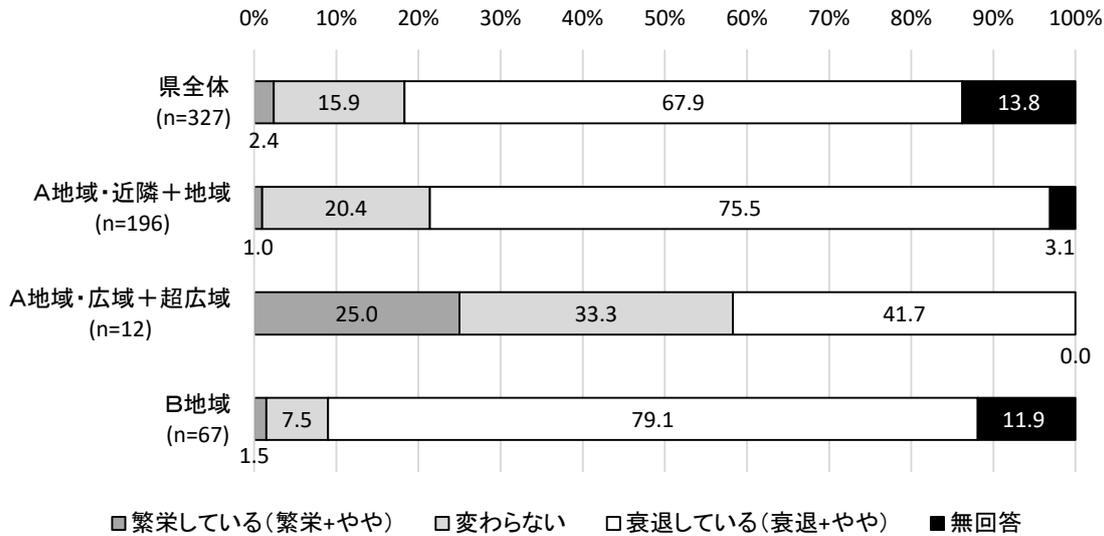
立地環境別に見ると、「繁栄している(繁栄+やや)」の割合が比較的高いのは繁華街である。

図表 120 景況(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	景況			景況		衰退 している (衰退+ やや)	変わら ない	無回答	
			繁栄 している	やや 繁栄 している	繁栄 している (繁栄+ やや)	やや 衰退 している	衰退 している				
令和4年度	県全体	327	0.3	2.1	<b>2.4</b>	36.4	31.5	<b>67.9</b>	15.9	13.8	
平成29年度	県全体	400	0.3	2.3	<b>2.6</b>	32.3	34.8	<b>67.1</b>	19.5	11.0	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	0.4	1.6	<b>2.0</b>	38.1	27.5	<b>65.6</b>	18.4	13.9
		うち近隣+地域	196	0.0	1.0	<b>1.0</b>	44.4	31.1	<b>75.5</b>	20.4	3.1
		うち広域+超広域	12	8.3	16.7	<b>25.0</b>	41.7	0.0	<b>41.7</b>	33.3	0.0
		B地域計	67	0.0	1.5	<b>1.5</b>	34.3	44.8	<b>79.1</b>	7.5	11.9
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	49	2.0	0.0	<b>2.0</b>	36.7	22.4	<b>59.1</b>	22.4	16.3
		葛南	66	0.0	1.5	<b>1.5</b>	36.4	25.8	<b>62.2</b>	19.7	16.7
		東葛飾	97	0.0	3.1	<b>3.1</b>	43.3	26.8	<b>70.1</b>	15.5	11.3
		印旛	32	0.0	0.0	<b>0.0</b>	28.1	40.6	<b>68.7</b>	18.8	12.5
	B地域	香取	11	0.0	0.0	<b>0.0</b>	27.3	54.5	<b>81.8</b>	9.1	9.1
		海匠	13	0.0	0.0	<b>0.0</b>	38.5	30.8	<b>69.3</b>	7.7	23.1
		山武	7	0.0	0.0	<b>0.0</b>	42.9	28.6	<b>71.5</b>	14.3	14.3
		長生	5	0.0	20.0	<b>20.0</b>	20.0	40.0	<b>60.0</b>	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	0.0	<b>0.0</b>	50.0	50.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0
		安房 君津	7 16	0.0 0.0	0.0 0.0	<b>0.0</b> <b>0.0</b>	57.1 18.8	28.6 62.5	<b>85.7</b> <b>81.3</b>	0.0 12.5	14.3 6.3
組 織 形 態	振興組合	51	0.0	3.9	<b>3.9</b>	43.1	25.5	<b>68.6</b>	19.6	7.8	
	協同組合	22	0.0	0.0	<b>0.0</b>	50.0	18.2	<b>68.2</b>	18.2	13.6	
	任意団体	228	0.4	2.2	<b>2.6</b>	36.8	36.0	<b>72.8</b>	16.2	8.3	
立 地 環 境	繁華街	18	5.6	11.1	<b>16.7</b>	50.0	5.6	<b>55.6</b>	22.2	5.6	
	一般商店街	68	0.0	2.9	<b>2.9</b>	36.8	42.6	<b>79.4</b>	14.7	2.9	
	一般住宅街	76	0.0	1.3	<b>1.3</b>	35.5	42.1	<b>77.6</b>	15.8	5.3	
	住宅団地	14	0.0	7.1	<b>7.1</b>	50.0	28.6	<b>78.6</b>	14.3	0.0	
	駅前	72	0.0	0.0	<b>0.0</b>	51.4	25.0	<b>76.4</b>	20.8	2.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	100.0	
	ロードサイド	27	0.0	0.0	<b>0.0</b>	22.2	48.1	<b>70.3</b>	29.6	0.0	
	その他	12	0.0	8.3	<b>8.3</b>	50.0	33.3	<b>83.3</b>	8.3	0.0	

図表 121 景況(県全体、地域・タイプ別)



## (2) 商店街の繁栄・衰退要因

### ① 商店街が繁栄している要因 (問3-2)

商店街が繁栄している(繁栄+やや)要因は、県全体では「集客イベント等の実施」が75.0%で最も高く、次いで「地域の人口増加」(37.5%)、「商店街活動が活発」(37.5%)、「会員の団結力が強い」(37.5%)が並んでいる。

図表 122 商店街が繁栄している要因(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	8	10	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0
集客イベント等の実施	75.0	30.0	100.0	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域の人口増加	37.5	40.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
商店街活動が活発	37.5	20.0	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会員の団結力が強い	37.5	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施設・環境の充実	25.0	10.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
魅力ある店舗の増加	25.0	40.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交通の便がよい	25.0	30.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商店街の情報の発信(PR)	25.0	10.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交通利便性の向上	12.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
業種・業態の充実化	12.5	10.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
駐輪場・駐車場の整備	12.5	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
後継者が揃っている	12.5	10.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近郊の大型店の進出	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近郊の大型店の撤退	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歩道の整備(歩車道分離)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カラ―舗装、街路灯の整備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商店街が連続している	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	25.0	10.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問3-1で「繁栄している」または「やや繁栄している」と回答した商店街が対象

図表 123 商店街が繁栄している要因(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

	県全体	A地域			B地域計
		A地域計	うち 近隣 +地 域	うち 広域 +超 広域	
回答数(n)	8	5	2	3	1
集客イベント等の実施	75.0	80.0	50.0	100.0	0.0
地域の人口増加	37.5	40.0	0.0	66.7	100.0
商店街活動が活発	37.5	60.0	50.0	66.7	0.0
会員の団結力が強い	37.5	40.0	50.0	33.3	0.0
魅力ある店舗の増加	25.0	20.0	50.0	0.0	0.0
交通の便がよい	25.0	40.0	0.0	66.7	0.0
施設・環境の充実	25.0	40.0	0.0	66.7	0.0
商店街の情報の発信(PR)	25.0	40.0	50.0	33.3	0.0
駐輪場・駐車場の整備	12.5	20.0	0.0	33.3	0.0
交通利便性の向上	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
業種・業態の充実化	12.5	20.0	0.0	33.3	0.0
後継者が揃っている	12.5	20.0	0.0	33.3	0.0
歩道の整備(歩車道分離)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近郊の大型店の進出	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近郊の大型店の撤退	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商店街が連続している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カラー舗装、街路灯の整備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	25.0	20.0	50.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問3-1で「繁栄している」または「やや繁栄している」と回答した商店街が対象

## ② 商店街が衰退している要因（問3-3）

商店街が衰退している(衰退+やや)要因は、県全体では「後継者不足」が 57.7%で最も高く、次いで「魅力ある店舗の減少」(55.9%)、「業種・業態の不足」(45.5%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「後継者不足」は 4.0 ポイント増加、「魅力ある店舗の減少」は 3.3 ポイント増加、「業種・業態の不足」は 2.3 ポイント減少した。

地域・タイプ別を見ると、A 地域・近隣+地域では、「魅力ある店舗の減少」が 58.8%で最も高く、次いで「後継者不足」(54.7%)、「業種・業態の不足」(50.7%)となっている。

B 地域では、「地域の人口減少」が 71.7%で最も高く、次いで「後継者不足」(66.0%)、「魅力ある店舗の減少」(56.6%)となっている。

図表 124 商店街が衰退している要因(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	222	268	29	41	68	22	9	9	5	3	8	6	13
後継者不足	57.7	53.7	34.5	65.9	54.4	59.1	77.8	77.8	60.0	66.7	50.0	83.3	53.8
魅力ある店舗の減少	55.9	52.6	58.6	56.1	58.8	40.9	66.7	55.6	0.0	66.7	37.5	50.0	84.6
業種・業態の不足	45.5	47.8	44.8	43.9	55.9	50.0	33.3	33.3	20.0	66.7	0.0	50.0	53.8
買い物弱者の増加	41.0	46.6	31.0	43.9	35.3	31.8	55.6	77.8	60.0	33.3	87.5	50.0	23.1
近郊の大型店の進出	37.8	43.7	37.9	31.7	35.3	31.8	33.3	55.6	40.0	66.7	25.0	66.7	53.8
地域の人口減少	36.5	42.9	41.4	4.9	22.1	40.9	55.6	100.0	40.0	100.0	87.5	83.3	53.8
非商店が多いため断続的	31.5	22.8	24.1	39.0	39.7	36.4	33.3	22.2	20.0	33.3	0.0	16.7	30.8
商店街の情報の発信(PR)不足	27.5	14.2	20.7	34.1	33.8	36.4	22.2	0.0	0.0	0.0	12.5	16.7	15.4
会員の団結力が弱い	25.7	16.8	17.2	34.1	27.9	31.8	11.1	11.1	0.0	100.0	0.0	16.7	23.1
集客イベント等の未実施	22.1	9.7	17.2	24.4	27.9	27.3	22.2	0.0	0.0	0.0	12.5	16.7	15.4
駐輪場・駐車場の不足	18.0	17.5	27.6	12.2	17.6	13.6	22.2	44.4	0.0	33.3	0.0	33.3	7.7
交通の便が悪い	9.9	5.6	6.9	4.9	4.4	18.2	33.3	0.0	0.0	100.0	12.5	16.7	0.0
施設・環境の未整備	9.0	6.0	6.9	9.8	4.4	18.2	11.1	22.2	0.0	33.3	0.0	16.7	7.7
交通利便性の低下	6.3	9.0	6.9	0.0	5.9	9.1	11.1	11.1	0.0	33.3	12.5	16.7	0.0
歩道整備の遅れ	5.9	6.3	3.4	7.3	8.8	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
近郊の大型店の撤退	4.5	5.2	6.9	0.0	5.9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	12.5	16.7	7.7
カラ―舗装、街路灯の整備の遅れ	1.4	1.5	0.0	2.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.0	3.4	13.8	12.2	8.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
無回答	0.5	2.2	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問3-1で「やや衰退している」または「衰退している」と回答した商店街が対象

図表 125 商店街が衰退している要因(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

	県全体	A地域			B地域
		A地域計	うち 近隣+ 地域	うち 広域+ 超広域	
回答数(n)	222	160	148	5	53
後継者不足	57.7	54.4	54.7	40.0	66.0
魅力ある店舗の減少	55.9	55.6	58.8	0.0	56.6
業種・業態の不足	45.5	50.0	50.7	60.0	35.8
買い物弱者の増加	41.0	36.3	39.2	0.0	54.7
近郊の大型店の進出	37.8	34.4	36.5	20.0	47.2
地域の人口減少	36.5	23.8	25.0	20.0	71.7
非商店が多いため断続的	31.5	36.3	37.2	20.0	22.6
商店街の情報の発信(PR)不足	27.5	31.9	31.8	60.0	11.3
会員の団結力が弱い	25.7	28.1	28.4	20.0	17.0
集客イベント等の未実施	22.1	25.0	25.7	20.0	11.3
駐輪場・駐車場の不足	18.0	17.5	16.9	40.0	18.9
交通の便が悪い	9.9	6.9	7.4	0.0	15.1
施設・環境の未整備	9.0	8.1	8.8	0.0	11.3
交通利便性の低下	6.3	5.0	4.7	0.0	9.4
歩道整備の遅れ	5.9	6.3	6.8	0.0	3.8
近郊の大型店の撤退	4.5	3.8	4.1	0.0	7.5
カラ一舗装、街路灯の整備の遅れ	1.4	1.9	2.0	0.0	0.0
その他	9.0	10.6	10.8	20.0	3.8
無回答	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問3-1で「やや衰退している」または「衰退している」と回答した商店街が対象

## 4. 空き店舗

### (1) 空き店舗の有無（問 4 - 1）

空き店舗の有無は、県全体では「ない」が 28.1%であるのに対し、「ある」は 59.6%に上っている。  
平成 29 年度との比較では、「ない」が 4.1 ポイント増加したのに対し、「ある」は 7.9 ポイント減少している。

地域・タイプ別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのは、A地域・広域＋超広域である。「ある」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣＋地域である。

ブロック別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのは、安房、長生、香取である。「ある」の割合が比較的高いのは、夷隅、君津、印旛である。

組織形態別に見ると、「ない」の割合が 36.4%と比較的高いのは、協同組合である。

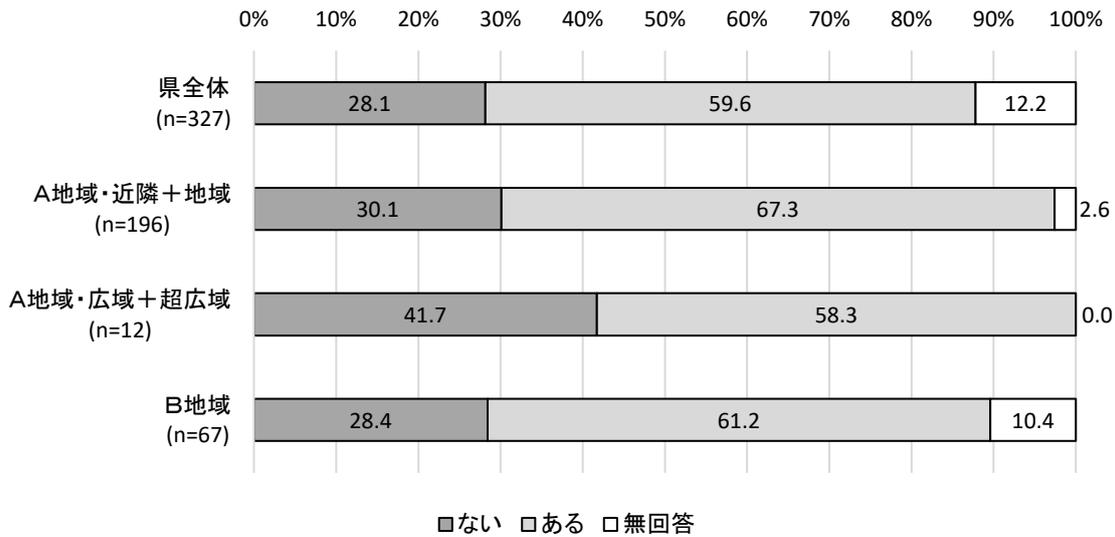
立地環境別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのは、駅ビル、繁華街、ロードサイドである。

図表 126 空き店舗の有無(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	ない	ある	無回答	
令和4年度	県全体	327	28.1	59.6	12.2	
平成29年度	県全体	400	24.0	67.5	8.5	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	27.5	60.2	12.3
		うち近隣+地域	196	30.1	67.3	2.6
		うち広域+超広域	12	41.7	58.3	0.0
	B地域計	67	28.4	61.2	10.4	
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	49	22.4	63.3	14.3
		葛南	66	30.3	56.1	13.6
		東葛飾	97	32.0	58.8	9.3
		印旛	32	15.6	68.8	15.6
	B地域	香取	11	36.4	54.5	9.1
		海匝	13	15.4	61.5	23.1
		山武	7	28.6	57.1	14.3
		長生	5	40.0	40.0	20.0
		夷隅	8	25.0	75.0	0.0
		安房	7	42.9	42.9	14.3
君津	16	25.0	75.0	0.0		
組 織 形 態	振興組合	51	27.5	62.7	9.8	
	協同組合	22	36.4	45.5	18.2	
	任意団体	228	29.4	64.9	5.7	
立 地 環 境	繁華街	18	50.0	44.4	5.6	
	一般商店街	68	27.9	70.6	1.5	
	一般住宅街	76	23.7	72.4	3.9	
	住宅団地	14	35.7	57.1	7.1	
	駅前	72	23.6	76.4	0.0	
	駅ビル	1	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	40.7	59.3	0.0	
	その他	12	66.7	33.3	0.0	

図表 127 空き店舗の有無(県全体、地域・タイプ別)



## (2) 空き店舗率

空き店舗数を総店舗数で除した空き店舗率は、県全体では 11.6%で、平成 29 年度と比較すると 0.1 ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域(6.2%)で空き店舗率が比較的低い。

ブロック別に見ると、海匠(28.0%)、長生(25.7%)で空き店舗率が比較的高い。

図表 128 空き店舗率(県全体、ブロック別)

(単位: か所、%、ポイント)

		令和4年度			平成29年度	差異 (C-D)			
		回答数 (n)	空き店舗数 (A)	総店舗数 (B)	空き店舗率 (A/B=C)		空き店舗率 (D)		
令和4年度	県全体	169	1,045	8,978	11.6	11.7	▲ 0.1		
タ地域 ブ・	A地域	A地域計		126	769	6,592	11.7	11.2	0.5
		うち近隣+地域	107	710	5,774	12.3	11.9	0.4	
		うち広域+超広域	6	34	552	6.2	5.5	0.6	
		B地域計	36	223	1,936	11.5	13.2	▲ 1.7	
ブロック	A地域	千葉	29	248	2,077	11.9	11.1	0.9	
		葛南	27	184	1,616	11.4	11.4	▲ 0.0	
		東葛飾	52	257	2,263	11.4	9.5	1.9	
		印旛	18	80	636	12.6	15.2	▲ 2.6	
	B地域	香取	6	18	171	10.5	10.4	0.1	
		海匠	7	51	182	28.0	4.6	23.4	
		山武	3	32	522	6.1	4.1	2.1	
		長生	2	27	105	25.7	25.1	0.6	
		夷隅	5	29	396	7.3	20.1	▲ 12.8	
		安房	3	18	265	6.8	25.1	▲ 18.4	
		君津	10	48	295	16.3	15.3	1.0	
		無回答	7	53	450	11.8	-	-	

### (3) 空き店舗の発生要因 (問4-2)

空き店舗が発生した要因は、県全体では「後継者がいない」が 65.1%で最も高く、次いで「経営不振」(46.7%)、「店舗の老朽化」(33.3%)、「商店街の衰退」(32.3%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「後継者がいない」は 8.4 ポイント増加、「経営不振」は 2.6 ポイント減少、「店舗の老朽化」は 14.0 ポイント増加、「商店街の衰退」は 6.7 ポイント増加した。

地域・タイプ別に見ると、「後継者がいない」の割合が比較的高いのは、B 地域である。

図表 129 空き店舗発生要因(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	195	270	31	37	57	22	6	8	4	2	6	3	12
後継者がいない	65.1	56.7	67.7	73.0	50.9	68.2	83.3	87.5	50.0	50.0	83.3	100.0	66.7
経営不振	46.7	49.3	48.4	43.2	52.6	40.9	50.0	50.0	50.0	0.0	16.7	66.7	41.7
店舗の老朽化	33.3	19.3	22.6	45.9	31.6	40.9	16.7	37.5	50.0	50.0	16.7	0.0	25.0
商店街の衰退	32.3	25.6	35.5	37.8	26.3	27.3	33.3	25.0	25.0	50.0	33.3	0.0	50.0
子どもには継がせるつもり がないため廃業	24.6	35.2	22.6	24.3	19.3	13.6	33.3	50.0	25.0	0.0	50.0	66.7	41.7
環境変化等による業種・業 態自体の衰退	15.4	17.0	16.1	13.5	19.3	4.5	0.0	25.0	0.0	50.0	16.7	0.0	25.0
家賃が高い	8.2	8.1	12.9	10.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
顧客流出	8.2	5.2	9.7	0.0	10.5	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7
立地条件の悪化	3.1	7.0	0.0	2.7	5.3	4.5	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
他の店舗への移転(SC等 への出店)	2.6	4.8	3.2	2.7	3.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
売場面積狭小、駐車場不 足等の施設の制約	1.0	6.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
その他	7.7	3.7	9.7	5.4	3.5	22.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無回答	0.5	3.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

図表 130 空き店舗発生要因(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

	県全体	A地域			B地域計
		A地域計	うち 近隣+ 地域	うち 広域+ 超広域	
回答数(n)	195	147	132	7	41
後継者がいない	65.1	62.6	62.1	57.1	75.6
経営不振	46.7	47.6	47.7	42.9	41.5
店舗の老朽化	33.3	34.7	33.3	14.3	26.8
商店街の衰退	32.3	31.3	32.6	14.3	34.1
子どもには継がせるつもりがないため廃業	24.6	20.4	21.2	0.0	41.5
環境変化等による業種・業態自体の衰退	15.4	15.0	15.2	28.6	17.1
家賃が高い	8.2	9.5	8.3	42.9	2.4
顧客流出	8.2	8.2	8.3	14.3	9.8
立地条件の悪化	3.1	3.4	3.0	14.3	2.4
他の店舗への移転(SC等への出店)	2.6	3.4	3.8	0.0	0.0
売場面積狭小、駐車場不足等の施設の制約	1.0	0.7	0.8	0.0	2.4
その他	7.7	8.2	9.1	0.0	7.3
無回答	0.5	0.7	0.8	0.0	0.0

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

#### (4) 空き店舗の状態が続いている原因 (問4-3)

空き店舗の状態が続いている原因は、県全体では「商店街に魅力がないため」が41.0%で最も高く、次いで「貸さなくても(売らなくても)支障がない」(35.4%)、「店舗が住宅との兼用であるため」(28.7%)となっている。

平成29年度との比較では、「商店街に魅力がないため」は6.8ポイント減少、「貸さなくても(売らなくても)支障がない」は3.5ポイント増加、「店舗が住宅との兼用であるため」は5.0ポイント増加した。

地域・タイプ別に見ると、B地域で「店舗が住宅との兼用であるため」(48.8%)、「商圈人口の減少」(43.9%)が比較的高い。

図表 131 空き店舗の状態が続いている原因(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	195	270	31	37	57	22	6	8	4	2	6	3	12
商店街に魅力がないため	41.0	47.8	48.4	40.5	38.6	36.4	16.7	62.5	0.0	50.0	0.0	33.3	58.3
貸さなくても(売らなくても)支障がない	35.4	31.9	25.8	35.1	35.1	40.9	33.3	25.0	25.0	0.0	50.0	66.7	50.0
店舗が住宅との兼用であるため	28.7	23.7	16.1	35.1	17.5	27.3	33.3	37.5	50.0	50.0	66.7	66.7	50.0
商圈人口の減少	26.2	35.6	29.0	8.1	28.1	13.6	33.3	62.5	0.0	50.0	66.7	100.0	25.0
顧客の購買力が低下したため	26.2	30.4	32.3	18.9	26.3	22.7	50.0	25.0	0.0	50.0	16.7	66.7	16.7
近所に大型店が進出したため	19.5	25.2	29.0	21.6	19.3	9.1	0.0	25.0	0.0	0.0	16.7	66.7	25.0
家賃(売値)の折りが合わないため	14.4	14.8	25.8	21.6	12.3	9.1	0.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
店舗条件(広さ、設備、改装等)	13.8	17.8	12.9	13.5	15.8	13.6	0.0	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	8.3
空き店舗情報の提供・入手機会の少なさ	9.2	5.2	16.1	8.1	1.8	13.6	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	33.3	8.3
土地・建物の権利関係の問題	8.7	8.1	3.2	13.5	7.0	9.1	0.0	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7
業種に制限をつけているため	5.1	7.4	3.2	2.7	5.3	4.5	0.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
将来使用する目的があるため	2.6	1.9	0.0	8.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.2	4.8	9.7	8.1	7.0	4.5	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
無回答	3.6	4.1	6.5	8.1	1.8	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

図表 132 空き店舗の状態が続いている原因(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

	県全体	A地域			B地域
		A地域計	うち 近隣+ 地域	うち 広域+ 超広域	
回答数(n)	195	147	132	7	41
商店街に魅力がないため	41.0	40.8	42.4	14.3	36.6
貸さなくても(売らなくても)支障がない	35.4	34.0	35.6	14.3	39.0
店舗が住宅との兼用であるため	28.7	23.1	23.5	14.3	48.8
商圈人口の減少	26.2	21.1	22.0	14.3	43.9
顧客の購買力が低下したため	26.2	25.2	24.2	28.6	26.8
近所に大型店が進出したため	19.5	20.4	22.0	0.0	19.5
家賃(売値)の折りが合わないため	14.4	17.0	15.9	42.9	4.9
店舗条件(広さ、設備、改装等)	13.8	14.3	14.4	28.6	9.8
空き店舗情報の提供・入手機会の少なさ	9.2	8.2	8.3	14.3	12.2
土地・建物の権利関係の問題	8.7	8.2	7.6	0.0	12.2
業種に制限をつけているため	5.1	4.1	3.8	14.3	4.9
将来使用する目的があるため	2.6	3.4	3.8	0.0	0.0
その他	8.2	7.5	7.6	14.3	12.2
無回答	3.6	4.8	3.8	0.0	0.0

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

## (5) 空き店舗のうち所有者に賃貸等の意思がないものの割合（問4-4）

空き店舗のうち所有者に賃貸等の意思がないものの割合は、県全体では「50%未満」が 60.0% であるのに対し、「50%以上」が 30.8%となっている。

平成 29 年度との比較では、「50%未満」が 5.6 ポイント増加、「50%以上」は 4.4 ポイント減少した。

ブロック別に見ると、「50%未満」の割合が比較的高いのは、千葉、香取である。「50%以上」の割合が比較的高いのは、安房、山武、長生、君津である。

図表 133 空き店舗のうち所有者に賃貸等の意思がないものの割合（県全体、ブロック別）

(単位:%)

	回答数 (n)								50%以上	無回答
		ない	1~30% 未満	30~50% 未満	50%未満	50~80% 未満	80%以上			
県全体 (令和4年度)	195	27.7	19.5	12.8	<b>60.0</b>	11.3	19.5	<b>30.8</b>	9.2	
県全体 (平成29年度)	270	22.6	18.5	13.3	<b>54.4</b>	13.0	22.2	<b>35.2</b>	10.4	
千葉	31	41.9	19.4	9.7	<b>71.0</b>	9.7	12.9	<b>22.6</b>	6.5	
葛南	37	24.3	21.6	8.1	<b>54.0</b>	13.5	21.6	<b>35.1</b>	10.8	
東葛飾	57	31.6	15.8	15.8	<b>63.2</b>	5.3	24.6	<b>29.9</b>	7.0	
印旛	22	27.3	31.8	4.5	<b>63.6</b>	9.1	13.6	<b>22.7</b>	13.6	
香取	6	50.0	0.0	16.7	<b>66.7</b>	16.7	0.0	<b>16.7</b>	16.7	
海匝	8	12.5	25.0	12.5	<b>50.0</b>	12.5	25.0	<b>37.5</b>	12.5	
山武	4	25.0	25.0	0.0	<b>50.0</b>	25.0	25.0	<b>50.0</b>	0.0	
長生	2	50.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	50.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0	
夷隅	6	0.0	0.0	50.0	<b>50.0</b>	16.7	16.7	<b>33.4</b>	16.7	
安房	3	0.0	33.3	0.0	<b>33.3</b>	33.3	33.3	<b>66.6</b>	0.0	
君津	12	8.3	8.3	16.7	<b>33.3</b>	16.7	33.3	<b>50.0</b>	16.7	

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

## (6) 空き店舗活用対策

### ① 空き店舗活用対策の実施状況（問4-5）

空き店舗活用対策の実施状況は、県全体では「行っている・行った」が 10.3%で、「行っていない」が 86.7%となっている。

平成 29 年度との比較では、「行っている・行った」が 0.3 ポイント増加、「行っていない」は 1.9 ポイント増加で、ほぼ横ばいである。

地域・タイプ別に見ると、「行っている・行った」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域、B 地域である。

ブロック別に見ると、「行っている・行った」の割合が比較的高いのは、山武、長生である。

組織形態別に見ると、「行っている・行った」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

立地環境別に見ると、「行っている・行った」の割合が比較的高いのは、駅前である。一般住宅街では、「行っている・行った」の回答は無かった。

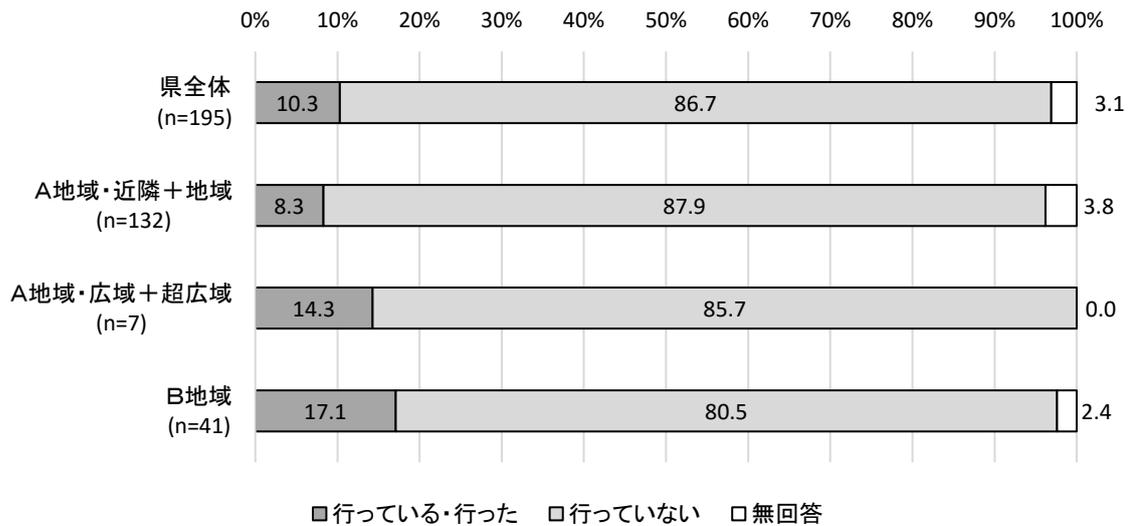
図表 134 空き店舗活用対策の実施状況  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	行っ てい る・ 行っ た	行っ て い ない	無回 答	
令和4年度	県全体	195	10.3	86.7	3.1	
平成29年度	県全体	270	10.0	84.8	5.2	
地域 タイプ	A 地域	A地域計	147	8.2	88.4	3.4
		うち近隣+地域	132	8.3	87.9	3.8
		うち広域+超広域	7	14.3	85.7	0.0
	B地域計		41	17.1	80.5	2.4
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	31	3.2	93.5	3.2
		葛南	37	5.4	91.9	2.7
		東葛飾	57	10.5	84.2	5.3
		印旛	22	13.6	86.4	0.0
	B 地 域	香取	6	0.0	100.0	0.0
		海匝	8	12.5	87.5	0.0
		山武	4	50.0	50.0	0.0
		長生	2	50.0	50.0	0.0
		夷隅	6	16.7	83.3	0.0
		安房	3	0.0	100.0	0.0
君津	12	16.7	75.0	8.3		
組 織 形 態	振興組合	32	12.5	78.1	9.4	
	協同組合	10	30.0	60.0	10.0	
	任意団体	148	8.8	90.5	0.7	
立 地 環 境	繁華街	8	12.5	75.0	12.5	
	一般商店街	48	8.3	91.7	0.0	
	一般住宅街	55	0.0	94.5	5.5	
	住宅団地	8	12.5	87.5	0.0	
	駅前	55	21.8	74.5	3.6	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	16	6.3	93.8	0.0	
	その他	4	25.0	75.0	0.0	

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象

図表 135 空き店舗活用対策の実施状況(県全体、地域・タイプ別)



② 空き店舗の活用状況 (問4-6)

空き店舗の活用状況は、県全体では「新規店舗」が 45.0%で、「イベント会場」が 35.0%となっている。

平成 29 年度との比較では、「新規店舗」が 3.1 ポイント減少、「イベント会場」は 9.1 ポイント増加した。

図表 136 空き店舗の活用状況(県全体、ブロック別)

(単位: %)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	20	27	1	2	6	3	0	1	2	1	1	0	2
新規店舗	45.0	48.1	0.0	50.0	83.3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イベント会場	35.0	25.9	100.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0
高齢者等交流施設	10.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0
創業支援施設(チャレンジショップ等)	5.0	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ギャラリー、休憩施設などの憩いの場	5.0	22.2	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子育て支援施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
観光案内施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
駐車場・駐輪場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商店街施設(組合事務所、会員サロン等)	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.0	18.5	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街のうち、空き店舗活用対策を「行っている・行った」商店街が対象

## (7) 空き店舗が今後どのようにしてほしいか（問4-7）

空き店舗が今後どのようにしてほしいかを見ると、県全体では「新規店舗」が61.0%で最も高く、次いで「創業支援施設(チャレンジショップ等)」(18.5%)、「ギャラリー、休憩施設などの憩いの場」(17.9%)となっている。

平成29年度との比較では、「新規店舗」が6.4ポイント減少、「創業支援施設(チャレンジショップ等)」は2.6ポイント増加、「ギャラリー、休憩施設などの憩いの場」は0.2ポイント減少した。

図表 137 空き店舗がどのようにしてほしいか(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4 年度)	県全体 (平成29 年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	195	270	31	37	57	22	6	8	4	2	6	3	12
新規店舗	61.0	67.4	67.7	59.5	64.9	54.5	100.0	37.5	50.0	100.0	50.0	33.3	41.7
創業支援施設(チャレンジショップ等)	18.5	15.9	16.1	13.5	15.8	31.8	16.7	25.0	25.0	50.0	16.7	0.0	8.3
ギャラリー、休憩施設などの憩いの場	17.9	18.1	25.8	16.2	15.8	18.2	0.0	37.5	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
高齢者等交流施設	17.4	21.5	12.9	18.9	12.3	22.7	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	66.7	41.7
子育て支援施設	11.8	12.6	6.5	10.8	8.8	18.2	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	33.3	25.0
イベント会場	10.8	7.8	29.0	5.4	1.8	13.6	0.0	12.5	0.0	0.0	33.3	0.0	8.3
駐車場・駐輪場	5.1	7.0	0.0	5.4	5.3	4.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3	16.7
商店街施設(組合事務所、会員サロン等)	4.1	-	9.7	2.7	1.8	4.5	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
観光案内施設	2.6	1.9	6.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
その他	8.7	4.8	6.5	2.7	8.8	9.1	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	25.0
無回答	9.2	8.1	3.2	16.2	12.3	9.1	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3

(注)複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街が対象。「商店街施設(組合事務所、会員サロン等)」は今年度調査より新設

## (8) 空き店舗に入居してほしい店舗（問 4 - 8）

空き店舗に入居してほしい店舗は、県全体では「物販店（食料、衣料、雑貨等）」が 60.5%で最も高く、次いで「飲食店（喫茶、軽食、居酒屋）」（53.8%）、「生鮮三品（精肉店、青果店、鮮魚店）」（51.3%）となっている。

平成 29 年度との比較では、「物販店（食料、衣料、雑貨等）」が 6.7 ポイント増加、「飲食店（喫茶、軽食、居酒屋）」は 1.6 ポイント増加、「生鮮三品（精肉店、青果店、鮮魚店）」は 0.3 ポイント減少した。

図表 138 空き店舗に入居してほしい店舗（県全体、ブロック別）

（単位：％）

	県全体 （令和4 年度）	県全体 （平成29 年度）	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	119	182	21	22	37	12	6	3	2	2	3	1	5
物販店（食料、衣料、雑貨等）	60.5	53.8	71.4	54.5	51.4	50.0	83.3	100.0	100.0	50.0	33.3	0.0	80.0
飲食店（喫茶、軽食、居酒屋）	53.8	52.2	52.4	54.5	56.8	75.0	16.7	100.0	50.0	100.0	66.7	0.0	0.0
生鮮三品（精肉店、青果店、鮮魚店）	51.3	51.6	52.4	59.1	51.4	41.7	33.3	100.0	0.0	50.0	33.3	100.0	80.0
サービス業（クリーニング業、理美容室等）	23.5	13.2	33.3	13.6	29.7	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0
医療施設（内科、外科、歯科等）	14.3	14.8	14.3	4.5	18.9	25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.4	6.0	4.8	0.0	5.4	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）複数回答。問4-1で「ある」と回答した商店街のうち、空き店舗に今後「新規出店」してほしいと考えている商店街が対象

## (9) 今後の空き店舗の見込み（問 4 - 9）

今後の空き店舗の見込みは、県全体では「増えていく」が 33.6%で、「現状で推移する」が 25.4%、「減っていく」が 5.8%となっている。

平成 29 年度との比較では、「増えていく」は 4.7 ポイント減少、「減っていく」は 2.7 ポイント減少で、いずれも減少した一方、「現状で推移する」が 3.4 ポイント増加している。

地域・タイプ別に見ると、「増えていく」が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「増えていく」が比較的高いのは、夷隅、香取である。

組織形態別に見ると、「増えていく」が比較的高いのは、任意団体である。

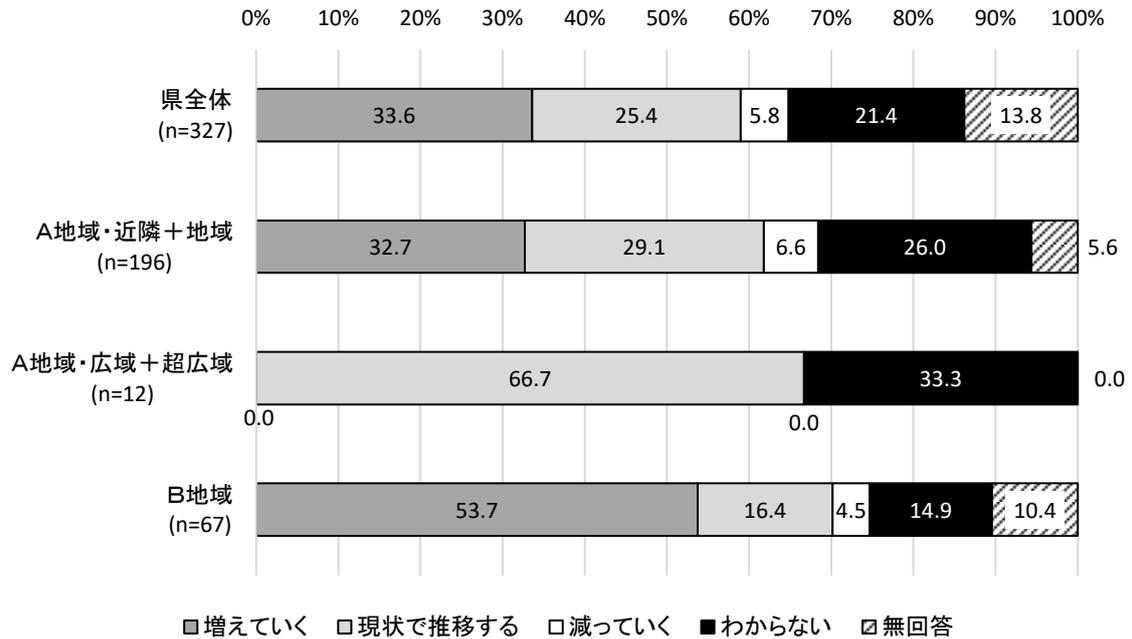
立地環境別に見ると、「増えていく」が比較的高いのは、住宅団地、一般商店街、一般住宅街である。

図表 139 今後の空き店舗の見込み(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	増えていく	現状で 推移する	減っていく	わからない	無回答	
令和4年度	県全体	327	33.6	25.4	5.8	21.4	13.8	
平成29年度	県全体	400	38.3	22.0	8.5	18.5	12.8	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	28.3	28.3	5.7	23.4	14.3
		うち近隣+地域	196	32.7	29.1	6.6	26.0	5.6
		うち広域+超広域	12	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	B地域計		67	53.7	16.4	4.5	14.9	10.4
ブロック	A地域	千葉	49	34.7	30.6	6.1	14.3	14.3
		葛南	66	22.7	33.3	4.5	22.7	16.7
		東葛飾	97	26.8	28.9	6.2	25.8	12.4
		印旛	32	34.4	12.5	6.3	31.3	15.6
	B地域	香取	11	72.7	0.0	9.1	9.1	9.1
		海匝	13	53.8	7.7	0.0	15.4	23.1
		山武	7	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3
		長生	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0
		安房	7	42.9	28.6	0.0	14.3	14.3
		君津	16	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0
組織形態	振興組合	51	33.3	25.5	9.8	19.6	11.8	
	協同組合	22	22.7	27.3	0.0	31.8	18.2	
	任意団体	228	37.3	27.2	4.8	23.2	7.5	
立地環境	繁華街	18	33.3	38.9	0.0	11.1	16.7	
	一般商店街	68	45.6	27.9	4.4	20.6	1.5	
	一般住宅街	76	43.4	18.4	11.8	22.4	3.9	
	住宅団地	14	50.0	21.4	0.0	14.3	14.3	
	駅前	72	25.0	37.5	6.9	27.8	2.8	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	37.0	22.2	3.7	37.0	0.0	
	その他	12	41.7	25.0	0.0	33.3	0.0	

図表 140 今後の空き店舗の見込み(県全体、地域・タイプ別)



### (10) 空き店舗問題に必要な行政支援 (問 4-10)

空き店舗問題に必要な行政支援は、県全体では「家賃補助、改装補助などの支援措置」が 22.9%で最も高く、次いで「新規出店者等の誘致」(20.5%)、「商店街を含む『まちづくり』計画の立案」(18.7%)、「特にない」(18.7%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「新規出店者等の誘致」は 6.5 ポイント減少、「家賃補助、改装補助などの支援措置」は 2.9 ポイント減少した一方、「商店街を含む『まちづくり』計画の立案」は 0.2 ポイント増加とほぼ横ばい、「特にない」が 1.9 ポイント増加している。

地域・タイプ別に見ると、「家賃補助、改装補助などの支援措置」が比較的高いのは、A地域・近隣+地域である。「商店街を含む『まちづくり』計画の立案」が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「家賃補助、改装補助などの支援措置」の割合が比較的高いのは、夷隅、香取である。

組織形態別に見ると、「家賃補助、改装補助などの支援措置」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

立地環境別に見ると、「家賃補助、改装補助などの支援措置」の割合が比較的高いのは、住宅団地、ロードサイドである。

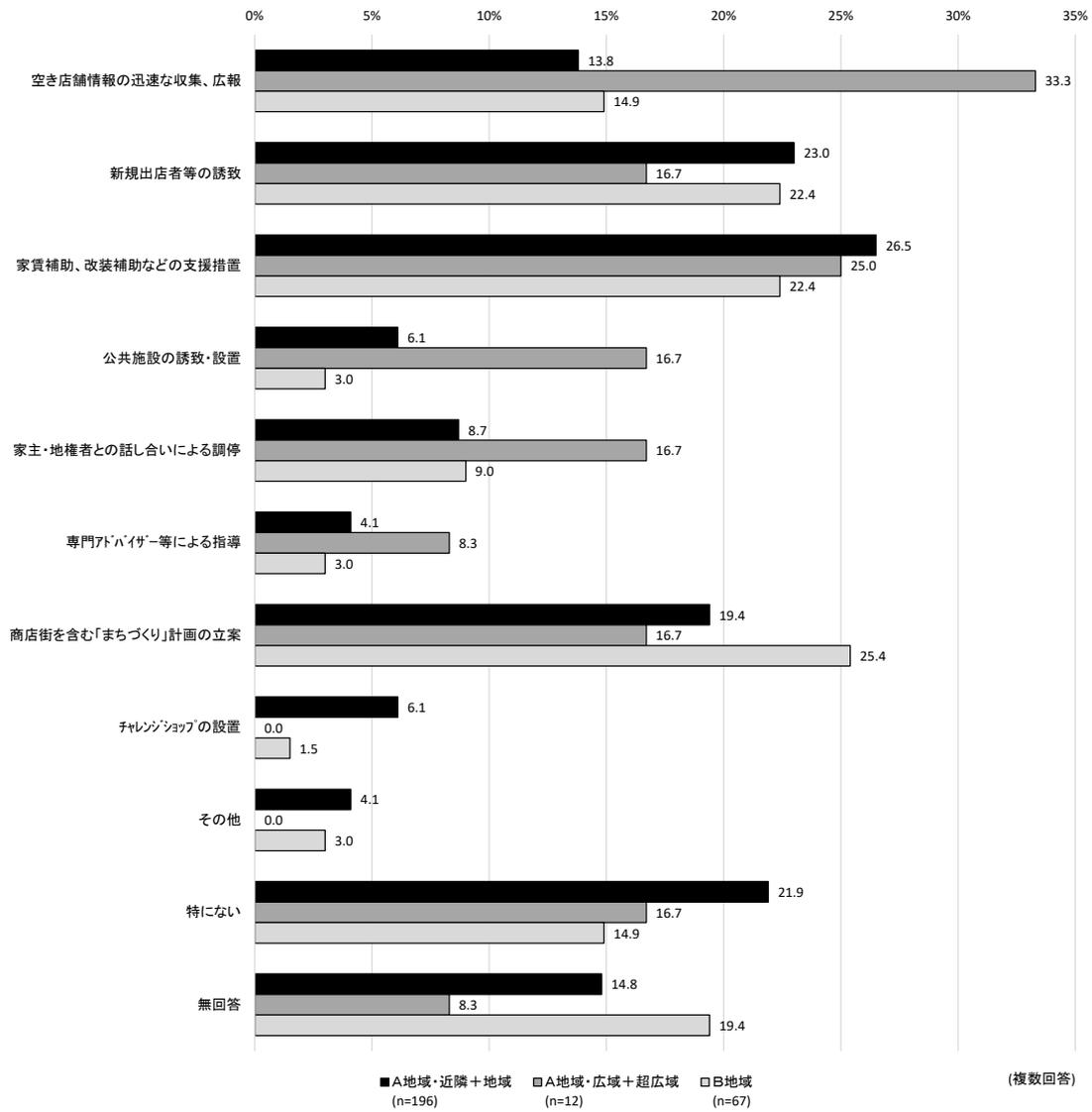
図表 141 空き店舗問題に必要な行政支援  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	家賃補助、改装補助などの支援措置	新規出店者等誘致	商店街を含む「まちづくり」計画の立案	空き店舗情報の迅速な収集、広報	家主・地権者との話し合いによる調停	公共施設の誘致・設置	専門アドバイザー等による指導	チャレンジショップの設置	その他	特にない	無回答	
令和4年度	県全体	327	22.9	20.5	18.7	14.4	7.6	5.5	4.3	4.3	3.1	18.7	22.0	
平成29年度	県全体	400	25.8	27.0	18.5	12.8	10.0	6.5	3.8	5.0	3.3	16.8	17.5	
地域タイプ	A地域	A地域計	244	23.4	19.3	16.8	13.9	7.8	6.1	4.1	4.9	3.3	19.7	23.0
		うち近隣+地域	196	26.5	23.0	19.4	13.8	8.7	6.1	4.1	6.1	4.1	21.9	14.8
		うち広域+超広域	12	25.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3
		B地域計	67	22.4	22.4	25.4	14.9	9.0	3.0	3	1.5	3.0	14.9	19.4
ブロック	A地域	千葉	49	32.7	26.5	18.4	20.4	2.0	6.1	2	8.2	2.0	14.3	18.4
		葛南	66	16.7	15.2	6.1	10.6	13.6	9.1	4.5	7.6	3.0	18.2	31.8
		東葛飾	97	25.8	19.6	20.6	10.3	5.2	5.2	3.1	3.1	4.1	21.6	21.6
		印旛	32	15.6	15.6	25.0	21.9	12.5	3.1	9.4	0.0	3.1	25.0	15.6
	B地域	香取	11	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2
		海匝	13	15.4	15.4	30.8	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	23.1
		山武	7	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
		長生	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	50.0	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
		安房	7	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6
君津	16	12.5	18.8	31.3	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3	18.8		
組織形態	振興組合	51	17.6	23.5	29.4	17.6	9.8	2.0	3.9	3.9	3.9	11.8	19.6	
	協同組合	22	40.9	18.2	22.7	18.2	4.5	13.6	0	0	0	4.5	22.7	
	任意団体	228	24.1	21.9	18.0	14.9	8.3	5.7	4.8	5.3	3.5	23.7	14.9	
立地環境	繁華街	18	27.8	11.1	22.2	11.1	5.6	16.7	11.1	0.0	5.6	22.2	16.7	
	一般商店街	68	25.0	22.1	26.5	20.6	8.8	7.4	1.5	2.9	4.4	17.6	11.8	
	一般住宅街	76	22.4	19.7	17.1	14.5	6.6	1.3	2.6	5.3	3.9	26.3	15.8	
	住宅団地	14	35.7	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	21.4	28.6	
	駅前	72	26.4	30.6	23.6	13.9	15.3	6.9	4.2	6.9	1.4	13.9	11.1	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	33.3	18.5	25.9	22.2	3.7	7.4	11.1	7.4	3.7	29.6	0.0	
その他	12	25.0	33.3	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3		

(注)複数回答

図表 142 今後の空き店舗の見込み(県全体、地域・タイプ別)



## 5. 後継者・リーダー

### (1)後継者のいない店舗（問5-1）

後継者のいない店舗は、県全体では「かなり増えている」が 26.3%、「少し増えている」が 37.0%、「あまり増えていない」が 23.9%となっている。

平成 29 年度との比較では、「かなり増えている」が 3.5 ポイント減少、「少し増えている」は横ばい、「あまり増えていない」は 0.4 ポイント増加した。

地域・タイプ別に見ると、「かなり増えている」の割合が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「かなり増えている」の割合が比較的高いのは、安房、夷隅、香取、君津である。

組織形態別に見ると、「かなり増えている」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

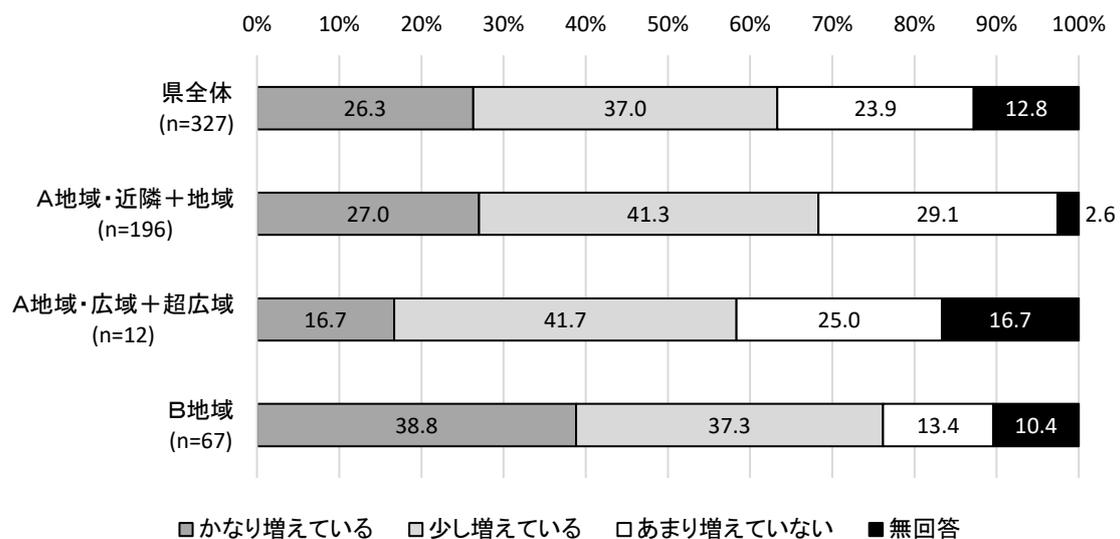
立地環境別に見ると、「かなり増えている」の割合が比較的高いのはロードサイド、駅前、一般商店街である。

図表 143 後継者のいない店舗  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	かなり 増えている	少し 増えている	あまり 増えて いない	無回答	
令和4年度	県全体	327	26.3	37.0	23.9	12.8	
平成29年度	県全体	400	29.8	37.0	23.5	9.8	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	23.0	37.3	26.6	13.1
		うち近隣+地域	196	27.0	41.3	29.1	2.6
		うち広域+超広域	12	16.7	41.7	25.0	16.7
	B地域計		67	38.8	37.3	13.4	10.4
ブロック	A地域	千葉	49	18.4	40.8	26.5	14.3
		葛南	66	25.8	39.4	18.2	16.7
		東葛飾	97	25.8	34.0	30.9	9.3
		印旛	32	15.6	37.5	31.3	15.6
	B地域	香取	11	36.4	45.5	9.1	9.1
		海匝	13	30.8	30.8	15.4	23.1
		山武	7	28.6	42.9	14.3	14.3
		長生	5	20.0	40.0	20.0	20.0
		夷隅	8	50.0	37.5	12.5	0.0
		安房	7	57.1	28.6	0.0	14.3
		君津	16	43.8	37.5	18.8	0.0
組織 形態	振興組合	51	25.5	35.3	33.3	5.9	
	協同組合	22	40.9	22.7	18.2	18.2	
	任意団体	228	27.2	41.2	24.1	7.5	
立地 環境	繁華街	18	22.2	44.4	27.8	5.6	
	一般商店街	68	32.4	35.3	32.4	0.0	
	一般住宅街	76	22.4	44.7	27.6	5.3	
	住宅団地	14	28.6	28.6	42.9	0.0	
	駅前	72	33.3	43.1	20.8	2.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	44.4	37.0	14.8	3.7	
	その他	12	25.0	58.3	16.7	0.0	

図表 144 後継者のいない店舗(県全体、地域・タイプ別)



## (2)後継者育成対策の実施状況（問5-2）

後継者育成対策の実施状況は、県全体では「実施している」が1.8%、「実施していない」が76.8%、「検討中」が7.0%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣+地域である。

ブロック別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、夷隅、香取、君津である。

組織形態別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、任意団体である。

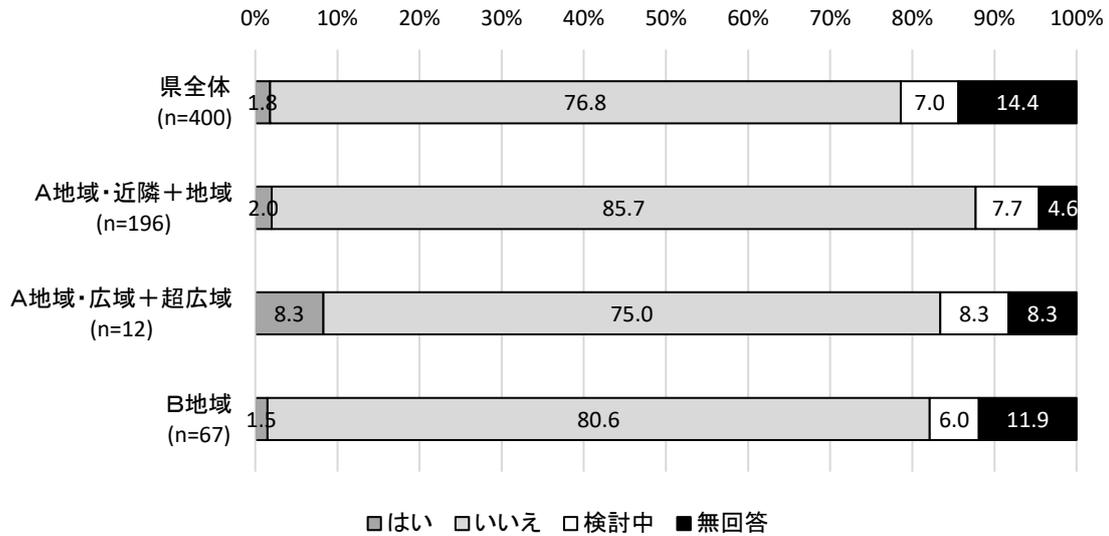
立地環境別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、駅ビル、住宅団地、ロードサイド、一般住宅街である。

図表 145 後継者育成対策の実施状況  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	実施 している	実施 していない	検討中	無回答	
令和4年度	県全体	327	1.8	76.8	7.0	14.4	
地域 タイプ	A地域計	244	2.0	76.6	6.6	14.8	
	うち近隣+地域	196	2.0	85.7	7.7	4.6	
	うち広域+超広域	12	8.3	75.0	8.3	8.3	
	B地域計	67	1.5	80.6	6.0	11.9	
ブロック	A地域	千葉	49	2.0	77.6	6.1	14.3
		葛南	66	4.5	69.7	7.6	18.2
		東葛飾	97	1.0	81.4	5.2	12.4
		印旛	32	0.0	75.0	9.4	15.6
	B地域	香取	11	0.0	90.9	0.0	9.1
		海匝	13	0.0	69.2	7.7	23.1
		山武	7	0.0	71.4	14.3	14.3
		長生	5	0.0	80.0	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	100.0	0.0	0.0
		安房	7	0.0	57.1	14.3	28.6
君津	16	6.3	87.5	6.3	0.0		
組織 形態	振興組合	51	2.0	82.4	5.9	9.8	
	協同組合	22	4.5	50.0	18.2	27.3	
	任意団体	228	1.8	83.8	7.0	7.5	
立地 環境	繁華街	18	5.6	83.3	5.6	5.6	
	一般商店街	68	2.9	85.3	10.3	1.5	
	一般住宅街	76	0.0	88.2	3.9	7.9	
	住宅団地	14	7.1	92.9	0.0	0.0	
	駅前	72	1.4	83.3	11.1	4.2	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	0.0	92.6	7.4	0.0	
	その他	12	8.3	75.0	16.7	0.0	

図表 146 後継者のいない店舗(県全体、地域・タイプ別)



### (3)後継者育成対策の内容 (問5-3)

後継者のいない店舗は、県全体では「若手に共同事業の企画・運営を任せている」が 66.7%で最も高く、次いで「理事会・執行部への若手登用」(33.3%)となっている。

図表 147 空き店舗がどのようになってほしいか(県全体、ブロック別)

(単位: %)

	回答数 (n)	若手に共同事業の企画・運営を任せている	理事会・執行部への若手登用	若手を研修会に参加させている	若手の研究会を作っている	青年部を設置している	その他	無回答
県全体 (令和4年度)	6	66.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
県全体 (平成29年度)	10	10.0	40.0	20.0	0.0	20.0	30.0	0.0
千葉	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
葛南	3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
東葛飾	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印旛	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
香取	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
海匝	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山武	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夷隅	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(注)複数回答。問5-2で「はい」と回答した商店街が対象

#### (4)次世代リーダーの有無（問5-4）

---

商店街の次世代リーダーの有無は、県全体では「いる」が26.3%、「いない」が58.4%となっている。

平成29年度との比較では、「いる」が1.7ポイント減少、「いない」が1.1ポイント減少した。

全国(令和3年度)との比較では、「いる」が18.9ポイント下回っており、「いない」が11.1ポイント上回っている。

地域・タイプ別に見ると、「いる」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「いる」の割合が比較的高いのは、千葉、夷隅である。

組織形態別に見ると、「いる」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

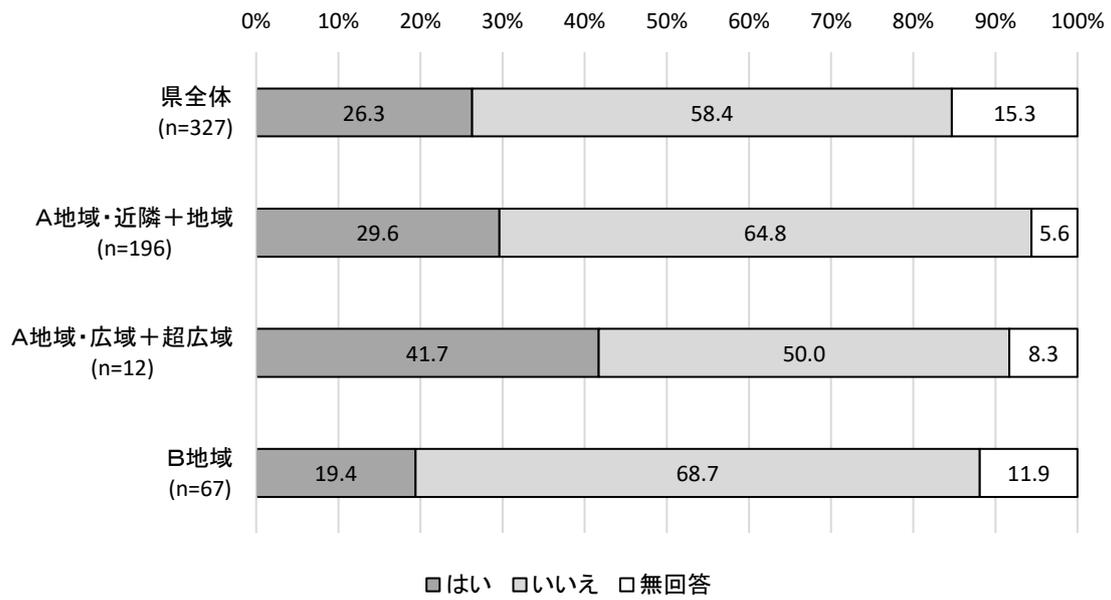
立地環境別に見ると、「いる」の割合が比較的高いのは、駅ビル、住宅団地、一般商店街、駅前である。

図表 148 次世代のリーダーの有無  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数 (n)	いる	いない	無回答	
令和4年度	県全体	327	26.3	58.4	15.3	
平成29年度	県全体	400	28.0	59.5	12.5	
令和3年度	全国(参考)	4,536	45.2	47.3	7.5	
地域 タイプ・ プ	A地域	A地域計	244	27.5	56.6	16.0
		うち近隣+地域	196	29.6	64.8	5.6
		うち広域+超広域	12	41.7	50.0	8.3
	B地域計		67	19.4	68.7	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	40.8	40.8	18.4
		葛南	66	28.8	56.1	15.2
		東葛飾	97	23.7	60.8	15.5
		印旛	32	15.6	68.8	15.6
	B地域	香取	11	18.2	63.6	18.2
		海匝	13	7.7	69.2	23.1
		山武	7	14.3	71.4	14.3
		長生	5	20.0	60.0	20.0
		夷隅	8	37.5	62.5	0.0
		安房	7	14.3	71.4	14.3
	君津	16	25.0	75.0	0.0	
組織 形態	振興組合	51	29.4	56.9	13.7	
	協同組合	22	31.8	40.9	27.3	
	任意団体	228	27.6	64.5	7.9	
立地 環境	繁華街	18	27.8	66.7	5.6	
	一般商店街	68	38.2	60.3	1.5	
	一般住宅街	76	14.5	78.9	6.6	
	住宅団地	14	42.9	50.0	7.1	
	駅前	72	36.1	55.6	8.3	
	駅ビル	1	100.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	14.8	85.2	0.0	
	その他	12	41.7	58.3	0.0	

図表 149 次世代リーダーの有無(県全体、地域・タイプ別)



## 6. 大型店

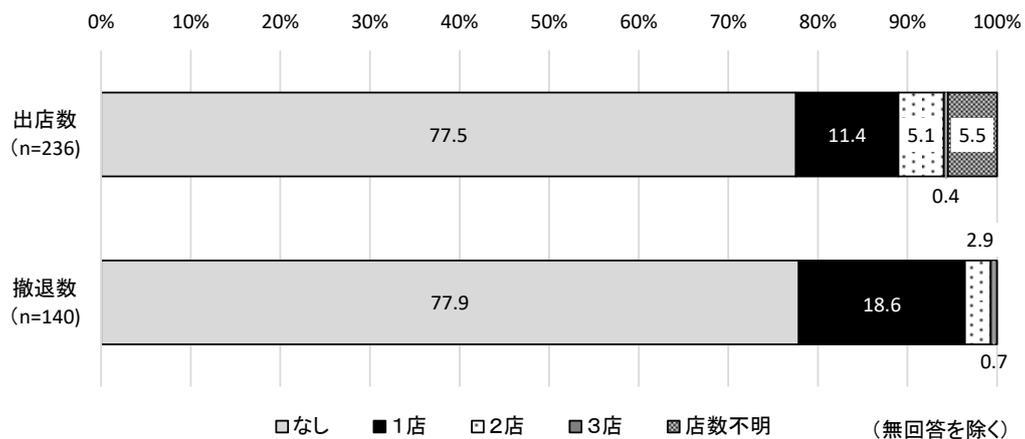
### (1) 大型店の出店・撤退の状況（問6-1、6-2）

#### ① 大型店の出店・撤退数

過去5年間における大型店（店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>超）の出店数は、出店なしが 77.5%、1店が 11.4%、2店が 5.1%、3店が 0.4%となっている。

撤退数は、撤退なしが 77.9%、1店が 18.6%、2店が 2.9%、3店が 0.7%となっている。

図表 150 大型店の出店・撤退数



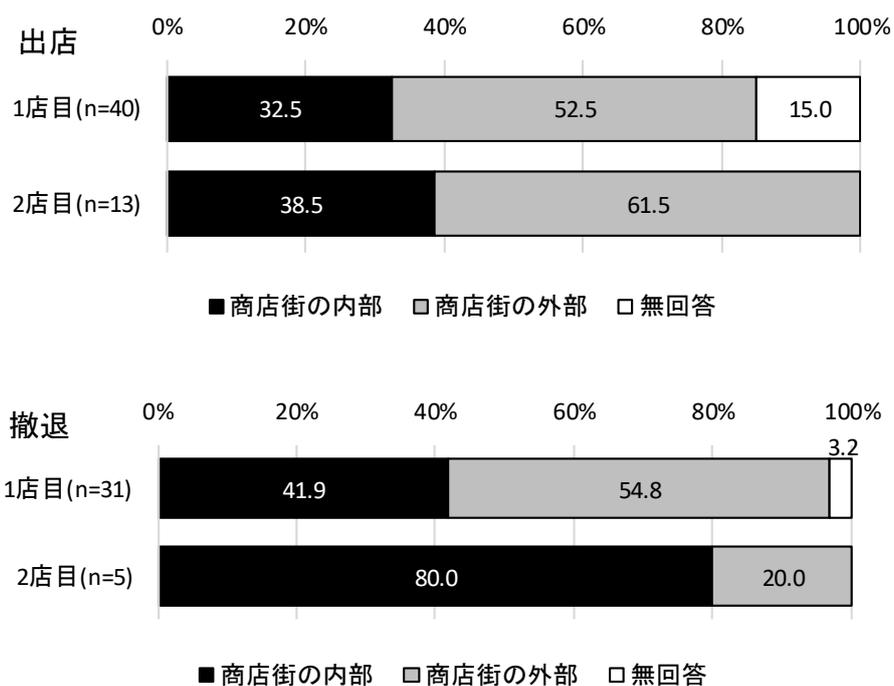
(注)「店数不明」は「出店あり」と回答したが、出店数は無回答であった商店街である

## ② 出店・撤退した大型店の立地場所

出店した大型店の立地場所は、商店街の外部が、1店目は 52.5%、2店目は 61.5%と、商店街の外部が圧倒的に多い。

撤退した大型店が立地していた場所は、1店目は商店街の内部が 41.9%、外部が 54.8%、2店目は内部が 80.0%、外部が 20.0%となっている。

図表 151 出店・撤退した大型店の立地場所



## ③ 出店・撤退した大型店のタイプ

出店した大型店のタイプは、1店目、2店目、3店目とも食品スーパーの割合が最も高い。

撤退した大型店のタイプは、百貨店や食品スーパーの割合が比較的高い。

図表 152 出店・撤退した大型店のタイプ

(単位: %)

		百貨店	総合スーパー	食品スーパー	ディスカウントストア	郊外型専門店	ホームセンター	ドラッグストア	複合商業施設	その他	無回答
出店	1店目 (n=40)	2.5	17.5	40.0	0.0	0.0	10.0	5.0	17.5	0.0	7.5
	2店目 (n=13)	15.4	7.7	53.8	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0
	3店目 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
撤退	1店目 (n=31)	35.5	12.9	25.8	0.0	0.0	3.2	0.0	9.7	9.7	3.2
	2店目 (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	3店目 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

#### ④ 大型店出店・撤退による来街者数の変化

大型店の出店による来街者数の変化は、1店目、2店目とも「減った(減った+やや)」の割合が「増えた(増えた+やや)」の割合を大きく上回っている。

大型店の撤退による来街者数の変化は、1店目、2店目、3店目とも「減った(減った+やや)」の割合が「増えた(増えた+やや)」の割合を大きく上回っている。

図表 153 大型店出店・撤退による来街者数の変化

(単位:%)

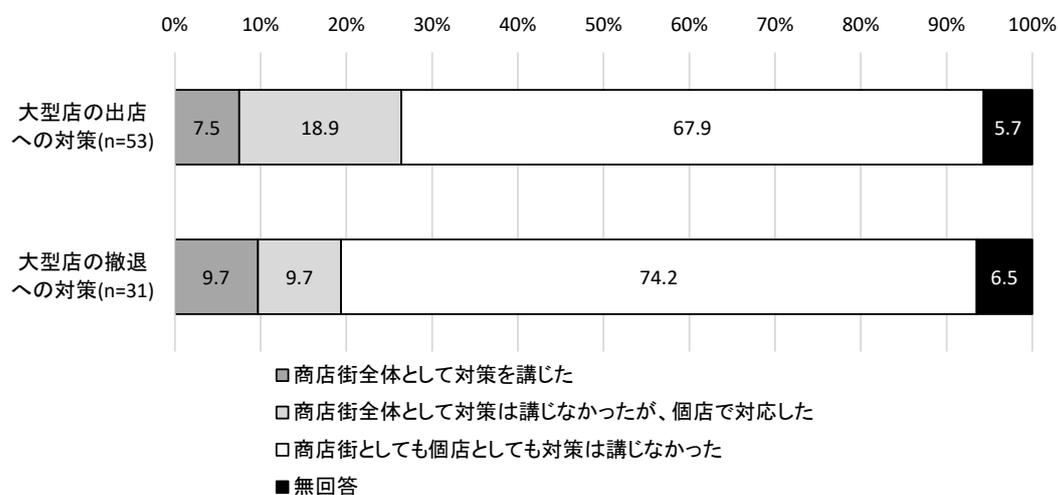
		増えた			減った		変わらない	無回答	
		増えた	やや増えた	増えた(増えた+やや)	やや減った	減った			
出店	1店目(n=40)	0.0	5.0	5.0	42.5	17.5	60.0	27.5	7.5
	2店目(n=13)	0.0	7.7	7.7	53.8	0.0	53.8	30.8	7.7
	3店目(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
撤退	1店目(n=31)	0.0	0.0	0.0	35.5	25.8	61.3	38.7	0.0
	2店目(n=5)	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	80.0	20.0	0.0
	3店目(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

#### (2) 大型店の出店・撤退への対策 (問 6 - 3)

大型店の出店・撤退への対策は、出店に対しては、「商店街全体として対策を講じた」が 7.5%、「商店街全体として対策は講じなかったが、個店に対応した」が 18.9%、「商店街としても個店としても対策は講じなかった」が 67.9%となっている。

撤退に対しては、「商店街全体として対策を講じた」が 9.7%、「商店街全体として対策は講じなかったが、個店に対応した」が 9.7%、「商店街としても個店としても対策は講じなかった」が 74.2%となっている。

図表 154 大型店の出店・撤退への対策



### (3)大型店・チェーン店に対する商店街加入の働きかけ

#### ① 商店街加入の働きかけの実施状況（問6-4）

大型店・チェーン店に対する商店街加入の働きかけは、「実施している」は 13.8%にとどまり、「実施していない」が 62.4%に上っている。

地域・タイプ別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、香取、山武、安房である。

立地環境別に見ると、「実施していない」の割合が比較的高いのは、一般商店街、一般住宅街、ロードサイドである。

図表 155 商店街加入の働きかけの実施状況  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	実施 している	実施 していない	無回答	
令和4年度	県全体	327	13.8	62.4	23.9	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	16.4	58.6	25.0
		うち近隣+地域	196	15.8	67.9	16.3
		うち広域+超広域	12	58.3	41.7	0.0
		B地域計	67	4.5	76.1	19.4
ブロック	A地域	千葉	49	14.3	57.1	28.6
		葛南	66	19.7	57.6	22.7
		東葛飾	97	16.5	61.9	21.6
		印旛	32	12.5	53.1	34.4
	B地域	香取	11	9.1	81.8	9.1
		海匝	13	0.0	69.2	30.8
		山武	7	0.0	85.7	14.3
		長生	5	0.0	60.0	40.0
		夷隅	8	0.0	75.0	25.0
		安房	7	0.0	85.7	14.3
	君津	16	12.5	75.0	12.5	
組織 形態	振興組合	51	21.6	62.7	15.7	
	協同組合	22	13.6	54.5	31.8	
	任意団体	228	13.2	68.9	18.0	
立地 環境	繁華街	18	11.1	66.7	22.2	
	一般商店街	68	10.3	80.9	8.8	
	一般住宅街	76	6.6	76.3	17.1	
	住宅団地	14	21.4	64.3	14.3	
	駅前	72	30.6	50.0	19.4	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	
	ロードサイド	27	7.4	85.2	7.4	
	その他	12	16.7	66.7	16.7	

## ② 商店街加入の働きかけの内容（問6-5）

大型店・チェーン店に対する商店街加入の働きかけとして実施している内容は、県全体では「役員による訪問勧誘」が82.2%で最も高く、次いで「文書による勧誘」(22.2%)などとなっている。

図表 156 商店街加入の働きかけの内容  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数 (n)	役員による 訪問勧誘	文書による 勧誘	会費の 値下げ	その他	無回答	
令和4年度	県全体	45	82.2	22.2	8.9	8.9	2.2	
地域 タイプ	A地域	A地域計	40	87.5	20.0	10.0	7.5	2.5
		うち近隣+地域	31	87.1	22.6	12.9	6.5	3.2
		うち広域+超広域	7	85.7	14.3	0.0	14.3	0.0
		B地域計	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
ブロック	A地域	千葉	7	100.0	42.9	28.6	0.0	0.0
		葛南	13	92.3	7.7	7.7	7.7	0.0
		東葛飾	16	81.3	18.8	6.3	12.5	6.3
		印旛	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	B地域	香取	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		海匝	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		山武	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
組織 形態	振興組合	11	100.0	18.2	18.2	0.0	0.0	
	協同組合	3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
	任意団体	30	73.3	23.3	6.7	13.3	3.3	
立地 環境	繁華街	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	7	100.0	28.6	14.3	0.0	0.0	
	一般住宅街	5	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	
	住宅団地	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	
	駅前	22	86.4	18.2	4.5	9.1	0.0	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
その他	2	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0		

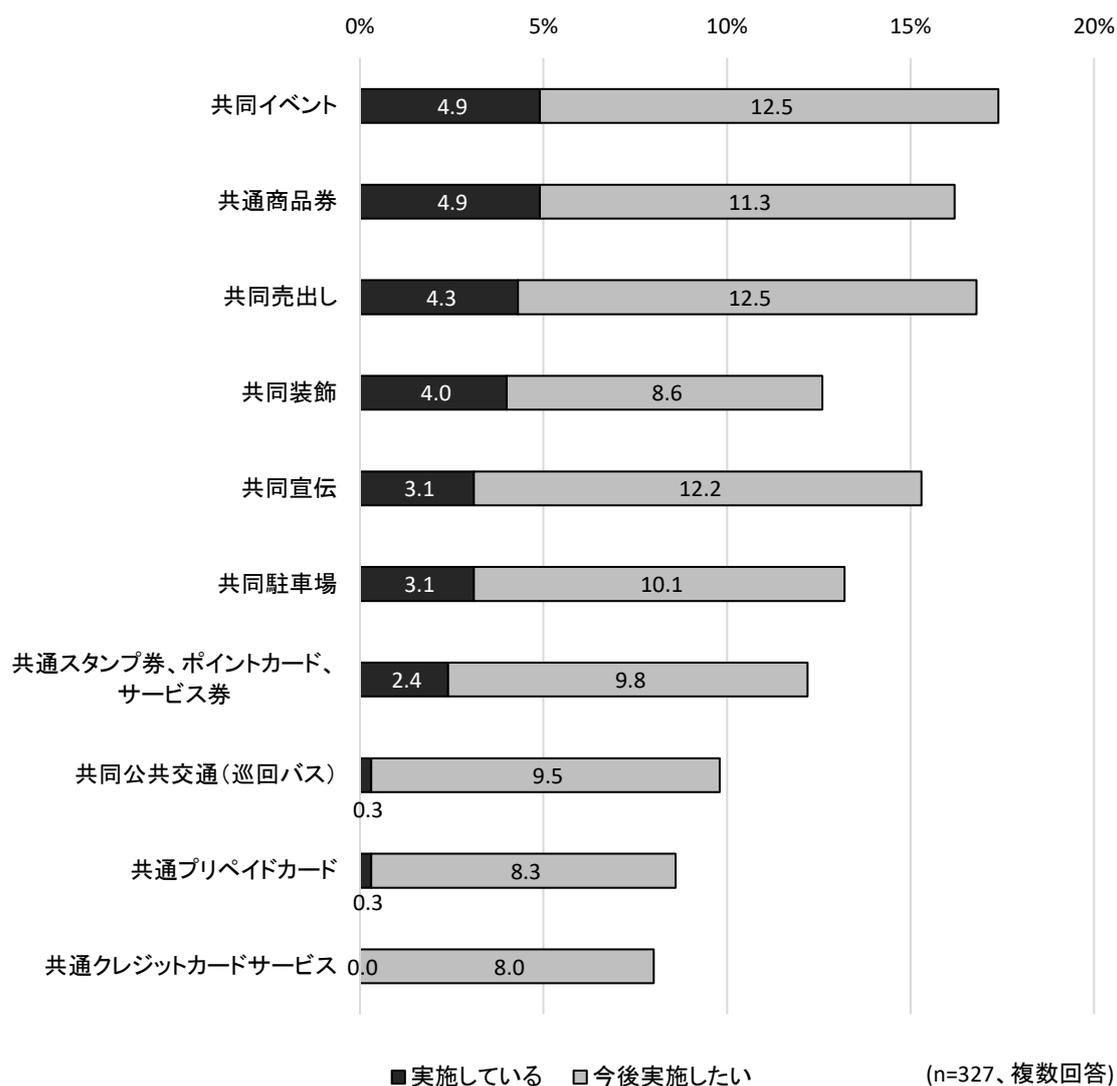
(注) 複数回答

### ③ 大型店との共同事業（問6-6）

大型店と共同で実施している事業は、「共同イベント」と「共通商品券」がともに4.9%で最も高く、次いで「共同売出し」(4.3%)、「共同装飾」(4.0%)などとなっている。

今後実施したい共同事業は、「共同イベント」と「共同売出し」がともに12.5%で最も高く、次いで「共同宣伝」(12.2%)、「共通商品券」(11.3%)、「共同駐車場」(10.1%)などとなっている。

図表 157 大型店との共同事業



## 7. 商店街の組織や活動

### (1) 会員数の変化（問7-1）

3年前と比べた商店街の会員数は、県全体では、「増えた(増えた+やや)」は6.5%、「減った(減った+やや)」は55.6%となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「増えた(増えた+やや)」が1.7ポイント下回っており、「減った(減った+やや)」が3.0ポイント上回っている。

地域・タイプ別に見ると、「増えた(増えた+やや)」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「増えた(増えた+やや)」の割合が比較的高いのは、長生、千葉、夷隅である。

組織形態別に見ると、「増えた(増えた+やや)」の割合が比較的高いのは、振興組合である。

立地環境別に見ると、「増えた(増えた+やや)」の割合が比較的高いのは、ロードサイド、住宅団地である。

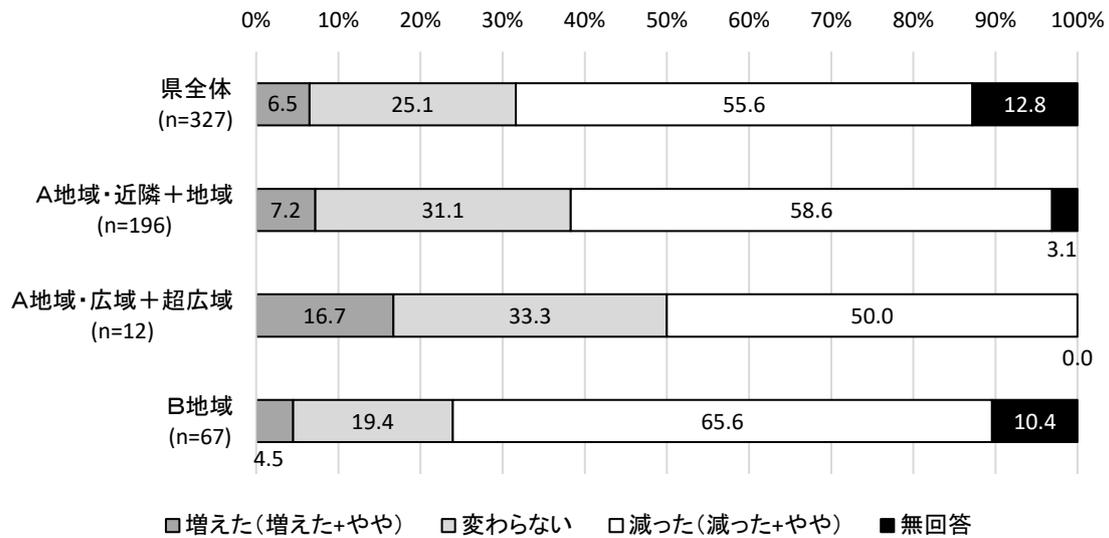
図表 158 会員数の変化(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	増えた			減った			変わらない	無回答	
			増えた	やや増えた	増えた(増えた+やや)	やや減った	減った	減った(やや+減った)			
令和4年度	県全体	327	3.1	3.4	<b>6.5</b>	27.8	27.8	<b>55.6</b>	25.1	12.8	
令和3年度	全国(参考)	4,536	-	-	<b>8.2</b>	-	-	<b>52.6</b>	33.0	6.2	
地域タイプ	A地域	A地域計	244	2.9	4.1	<b>7.0</b>	26.2	27.0	<b>53.2</b>	27.0	12.7
		うち近隣+地域	196	3.1	4.1	<b>7.2</b>	27.0	31.6	<b>58.6</b>	31.1	3.1
		うち広域+超広域	12	0.0	16.7	<b>16.7</b>	50.0	0.0	<b>50.0</b>	33.3	0.0
	B地域計		67	3.0	1.5	<b>4.5</b>	32.8	32.8	<b>65.6</b>	19.4	10.4
ブロック	A地域	千葉	49	4.1	10.2	<b>14.3</b>	28.6	16.3	<b>44.9</b>	28.6	12.2
		葛南	66	0.0	1.5	<b>1.5</b>	24.2	33.3	<b>57.5</b>	25.8	15.2
		東葛飾	97	4.1	4.1	<b>8.2</b>	27.8	25.8	<b>53.6</b>	28.9	9.3
		印旛	32	3.1	0.0	<b>3.1</b>	21.9	34.4	<b>56.3</b>	21.9	18.8
	B地域	香取	11	9.1	0.0	<b>9.1</b>	36.4	27.3	<b>63.7</b>	18.2	9.1
		海匝	13	0.0	0.0	<b>0.0</b>	30.8	38.5	<b>69.3</b>	7.7	23.1
		山武	7	0.0	0.0	<b>0.0</b>	42.9	28.6	<b>71.5</b>	14.3	14.3
		長生	5	20.0	0.0	<b>20.0</b>	20.0	40.0	<b>60.0</b>	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	12.5	<b>12.5</b>	25.0	25.0	<b>50.0</b>	37.5	0.0
		安房	7	0.0	0.0	<b>0.0</b>	42.9	28.6	<b>71.5</b>	14.3	14.3
君津	16	0.0	0.0	<b>0.0</b>	31.3	37.5	<b>68.8</b>	31.3	0.0		
組織形態	振興組合	51	2.0	5.9	<b>7.9</b>	23.5	33.3	<b>56.8</b>	27.5	7.8	
	協同組合	22	0.0	4.5	<b>4.5</b>	31.8	9.1	<b>40.9</b>	31.8	22.7	
	任意団体	228	3.5	3.1	<b>6.6</b>	30.7	29.8	<b>60.5</b>	25.9	7.0	
立地環境	繁華街	18	0.0	5.6	<b>5.6</b>	16.7	38.9	<b>55.6</b>	33.3	5.6	
	一般商店街	68	2.9	1.5	<b>4.4</b>	42.6	29.4	<b>72.0</b>	23.5	0.0	
	一般住宅街	76	2.6	2.6	<b>5.2</b>	27.6	34.2	<b>61.8</b>	26.3	6.6	
	住宅団地	14	7.1	7.1	<b>14.2</b>	7.1	28.6	<b>35.7</b>	50.0	0.0	
	駅前	72	1.4	6.9	<b>8.3</b>	37.5	25.0	<b>62.5</b>	27.8	1.4	
	駅ビル	1	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	3.7	<b>14.8</b>	25.9	37.0	<b>62.9</b>	18.5	3.7	
	その他	12	8.3	0.0	<b>8.3</b>	16.7	33.3	<b>50.0</b>	41.7	0.0	

(注) 令和3年度の全国調査の選択肢は「増えた」、「変わらない」、「減った」の3つ

図表 159 会員数の変化(3年前比。県全体、地域・タイプ別)



## (2) 会員数が減った要因 (問 7 - 2)

3年前と比べて商店街の会員数が減った要因は、県全体では「会員の高齢化、後継者の不在」が59.3%で最も高く、次いで「会員の廃業」(58.8%)となっている。

地域・タイプ別に見ると、「会員の高齢化、後継者の不在」の割合が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「会員の高齢化、後継者の不在」の割合が比較的高いのは、安房、海匠、長生、香取、夷隅である。

組織形態別に見ると、「会員の高齢化、後継者の不在」の割合が比較的高いのは、協同組合である。

立地環境別に見ると、「会員の高齢化、後継者の不在」の割合が比較的高いのは、一般住宅街、ロードサイドである。

図表 160 会員数が減った要因(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	会員の年齢化、後継者の不在	会員の廃業	新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化	会員のメリットが感じづらくなった	他地域への移転	商店街活動の縮小	会費や役員業務などの負担が大きい	その他	無回答	
令和4年度	県全体	182	59.3	58.8	22.0	14.3	6.6	5.5	5.5	3.8	1.1	
地域・タイプ	A地域	A地域計	130	53.1	57.7	27.7	16.2	5.4	5.4	3.8	1.5	
		うち近隣+地域	115	56.5	57.4	24.3	14.8	5.2	6.1	4.3	1.7	
		うち広域+超広域	6	0.0	33.3	66.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	
		B地域計	44	79.5	61.4	4.5	9.1	11.4	6.8	4.5	2.3	0.0
ブロック	A地域	千葉	22	40.9	63.6	31.8	22.7	9.1	9.1	0.0	4.5	0.0
		葛南	38	57.9	55.3	36.8	15.8	5.3	2.6	5.3	5.3	2.6
		東葛飾	52	50.0	63.5	25.0	15.4	3.8	5.8	5.8	1.9	0.0
		印旛	18	66.7	38.9	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6
		香取	7	71.4	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
	B地域	海匝	9	88.9	77.8	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
		山武	5	60.0	80.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	3	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	4	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	5	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	君津	11	63.6	54.5	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	
組織形態	振興組合	29	62.1	62.1	13.8	20.7	10.3	6.9	6.9	3.4	0.0	
	協同組合	9	77.8	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	
	任意団体	138	57.2	58.0	23.9	13.0	5.1	5.1	5.1	4.3	1.4	
立地環境	繁華街	10	30.0	50.0	40.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	
	一般商店街	49	65.3	71.4	26.5	6.1	4.1	8.2	10.2	0.0	0.0	
	一般住宅街	47	78.7	63.8	12.8	2.1	2.1	6.4	2.1	4.3	0.0	
	住宅団地	5	60.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	45	33.3	42.2	28.9	31.1	13.3	4.4	6.7	8.9	2.2	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	17	70.6	52.9	11.8	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	
	その他	6	83.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注)複数回答。問7-1で「やや減った」または「減った」回答した商店街が対象

### (3)会員の加入促進対策の内容(問7-3)

会員の加入促進対策の内容は、県全体では「特に対策していない」が51.4%で最も高く、次いで「開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」(16.8%)、「イベントを活用した呼びかけ」(14.7%)となっている。

地域・タイプ別に見ると、「特に対策はしていない」の割合が比較的高いのは、B地域である。「開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「特に対策はしていない」の割合が比較的高いのは、君津、山武、香取、海匝である。

組織形態別に見ると、「特に対策はしていない」の割合が比較的高いのは、任意団体である。

立地環境別に見ると、「特に対策はしていない」の割合が比較的高いのは、駅ビル、住宅団地、一般住宅街、一般商店街、ロードサイドである。

図表 161 会員数の加入促進対策の内容  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	開店時や 定期的な 訪問による 積極的な 勧誘	イベントを 活用した 呼びかけ	オーナー や不動産 業者との 協力	チラシ・パン フレットの 配布等 によるPR 活動	ホーム ページの 活用	入会促進 キャンペーン の実施	その他	特に対策 はしてい ない	無回答	
令和4年度	県全体	327	16.8	14.7	5.2	4.6	4.0	2.1	2.8	51.4	15.6	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	244	19.3	16.0	6.1	3.7	3.3	1.2	2.5	48.8	16.0
		うち近隣+地域	196	20.9	18.4	6.1	4.6	4.1	1.5	2.0	57.1	5.1
		うち広域+超広域	12	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	8.3
		B地域計	67	9.0	7.5	1.5	7.5	7.5	6.0	1.5	64.2	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	20.4	20.4	4.1	6.1	10.2	2.0	4.1	38.8	14.3
		葛南	66	27.3	18.2	9.1	4.5	1.5	0.0	3.0	39.4	18.2
		東葛飾	97	15.5	12.4	7.2	3.1	1.0	1.0	2.1	56.7	14.4
		印旛	32	12.5	15.6	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	59.4	18.8
	B地域	香取	11	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0	63.6	9.1
		海匝	13	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	61.5	23.1
		山武	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	71.4	14.3
		長生	5	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0
		夷隅	8	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5
		安房	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3
組織 形態	君津	16	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	
	振興組合	51	17.6	15.7	11.8	7.8	3.9	0.0	2.0	49.0	9.8	
	協同組合	22	9.1	18.2	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	50.0	22.7	
立地 環境	任意団体	228	18.9	15.8	3.9	3.9	4.4	2.6	3.5	55.3	9.6	
	立地環境	繁華街	18	22.2	5.6	11.1	11.1	0.0	5.6	5.6	44.4	5.6
		一般商店街	68	14.7	13.2	1.5	7.4	5.9	1.5	4.4	64.7	4.4
		一般住宅街	76	13.2	7.9	3.9	0.0	2.6	1.3	1.3	69.7	10.5
		住宅団地	14	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	7.1
		駅前	72	26.4	34.7	11.1	4.2	8.3	1.4	1.4	36.1	4.2
		駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		ロードサイド	27	22.2	14.8	3.7	7.4	0.0	11.1	7.4	63.0	0.0
その他		12	16.7	16.7	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	58.3	0.0	

#### (4)会員同士の連携・協力状況 (問7-4)

会員同士の連携・協力状況は、県全体では「良好(良好+どちらかと言えば)」が 67.0%、「良好でない(良好でない+どちらかと言えば)」が 18.1%となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「良好(良好+どちらかと言えば)」が 11.8ポイント下回っており、「良好でない(良好でない+どちらかと言えば)」が 4.4ポイント上回っている。

地域・タイプ別に見ると、「良好(良好+どちらかと言えば)」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「良好(良好+どちらかと言えば)」の割合が比較的高いのは、夷隅、山武、香取である。

組織形態別に見ると、「良好(良好+どちらかと言えば)」の割合が比較的高いのは、振興組合である。

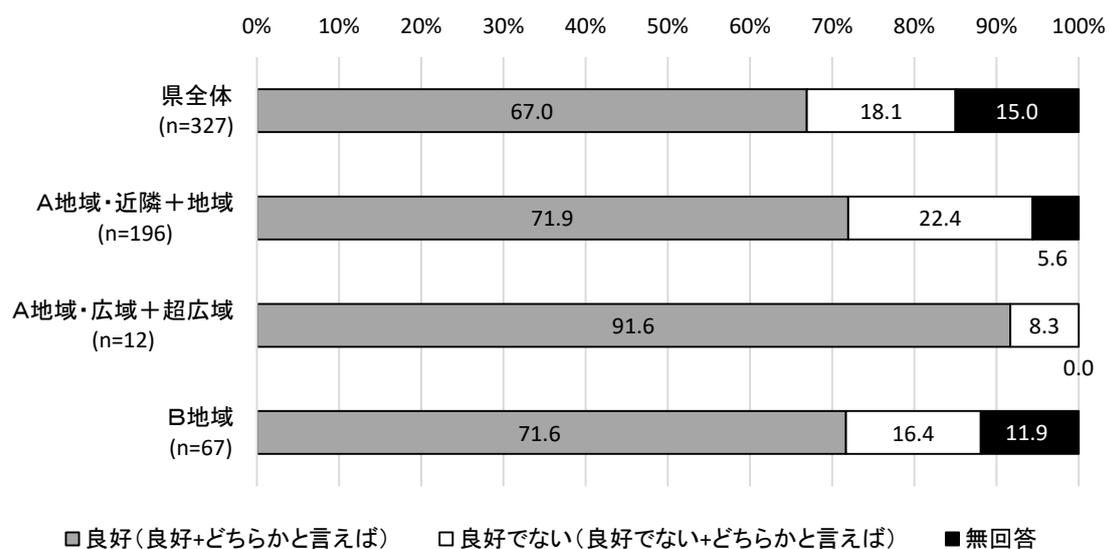
立地環境別に見ると、「良好(良好+どちらかと言えば)」の割合が比較的高いのは、駅ビル、住宅団地、ロードサイド、繁華街、一般商店街である。

図表 162 会員同士の連携・協力状況  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	良好			良好でない			無回答	
			良好である	どちらか と言え ば 良好である	良好 (良好+ どちらか と言え ば)	どちらか と言え ば 良好でない	良好でない	良好でない (どちら と言え ば+ 良好でない)		
令和4年度	県全体	327	19.9	47.1	67.0	13.8	4.3	18.1	15.0	
令和3年度	全国(参考)	4,536	22.6	56.2	78.8	10.7	3.0	13.7	7.6	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	20.5	44.7	65.2	14.3	5.3	19.6	15.2
		うち近隣+地域	196	21.4	50.5	71.9	16.8	5.6	22.4	5.6
		うち広域+超広域	12	33.3	58.3	91.6	8.3	0.0	8.3	0.0
	B地域計		67	16.4	55.2	71.6	14.9	1.5	16.4	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	26.5	42.9	69.4	12.2	4.1	16.3	14.3
		葛南	66	12.1	50.0	62.1	12.1	7.6	19.7	18.2
		東葛飾	97	22.7	42.3	65.0	16.5	5.2	21.7	13.4
		印旛	32	21.9	43.8	65.7	15.6	3.1	18.7	15.6
	B地域	香取	11	0.0	81.8	81.8	9.1	0.0	9.1	9.1
		海匝	13	7.7	53.8	61.5	7.7	0.0	7.7	30.8
		山武	7	14.3	71.4	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3
		長生	5	0.0	40.0	40.0	40.0	0.0	40.0	20.0
		夷隅	8	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	7	57.1	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	14.3
君津	16	18.8	43.8	62.6	31.3	6.3	37.6	0.0		
組織 形態	振興組合	51	23.5	51.0	74.5	13.7	2.0	15.7	9.8	
	協同組合	22	27.3	40.9	68.2	9.1	0.0	9.1	22.7	
	任意団体	228	19.7	50.4	70.1	14.9	5.3	20.2	9.6	
立地 環境	繁華街	18	22.2	61.1	83.3	11.1	0.0	11.1	5.6	
	一般商店街	68	26.5	51.5	78.0	19.1	1.5	20.6	1.5	
	一般住宅街	76	19.7	46.1	65.8	10.5	13.2	23.7	10.5	
	住宅団地	14	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	0.0	
	駅前	72	20.8	51.4	72.2	19.4	2.8	22.2	5.6	
	駅ビル	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	18.5	66.7	85.2	11.1	3.7	14.8	0.0	
	その他	12	25.0	66.7	91.7	8.3	0.0	8.3	0.0	

図表 163 会員同士の連携・協力状況(県全体、地域・タイプ別)



## (5)連携・協力が良好ではない要因（問7-5）

会員同士の連携・協力が良好ではない要因は、県全体では「会員同士が連携・協力する機会が少ない」が44.1%と最も高く、次いで「商店街活動に対し、会員が無関心」(39.0%)、「各会員が商店街活動に割く時間的余裕がない」(37.3%)となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「会員同士が連携・協力する機会が少ない」が11.1ポイント上回っており、「商店街活動に対し、会員が無関心」が17.3ポイント下回っており、「各会員が商店街活動に割く時間的余裕がない」は5.3ポイント上回っている。

地域・タイプ別に見ると、「各会員が商店街活動に割く時間的余裕がない」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣+地域である。

ブロック別に見ると、「会員同士が連携・協力する機会が少ない」が比較的高いのは、香取、海匠、安房、印旛である。

組織形態別に見ると、「会員同士が連携・協力する機会が少ない」が比較的高いのは、協同組合である。

立地環境別に見ると、「会員同士が連携・協力する機会が少ない」が比較的高いのは、住宅団地、一般商店街、駅前である。

図表 164 連携・協力が良好ではない要因  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

		回答数 (n)	会員同士 が連携・協 力する機 会が少な い	商店街活 動に対し、 会員が無 関心	各会員が 商店街活 動に割く時 間的余裕 がない	会員間の 世代格差 による認 識の違い	商店街組 織のリー ダーがい ない	商店街活 動に理 念、目標 がない	チェーン店 等が商店 街活動に 協力してく れない	新型コロナ 感染対策 の意識・ 取組の温 度差	会員間の 競合など 利害関係 がある	その他	無回答	
令和4年度	県全体	59	44.1	39.0	37.3	20.3	18.6	18.6	13.6	1.7	0.0	1.7	1.7	
令和3年度	全国(参考)	606	33.0	56.3	32.0	13.4	22.9	20.1	6.9	-	3.5	4.1	-	
地域 タイプ	A地域計	48	45.8	39.6	43.8	20.8	18.8	14.6	14.6	2.1	0.0	2.1	0.0	
	うち近隣+地域	44	45.5	38.6	45.5	20.5	18.2	13.6	15.9	2.3	0.0	2.3	0.0	
	うち広域+超広域	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	B地域計	11	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	8	50.0	50.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	
	葛南	13	38.5	23.1	38.5	38.5	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	東葛飾	21	42.9	42.9	42.9	14.3	19.0	19.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	
	印旛	6	66.7	50.0	83.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	B地域	香取	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	海匠	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山武	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	長生	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	夷隅	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	安房	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	君津	6	16.7	33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	形 態 別	振興組合	8	50.0	37.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
		協同組合	2	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
任意団体		46	41.3	39.1	37.0	21.7	19.6	17.4	15.2	0.0	0.0	2.2	2.2	
立 地 環 境	繁華街	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	14	71.4	35.7	28.6	21.4	7.1	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	
	一般住宅街	18	22.2	50.0	22.2	16.7	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	住宅団地	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	16	50.0	31.3	68.8	18.8	12.5	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	4	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(注)複数回答。問7-4で「どちらかと言えば良好ではない」または「良好でない」と回答した商店街が対象。令和3年度の全国調査では、各選択肢の「会員」が「組合員」となっている。また、「新型コロナ感染対策の意識・取組の温度差」の選択肢は無く、「無回答」の割合は記載なし。

## (6) 商店街が今後取り組む（または取組を強化する）事業（問 7 - 6）

---

商店街が今後取り組む（または取組を強化する）事業は、県全体では「共同ソフト事業（イベント等）」（31.5%）及び「個店の改善・活性化」（28.7%）が約3割となっており、次いで「組織強化」（18.7%）、「施設整備事業」（13.8%）となっている。

平成 29 年度との比較では、「共同ソフト事業（イベント等）」において、令和 4 年度が 11.0 ポイント上回っており、「個店の改善・活性化」が 13.1 ポイント下回っている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域＋超広域で「共同ソフト事業（イベント等）」及び「組織強化」の割合がともに 50.0%と比較的高い。B地域では「特になし」の割合が 29.9%と比較的高い。

ブロック別に見ると、「共同ソフト事業（イベント等）」の割合が比較的高いのは、千葉、夷隅、東葛飾である。

組織形態別に見ると、「共同ソフト事業（イベント等）」の割合が 39.2%と比較的高いのは、振興組合である。

立地環境別に見ると、「共同ソフト事業（イベント等）」の割合が比較的高いのは、住宅団地、駅前、一般商店街、繁華街である。

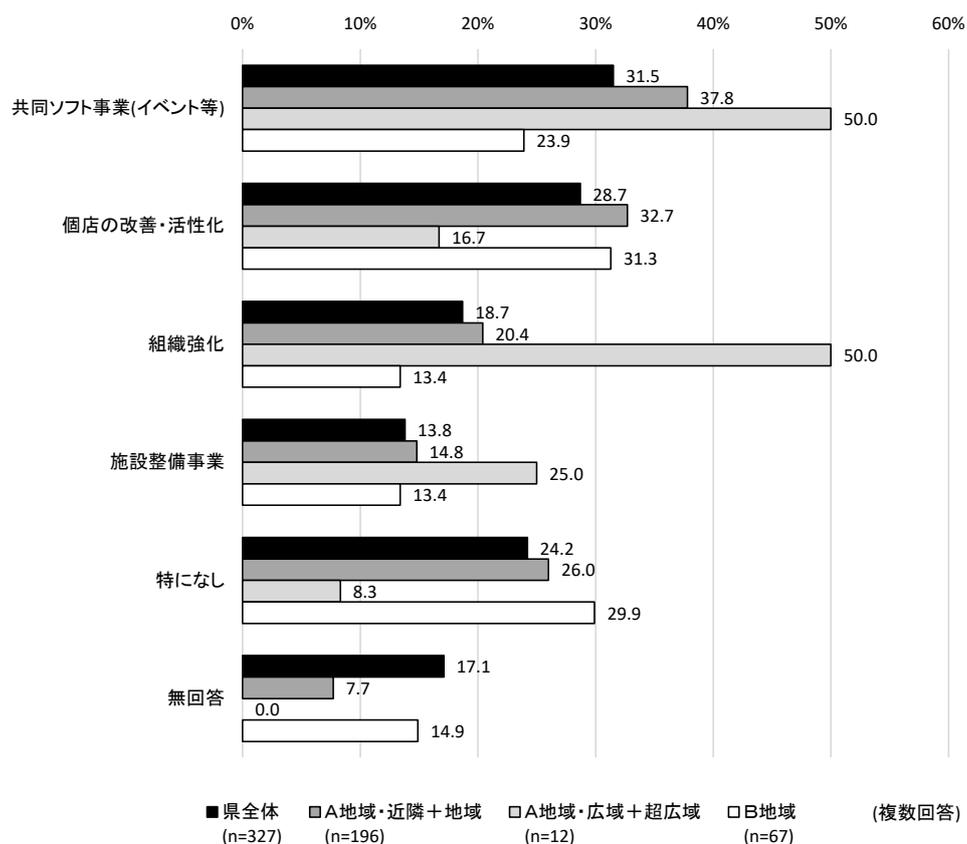
図表 165 商店街が今後取り組む(または取組を強化する)事業  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	共同ソフト 事業(イベ ント等)	個店の改 善・活性化	組織強化	施設整備 事業	特になし	無回答	
令和4年度	県全体	327	31.5	28.7	18.7	13.8	24.2	17.1	
平成29年度	県全体	400	20.5	41.8	18.5	16.0	16.0	23.0	
地域・ タイプ	A 地域	A地域計	244	34.4	27.5	19.7	13.9	22.5	17.2
		うち近隣+地域	196	37.8	32.7	20.4	14.8	26.0	7.7
		うち広域+超広域	12	50.0	16.7	50.0	25.0	8.3	0.0
		B地域計	67	23.9	31.3	13.4	13.4	29.9	14.9
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	40.8	22.4	24.5	16.3	18.4	14.3
		葛南	66	33.3	30.3	21.2	15.2	13.6	22.7
		東葛飾	97	36.1	27.8	19.6	11.3	28.9	14.4
		印旛	32	21.9	28.1	9.4	15.6	28.1	18.8
	B 地 域	香取	11	27.3	27.3	18.2	0.0	36.4	9.1
		海匠	13	23.1	46.2	7.7	15.4	15.4	30.8
		山武	7	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3
		長生	5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0
		夷隅	8	37.5	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0
		安房	7	28.6	28.6	14.3	14.3	42.9	28.6
	君津	16	12.5	25.0	18.8	12.5	50.0	0.0	
組 織 形 態	振興組合	51	39.2	27.5	23.5	21.6	27.5	7.8	
	協同組合	22	31.8	18.2	31.8	18.2	13.6	31.8	
	任意団体	228	32.5	32.5	18.4	12.7	25.9	11.4	
立 地 環 境	繁華街	18	38.9	27.8	44.4	22.2	11.1	11.1	
	一般商店街	68	41.2	30.9	17.6	16.2	29.4	4.4	
	一般住宅街	76	21.1	26.3	19.7	3.9	35.5	11.8	
	住宅団地	14	50.0	35.7	14.3	21.4	35.7	0.0	
	駅前	72	44.4	37.5	20.8	25.0	15.3	6.9	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	37.0	33.3	14.8	11.1	29.6	3.7	
	その他	12	8.3	41.7	25.0	8.3	33.3	8.3	

(注)複数回答

図表 166 商店街が今後取り組む(または取組を強化する)事業(県全体、地域・タイプ別)



### (7) 地域活動・ソフト事業の取組状況 (問 7-7)

地域活動・ソフト事業の取組状況は、県全体では「祭り・イベント」が 50.2%で最も高く、次いで「防災・防犯」(29.1%)、「環境美化・エコ活動」(25.4%)、「共同宣伝(マップ、チラシ等)」(22.9%)となっている。

図表 167 地域活動・ソフト事業の取組状況(県全体)

(単位:%)

		取組中	検討中	予定なし	無回答	
地域活動	環境美化・エコ活動	25.4	7.6	46.8	20.2	
	防災・防犯	29.1	10.4	39.1	21.4	
	祭り・イベント	50.2	11.3	20.5	18.0	
	勉強会・学習会	5.2	15.6	57.5	21.7	
	高齢者向けサービス	3.7	13.5	60.9	22.0	
	子育て支援サービス	3.7	8.6	64.5	23.2	
	電話・FAXによる商品の宅配、買物代行	3.7	4.3	68.8	23.2	
	まちゼミ	4.0	7.0	67.3	21.7	
	有償ボランティアなどのコミュニティビジネス	1.8	1.2	54.7	42.2	
共同売出し等の販売促進活動	共同宣伝(マップ、チラシ等)	22.9	10.7	45.0	21.4	
	サービス券・スタンプ・ポイントカード等	サービス券・スタンプ	11.3	8.6	56.9	23.2
		ポイントカード	8.9	7.6	59.6	23.9
		スマートフォンアプリ	1.5	10.7	63.6	24.2
	共通商品券(飲み歩き券・食べ歩き券等を含む)	12.5	9.8	56.0	21.7	
	定期パザール	5.5	8.0	64.2	22.3	
	100円商店街	1.2	3.7	73.1	22.0	
	まちバル	2.1	6.7	68.2	22.9	
	地域ブランド	地域資源利用商品	1.5	4.9	70.0	23.5
B級グルメ		2.4	4.6	69.1	23.9	
情報関連	インターネット等を活用した情報発信	16.5	13.8	48.0	21.7	
	キャッシュレス端末の導入	11.0	15.6	51.1	22.3	
買い物弱者への支援	買い物代行サービス	1.5	8.0	68.2	22.3	
	宅配・配食サービス	3.1	8.3	65.4	23.2	
	移動販売	1.8	5.5	70.0	22.6	
その他	その他	1.2	0.9	36.4	61.5	

(n=327)

### (8)管理している施設の設置状況(問7-8)

管理している施設の設置状況は、「設置済み」をみると、県全体では「街路灯」が56.0%で最も高く、次いで「駐車場」(15.3%)、「防犯カメラ」(14.7%)となっている。

図表 168 管理している施設の設置状況(県全体)

(単位:%)

	設置済(改修予定なし)	設置(改修)予定がある	予定はないが設置(改修)したい	撤去予定	設置していないし、設置したいと思わない	無回答
街路灯(LED化も含む)	56.0	8.6	4.3	3.4	11.9	15.9
アーケード	8.6	0.3	4.9	0.6	63.3	22.3
防犯カメラ	14.7	4.0	31.5	0.6	27.2	22.0
公衆便所	9.5	0.0	10.7	0.0	56.6	23.2
駐車場	15.3	0.0	17.1	0.3	43.7	23.5
自転車・バイク置き場	10.4	0.0	17.1	0.3	48.3	23.9
リサイクルボックス	1.8	0.0	16.5	0.3	56.9	24.5
Wi-Fi(ネット環境)	3.4	0.3	20.8	0.0	51.7	23.9
店舗案内板(図)・案内所	13.8	1.5	19.6	0.3	42.8	22.0
統一看板・デジタルサイネージ	5.2	0.6	15.6	0.6	52.3	25.7
アーチ	7.6	0.6	4.6	1.5	60.9	24.8
休憩所	6.1	0.6	16.8	0.0	53.5	22.9
託児所	0.9	0.6	11.0	0.0	61.8	25.7
コミュニティ施設	3.7	0.6	17.1	0.0	54.1	24.5

(n=327)

「街路灯」について、ブロック別では、「設置済み」が比較的高いのは、東葛飾、君津、海匝である。

図表 169 管理している施設の設置状況(街路灯、県全体、ブロック別)

(単位:%)

	回答数 (n)	設置済(改修 予定なし)	設置(改修)予 定がある	予定はないが 設置(改修)し たい	撤去予定	設置していな いし、設置した いと思わない	無回答
県全体 (令和4年度)	327	56.0	8.6	4.3	3.4	11.9	15.9
県全体 (平成29年度)	400	62.5	11.3	5.0	2.0	2.8	16.5
千葉	49	53.1	16.3	4.1	2.0	10.2	14.3
葛南	66	59.1	10.6	4.5	3.0	4.5	18.2
東葛飾	97	66.0	5.2	3.1	5.2	9.3	11.3
印旛	32	50.0	6.3	3.1	0.0	15.6	25.0
香取	11	54.5	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1
海匝	13	61.5	0.0	0.0	7.7	7.7	23.1
山武	7	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	14.3
長生	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
夷隅	8	37.5	12.5	12.5	0.0	37.5	0.0
安房	7	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6
君津	16	62.5	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5

「防犯カメラ」について、ブロック別では、「設置済み」が比較的高いのは、夷隅、千葉、長生である。

図表 170 管理している施設の設置状況(防犯カメラ、県全体、ブロック別)

(単位:%)

	回答数 (n)	設置済(改修 予定なし)	設置(改修)予 定がある	予定はないが 設置(改修)し たい	撤去予定	設置していな いし、設置した いと思わない	無回答
県全体 (令和4年度)	327	14.7	4.0	31.5	0.6	27.2	22.0
県全体 (平成29年度)	400	15.8	3.8	42.0	0.0	15.8	22.8
千葉	49	22.4	2.0	26.5	0.0	28.6	20.4
葛南	66	13.6	1.5	37.9	1.5	24.2	21.2
東葛飾	97	13.4	6.2	33.0	1.0	21.6	24.7
印旛	32	18.8	3.1	21.9	0.0	28.1	28.1
香取	11	18.2	0.0	36.4	0.0	36.4	9.1
海匝	13	0.0	7.7	30.8	0.0	30.8	30.8
山武	7	14.3	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3
長生	5	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0
夷隅	8	25.0	0.0	37.5	0.0	25.0	12.5
安房	7	0.0	14.3	14.3	0.0	57.1	14.3
君津	16	6.3	12.5	6.3	0.0	62.5	12.5

## 8. 商店街としての認識

### (1) 商店街の強み・弱み

#### ① 商店街の強み（問 8 - 1）

商店街の強みは、県全体では「地域との密着度」が 63.3%で最も高く、次いで「駅との距離」(33.9%)、「ソフト事業(イベント等)の実施」(19.0%)、「集客力のある商店」(14.7%)、「イベントのできるスペース等」(14.7%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「地域との密着度」が 14.0 ポイント増加、「駅との距離」が 7.6 ポイント増加した。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域は、14 項目中 11 項目で他の地域・タイプを上回っている。特に「駅との距離」(県全体比+57.8 ポイント)や「集客力のある商店」(同+27.0 ポイント)、「街区内の大型店」(同+24.4 ポイント)は、県全体の割合を大きく上回っている。

立地環境別に見ると、「地域との密着度」の割合が比較的高いのは、住宅団地、一般商店街、オフィス街、ロードサイドである。

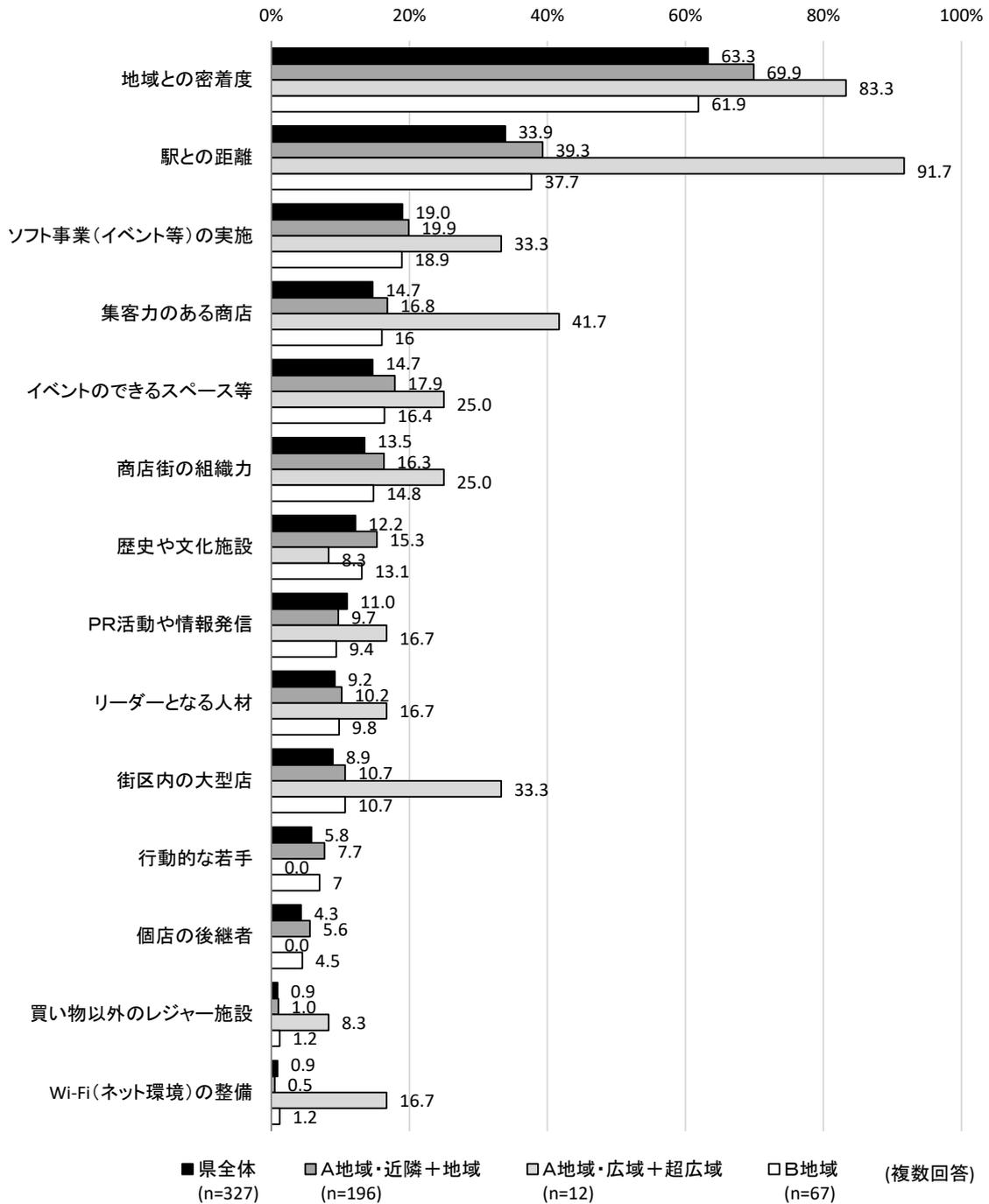
図表 171 商店街の強み(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4年度)	県全体 (平成29年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数回	327	400	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
地域との密着度	63.3	49.3	69.4	63.6	56.7	62.5	90.9	69.2	42.9	60.0	62.5	85.7	56.3
駅との距離	33.9	26.3	32.7	39.4	43.3	25.0	36.4	30.8	0.0	0.0	37.5	14.3	25.0
ソフト事業(イベント等)の実施	19.0	9.3	22.4	25.8	16.5	6.3	0.0	7.7	14.3	0.0	87.5	28.6	18.8
イベントのできるスペース等	14.7	8.0	20.4	18.2	11.3	21.9	18.2	7.7	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0
集客力のある商店	14.7	6.8	26.5	15.2	15.5	3.1	18.2	15.4	14.3	20.0	25.0	0.0	0.0
商店街の組織力	13.5	7.8	18.4	18.2	12.4	9.4	18.2	7.7	0.0	0.0	25.0	14.3	6.3
歴史や文化施設	12.2	7.0	10.2	13.6	14.4	12.5	18.2	7.7	0.0	0.0	12.5	0.0	18.8
PR活動や情報発信	11.0	4.5	18.4	13.6	4.1	3.1	18.2	0.0	14.3	20.0	62.5	14.3	6.3
リーダーとなる人材	9.2	2.3	6.1	13.6	9.3	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	28.6	6.3
街区内の大型店	8.9	5.8	10.2	6.1	12.4	15.6	0.0	0.0	28.6	20.0	0.0	0.0	0.0
行動的な若手	5.8	1.5	8.2	7.6	7.2	3.1	0.0	7.7	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
個店の後継者	4.3	1.8	6.1	4.5	4.1	3.1	0.0	7.7	0.0	20.0	0.0	0.0	6.3
買い物以外のレジャー施設	0.9	1.0	2.0	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Wi-Fi(ネット環境)の整備	0.9	0.8	2.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	24.2	37.8	22.4	25.8	24.7	28.1	9.1	30.8	28.6	40.0	0.0	14.3	18.8

(注)複数回答

図表 172 商店街の強み(県全体、地域・タイプ別)



図表 173 商店街の強み(県全体、立地環境別)

(単位:%)

	県全体	繁華街	一般商店街	一般住宅街	住宅団地	駅前	駅ビル	ロードサイド	オフィス街
回答数(n)	327	18	68	76	14	72	1	27	12
地域との密着度	63.3	66.7	79.4	63.2	85.7	69.4	0.0	74.1	75.0
駅との距離	33.9	72.2	29.4	11.8	7.1	80.6	100.0	25.9	0.0
ソフト事業(イベント等)の実施	19.0	22.2	17.6	17.1	21.4	27.8	0.0	22.2	25.0
イベントのできるスペース等	14.7	33.3	11.8	7.9	14.3	26.4	0.0	11.1	8.3
集客力のある商店	14.7	38.9	23.5	3.9	21.4	18.1	100.0	7.4	16.7
商店街の組織力	13.5	27.8	10.3	13.2	14.3	15.3	100.0	14.8	16.7
歴史や文化施設	12.2	16.7	10.3	10.5	0.0	18.1	0.0	22.2	25.0
PR活動や情報発信	11.0	22.2	11.8	7.9	0.0	16.7	0.0	14.8	8.3
リーダーとなる人材	9.2	11.1	13.2	6.6	0.0	15.3	0.0	7.4	0.0
街区内の大型店	8.9	11.1	2.9	5.3	21.4	18.1	0.0	11.1	8.3
行動的な若手	5.8	11.1	10.3	2.6	7.1	6.9	0.0	3.7	0.0
個店の後継者	4.3	5.6	5.9	1.3	7.1	8.3	0.0	0.0	8.3
買い物以外のレジャー施設	0.9	5.6	1.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Wi-Fi(ネット環境)の整備	0.9	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
無回答	24.2	11.1	10.3	25.0	14.3	11.1	0.0	11.1	16.7

(注)複数回答

## ② 商店街の弱み（問 8 - 1）

商店街の弱みは、県全体では「個店の後継者」が 44.0%で最も高く、次いで「行動的な若手」(36.4%)、「集客力のある商店」(35.2%)、「買い物以外のレジャー施設」(34.9%)、「PR活動や情報発信」(33.9%)となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・近隣+地域は、14 項目中7項目で他の地域・タイプを上回っている。特に「PR活動や情報発信」(県全体比+12.0 ポイント)や「Wi-Fi(ネット環境)の整備」(同+10.2 ポイント)は、県全体の割合を 10 ポイント以上上回っている。

立地環境別に見ると、「地域との密着度」の割合が比較的高いのは、駅ビル、一般住宅街、ロードサイドである。

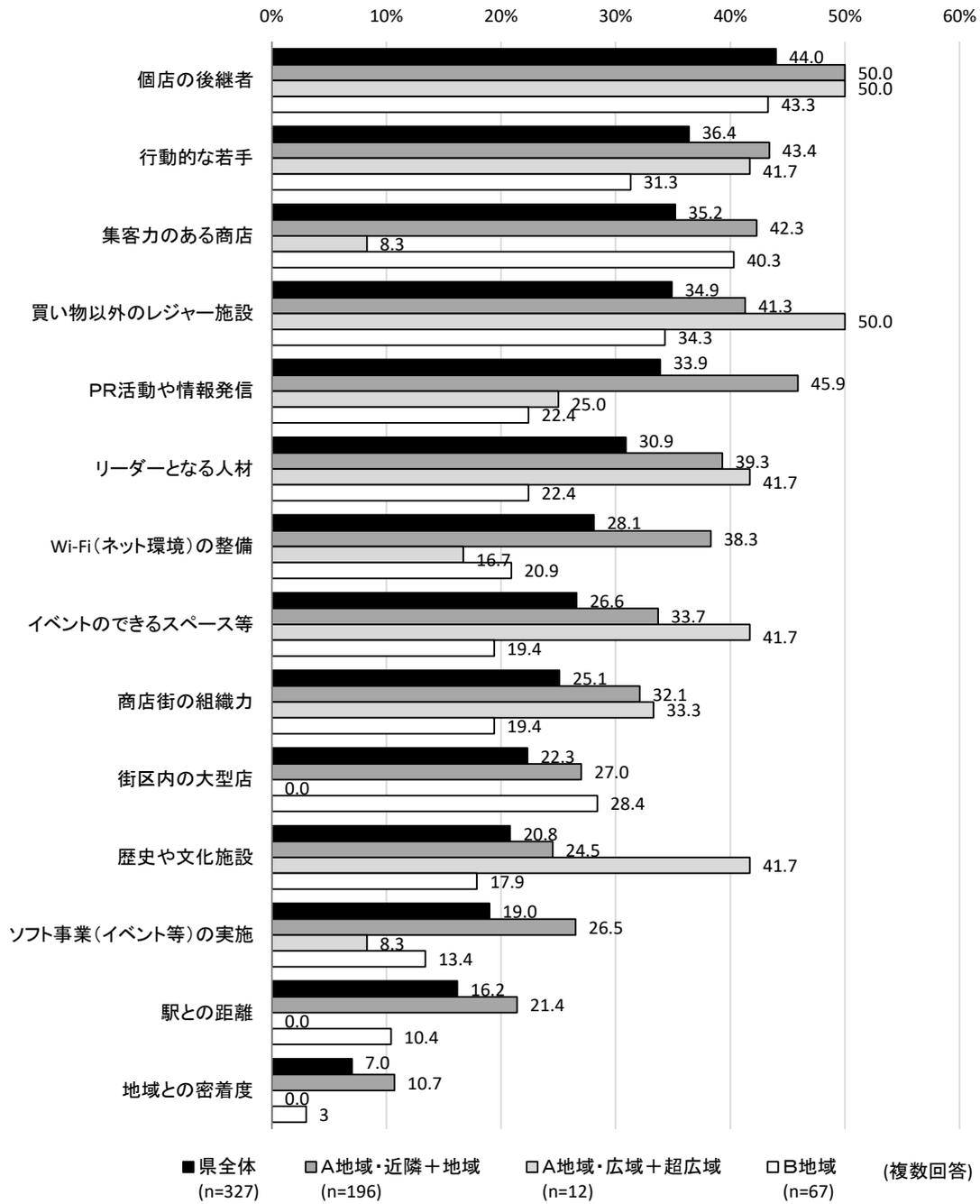
図表 174 商店街の弱み(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4年度)	県全体 (平成29年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	327	400	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
個店の後継者	44.0	23.0	44.9	43.9	47.4	31.3	36.4	46.2	42.9	20.0	50.0	57.1	43.8
行動的な若手	36.4	13.0	38.8	36.4	41.2	34.4	18.2	7.7	57.1	40.0	62.5	28.6	31.3
集客力のある商店	35.2	20.8	34.7	33.3	35.1	40.6	27.3	15.4	42.9	40.0	37.5	57.1	62.5
買い物以外のレジャー施設	34.9	10.3	40.8	34.8	36.1	34.4	18.2	15.4	42.9	60.0	62.5	28.6	37.5
PR活動や情報発信	33.9	11.8	24.5	42.4	41.2	46.9	45.5	15.4	28.6	40.0	0.0	14.3	18.8
リーダーとなる人材	30.9	9.8	34.7	36.4	34.0	28.1	18.2	7.7	28.6	60.0	12.5	14.3	31.3
Wi-Fi(ネット環境)の整備	28.1	3.8	28.6	34.8	33.0	25.0	0.0	7.7	57.1	40.0	37.5	14.3	18.8
イベントのできるスペース等	26.6	5.8	28.6	28.8	33.0	25.0	0.0	7.7	28.6	40.0	25.0	28.6	25.0
商店街の組織力	25.1	8.3	26.5	22.7	32.0	28.1	0.0	7.7	28.6	60.0	25.0	0.0	31.3
街区内の大型店	22.3	3.5	18.4	25.8	22.7	15.6	18.2	23.1	28.6	60.0	62.5	14.3	18.8
歴史や文化施設	20.8	3.0	24.5	24.2	22.7	15.6	0.0	0.0	42.9	40.0	37.5	14.3	18.8
ソフト事業(イベント等)の実施	19.0	2.5	24.5	13.6	26.8	18.8	18.2	0.0	28.6	40.0	0.0	0.0	18.8
駅との距離	16.2	7.5	16.3	15.2	17.5	25.0	9.1	7.7	28.6	40.0	0.0	0.0	6.3
地域との密着度	7.0	3.0	8.2	9.1	10.3	3.1	0.0	0.0	14.3	20.0	0.0	0.0	0.0
無回答	22.9	50.8	22.4	25.8	19.6	28.1	18.2	30.8	14.3	20.0	12.5	14.3	18.8

(注)複数回答

図表 175 商店街の弱み(県全体、地域・タイプ別)



図表 176 商店街の弱み(県全体、組織形態別)

(単位:%)

	県全体	繁華街	一般商店街	一般住宅街	住宅団地	駅前	駅ビル	ロードサイド	その他
回答数(n)	327	18	68	76	14	72	1	27	12
個店の後継者	44.0	55.6	54.4	51.3	50.0	45.8	100.0	40.7	41.7
行動的な若手	36.4	50.0	32.4	35.5	50.0	48.6	100.0	44.4	33.3
集客力のある商店	35.2	5.6	32.4	56.6	35.7	40.3	0.0	48.1	16.7
買い物以外のレジャー施設	34.9	44.4	36.8	30.3	35.7	48.6	100.0	40.7	33.3
PR活動や情報発信	33.9	27.8	35.3	43.4	28.6	38.9	100.0	40.7	25.0
リーダーとなる人材	30.9	33.3	22.1	42.1	50.0	36.1	100.0	40.7	16.7
Wi-Fi(ネット環境)の整備	28.1	33.3	29.4	28.9	35.7	37.5	100.0	33.3	8.3
イベントのできるスペース等	26.6	33.3	29.4	27.6	21.4	34.7	100.0	29.6	25.0
商店街の組織力	25.1	27.8	22.1	28.9	35.7	29.2	0.0	37.0	25.0
街区内の大型店	22.3	27.8	30.9	23.7	14.3	26.4	0.0	18.5	25.0
歴史や文化施設	20.8	38.9	22.1	19.7	28.6	26.4	100.0	18.5	8.3
ソフト事業(イベント等)の実施	19.0	16.7	25.0	21.1	21.4	23.6	100.0	14.8	8.3
駅との距離	16.2	5.6	17.6	32.9	28.6	2.8	0.0	25.9	16.7
地域との密着度	7.0	5.6	5.9	15.8	0.0	4.2	100.0	7.4	0.0
無回答	22.9	16.7	14.7	15.8	14.3	12.5	0.0	7.4	16.7

(注)複数回答

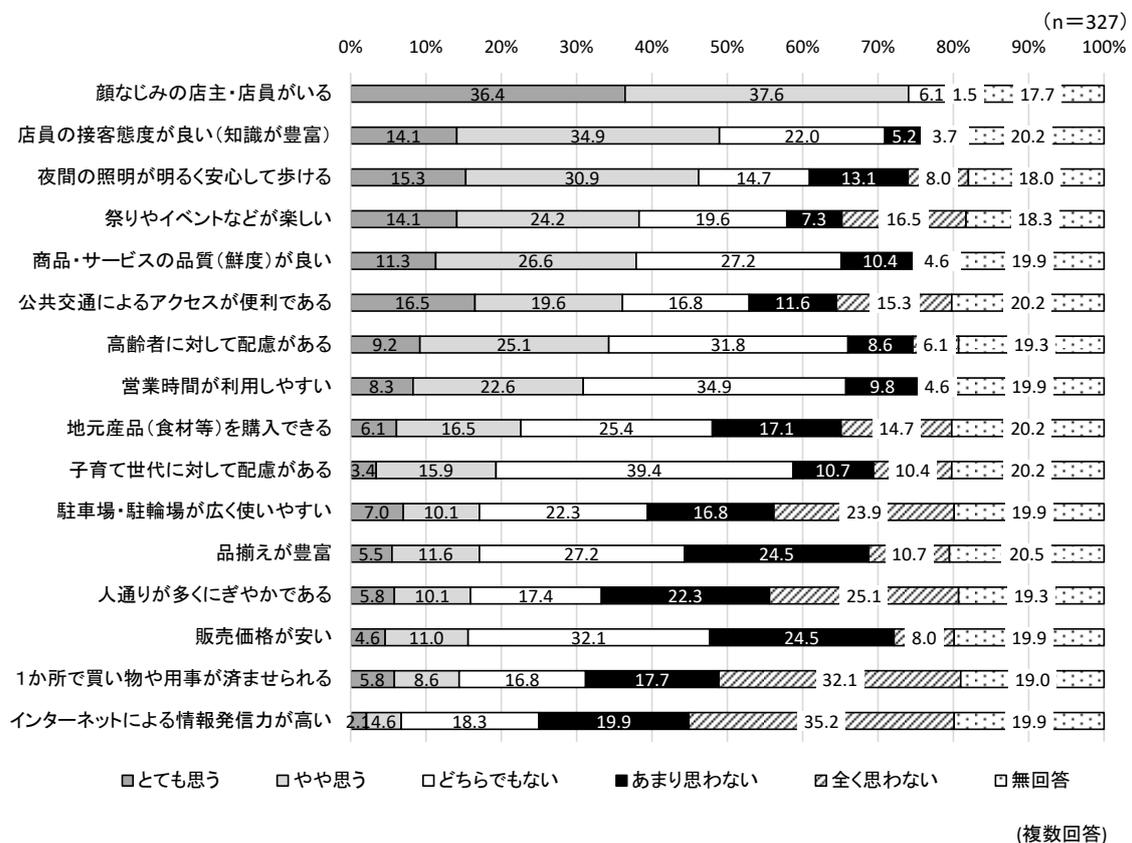
## (2)消費者が商店街で買い物する理由（問8-2）

消費者が商店街で買い物する理由は、「思う(とても思う+やや思う)」について、県全体では「顔なじみの店主・店員がいる」が74.0%で最も高く、次いで「店員の接客態度が良い(知識が豊富)」(49.0%)、「夜間の照明が明るく安心して歩ける」(46.2%)となっている。

平成29年度との比較では、「顔なじみの店主・店員がいる」が12.6ポイント減少、「店員の接客態度が良い(知識が豊富)」が9.6ポイント減少、「夜間の照明が明るく安心して歩ける」が6.4ポイント減少した。

ブロック別に見ると、「顔なじみの店主・店員がいる」について、「思う(とても思う+やや思う)」の割合が比較的高いのは、香取、夷隅、安房である。

図表 177 消費者が商店街で買い物する理由(県全体)



図表 178 消費者が商店街で買い物する理由(『思う』と『やや思う』の合計、県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4年度)	県全体 (平成29年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	327	400	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
顔なじみの店主・店員がいる	74.0	86.6	71.5	74.2	75.2	68.8	90.9	69.3	71.4	80.0	87.5	85.7	75.1
店員の接客態度が良い (知識が豊富)	49.0	58.6	46.9	48.5	49.5	40.6	72.7	46.2	42.9	60.0	75.0	57.2	50.1
夜間の照明が明るく安心して歩ける	46.2	52.6	40.8	60.6	49.5	34.4	54.6	30.8	14.3	20.0	37.5	28.6	62.6
高齢者に対して配慮がある	34.3	45.9	26.6	40.9	27.8	25.1	54.6	53.9	28.6	80.0	62.5	42.9	37.5
商品・サービスの品質(鮮度)が良い	37.9	44.5	46.9	37.9	35.0	25.1	45.5	38.5	42.9	40.0	50.0	57.2	31.3
公共交通によるアクセスが便利である	36.1	43.7	36.7	47.0	44.3	34.4	18.2	23.1	14.3	0.0	12.5	14.3	18.8
祭りやイベントなどが楽しい	38.3	37.4	34.7	39.4	39.2	34.4	54.5	23.1	28.6	80.0	75.0	42.9	18.8
営業時間が利用しやすい	30.9	32.2	32.6	30.3	30.9	31.3	27.3	30.8	28.6	40.0	12.5	42.9	25.1
地元産品(食材等)を購入できる	22.6	29.4	16.3	18.2	19.6	18.7	54.6	30.8	42.9	40.0	50.0	57.2	18.8
子育て世代に対して配慮がある	19.3	28.1	16.3	18.2	18.5	12.5	18.2	23.1	28.6	40.0	37.5	14.3	18.8
駐車場・駐輪場が広く使いやすい	17.1	25.3	24.5	16.7	12.4	37.5	18.2	15.4	14.3	20.0	12.5	0.0	0.0
品揃えが豊富	17.1	23.1	22.4	16.7	16.5	21.9	18.2	7.7	42.9	20.0	12.5	14.3	0.0
販売価格が安い	15.6	21.9	16.3	18.2	14.4	15.7	9.1	30.8	14.3	20.0	0.0	0.0	18.8
人通りが多くにぎやかである	15.9	19.3	14.3	24.2	21.7	9.4	0.0	7.7	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3
1か所で買い物や用事を済ませられる	14.4	17.5	14.3	15.2	15.5	12.5	9.1	7.7	42.9	20.0	25.0	14.3	0.0
インターネットによる情報発信力が高い	6.7	9.4	8.2	10.6	6.2	3.1	9.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	6.3

(注)各項目ごとに、「とても思う」「やや思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「まったく思わない」のうち1つを選択

### (3)利用者が商店街に望んでいると考えること(問8-3)

利用者が商店街に望んでいると考えることは、県全体では「個々の店舗の魅力アップ」が37.0%で最も高く、次いで「生鮮三品など専門店の充実」(33.6%)、「特色ある商品・品揃えの見直し」(23.9%)となっている。

平成29年度との比較では、ほとんどの項目で減少した。そのうち、「個々の店舗の魅力アップ」が15.3ポイント減少、「生鮮三品など専門店の充実」が14.4ポイント減少、「特色ある商品・品揃えの見直し」が20.2ポイント減少した。

ブロック別に見ると、「個々の店舗の魅力アップ」の割合が比較的高いのは、夷隅、君津、海匝である。

図表 179 消費者が商店街に望んでいると考えること(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4年度)	県全体 (平成29年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	327	329	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
個々の店舗の魅力アップ	37.0	52.3	36.7	33.3	39.2	31.3	36.4	53.8	0.0	40.0	62.5	0.0	62.5
生鮮三店など専門店の充実	33.6	48.0	28.6	31.8	34.0	37.5	45.5	38.5	14.3	40.0	62.5	57.1	31.3
特色ある商品・品揃えの見直し	23.9	44.1	30.6	16.7	24.7	9.4	27.3	53.8	0.0	20.0	25.0	0.0	37.5
特色を活かした魅力あるイベントの実施	15.6	18.2	18.4	18.2	15.5	6.3	9.1	15.4	42.9	20.0	12.5	14.3	6.3
明るく清潔な店づくり	15.3	22.5	14.3	16.7	18.6	12.5	27.3	0.0	14.3	40.0	0.0	0.0	18.8
駐車場・駐輪場の整備	15.0	24.3	10.2	9.1	19.6	18.8	9.1	15.4	28.6	0.0	12.5	42.9	18.8
品質・鮮度を重視した店づくり	12.5	25.2	10.2	9.1	14.4	12.5	9.1	7.7	14.3	20.0	37.5	28.6	18.8
Wi-Fi(ネット環境)の整備	11.9	2.7	12.2	13.6	13.4	0.0	0.0	15.4	0.0	20.0	25.0	28.6	6.3
修理や宅配サービスなどの充実	11.0	19.8	14.3	9.1	10.3	21.9	9.1	7.7	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5
街路灯や防犯カメラの設置	10.4	17.9	10.2	12.1	10.3	9.4	0.0	7.7	28.6	40.0	0.0	0.0	12.5
フリーマーケットや朝市などの定期開催	9.8	7.9	6.1	10.6	9.3	12.5	0.0	0.0	28.6	20.0	25.0	28.6	0.0
歩道の確保	9.2	14.3	8.2	13.6	9.3	9.4	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
ポイントカード・スタンプなどの充実	9.2	9.4	6.1	4.5	8.2	9.4	9.1	7.7	42.9	40.0	25.0	42.9	0.0
高齢者のふれあい施設や託児所の設置	8.6	16.4	8.2	12.1	7.2	12.5	0.0	0.0	0.0	40.0	12.5	0.0	6.3
トイレ・休憩所等コミュニティ施設の整備	7.6	11.2	6.1	6.1	8.2	15.6	0.0	0.0	14.3	0.0	12.5	14.3	6.3
街路のバリアフリー(段差の解消)化	6.7	10.0	4.1	10.6	8.2	0.0	9.1	0.0	14.3	0.0	12.5	0.0	0.0
接客サービスの改善	6.4	13.4	6.1	9.1	7.2	0.0	0.0	7.7	0.0	20.0	12.5	0.0	6.3
ホームページによる生活情報の発信	4.6	5.8	4.1	7.6	4.1	6.3	0.0	0.0	14.3	20.0	0.0	0.0	0.0
Wi-Fi(ネット環境)の整備	4.6	2.7	4.1	3.0	6.2	3.1	9.1	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
営業時間の延長	3.4	8.5	4.1	3.0	3.1	6.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
エコステーション等リサイクル施設の整備	1.2	1.8	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0

(注)複数回答

#### (4) 商店街に求められる公共的役割 (問 8 - 4)

商店街に求められる公共的役割は、県全体では「地域コミュニティの形成・促進」が 41.0%で最も高く、次いで「高齢者などに配慮がある環境整備」(29.4%)、「地域の防犯体制の整備・充実」(28.7%)、「高齢者の生きがいづくり活動の場の提供」(26.3%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「地域コミュニティの形成・促進」が 17.3 ポイント減少、「高齢者などに配慮がある環境整備」が 12.3 ポイント減少、「地域の防犯体制の整備・充実」が 14.3 ポイント低く、「高齢者の生きがいづくり活動の場の提供」が 14.7 ポイント減少した。

ブロック別に見ると、「地域コミュニティの形成・促進」の割合が比較的高いのは、夷隅、香取、長生である。

図表 180 商店街に求められる公共的役割(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体 (令和4年度)	県全体 (平成29年度)	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	327	300	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
地域コミュニティの形成・促進	41.0	58.3	46.9	33.3	37.1	43.8	72.7	30.8	14.3	60.0	75.0	42.9	37.5
高齢者などに配慮がある環境整備	29.4	41.7	28.6	31.8	29.9	18.8	18.2	23.1	57.1	40.0	37.5	28.6	31.3
地域の防犯体制の整備・充実	28.7	43.0	30.6	31.8	25.8	18.8	27.3	23.1	14.3	40.0	25.0	42.9	31.3
高齢者の生きがいづくり活動の場の提供	26.3	41.0	18.4	28.8	27.8	25.0	27.3	30.8	14.3	60.0	25.0	28.6	18.8
農商工連携など地域産業との連携	17.4	23.0	20.4	16.7	14.4	25.0	9.1	23.1	0.0	20.0	50.0	14.3	6.3
子育て世代への支援	15.9	25.3	10.2	19.7	14.4	18.8	9.1	0.0	14.3	40.0	25.0	28.6	6.3
災害に強い地域防災体制の構築	13.8	15.3	6.1	22.7	10.3	15.6	9.1	23.1	0.0	0.0	0.0	28.6	12.5
地域人材の育成や社会教育の場	13.5	17.3	10.2	16.7	12.4	9.4	0.0	7.7	14.3	20.0	12.5	28.6	12.5
環境問題への取組	8.6	6.7	8.2	9.1	6.2	15.6	0.0	7.7	14.3	0.0	12.5	14.3	6.3

(注)複数回答

## 9. キャッシュレス決済・DXへの取組状況

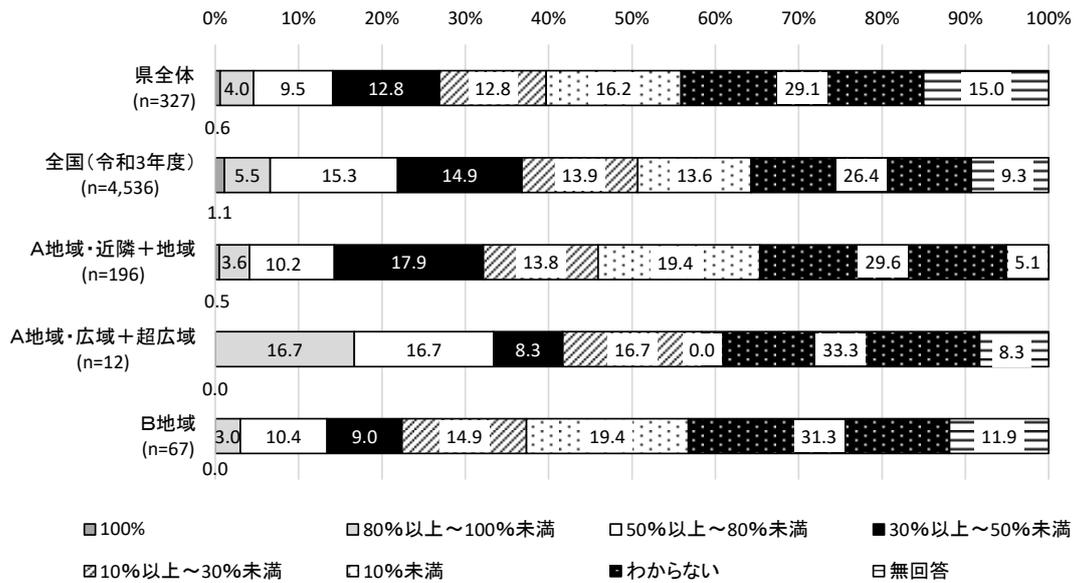
### (1) キャッシュレス決済の導入割合 (問9-1)

商店街におけるキャッシュレス決済の導入割合は、県全体では 50%以上の割合(「100%」、「80%以上～100%未満」、「50%以上～80%未満」の合計)が 14.1%であった。

全国(令和3年度)の比較では、50%以上の割合が 7.8%下回っている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域で 50%以上の割合が 33.4%と比較的高い。

図表 181 キャッシュレス決済の導入割合(県全体、地域・タイプ別)



### (2) キャッシュレス決済の導入状況 (問9-2)

商店街におけるキャッシュレス決済の導入状況は、県全体では「導入が進んでいる」が 18.7%、「導入が進んでいない」が 65.1%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「導入が進んでいる」が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「導入が進んでいる」が比較的高いのは、千葉、山武、長生、夷隅である。

組織形態別に見ると、「導入が進んでいる」が比較的高いのは、任意団体である。

立地環境別に見ると、「導入が進んでいる」が比較的高いのは、繁華街、駅前である。

図表 182 キャッシュレス決済の導入割合(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

		回答数 (n)	導入が 進んでいる	導入が進ん でいない	無回答	
令和4年度	県全体	327	18.7	65.1	16.2	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	18.9	64.8	16.4
		うち近隣+地域	196	17.9	77.0	5.1
		うち広域+超広域	12	75.0	16.7	8.3
	B地域計	67	19.4	67.2	13.4	
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	49	26.5	53.1	20.4
		葛南	66	13.6	68.2	18.2
		東葛飾	97	18.6	68.0	13.4
		印旛	32	18.8	65.6	15.6
	B地域	香取	11	18.2	72.7	9.1
		海匝	13	15.4	61.5	23.1
		山武	7	28.6	42.9	28.6
		長生	5	40.0	40.0	20.0
		夷隅	8	25.0	75.0	0.0
		安房	7	0.0	85.7	14.3
		君津	16	18.8	75.0	6.3
組 織 形 態	振興組合	51	13.7	70.6	15.7	
	協同組合	22	18.2	54.5	27.3	
	任意団体	228	21.9	68.9	9.2	
立 地 環 境	繁華街	18	38.9	50.0	11.1	
	一般商店街	68	16.2	82.4	1.5	
	一般住宅街	76	11.8	76.3	11.8	
	住宅団地	14	0.0	92.9	7.1	
	駅前	72	38.9	54.2	6.9	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	88.9	0.0	
	その他	12	25.0	75.0	0.0	

### (3)キャッシュレス決済の導入に向けた取組（問9-3）

---

商店街におけるキャッシュレス決済の導入に向けた取組は、県全体では「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が32.8%で最も高く、次いで「決済事業者との包括契約締結による手数料軽減」(11.5%)、「補助金等の財政的支援の活用」(9.8%)となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が33.1ポイント下回っており、「決済事業者との包括契約締結による手数料軽減」が2.6ポイント下回っている。「補助金等の財政的支援の活用」が9.1ポイント下回っている。

地域・タイプ別に見ると、「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が比較的高いのは、A地域・近隣+地域である。「決済事業者との包括契約締結による手数料軽減」が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が比較的高いのは、君津、香取、長生、千葉、葛南である。

組織形態別に見ると、「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が比較的高いのは、任意団体である。

立地環境別に見ると、「各個店への決済事業者の紹介・あっせん」が比較的高いのは、一般商店街である。

図表 183 キャッシュレス決済の導入に向けた取組  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	各個店への決済事業者の紹介・あっせん	決済事業者との包括契約締結による手数料軽減	補助金等の財政的支援の活用	決済用端末の一括購入・貸出し	その他	無回答	
令和4年度	県全体	61	32.8	11.5	9.8	8.2	37.7	14.8	
令和3年度	全国(参考)	935	65.9	14.1	18.9	13.2	10.7	-	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	46	34.8	6.5	8.7	4.3	41.3	13.0
		うち近隣+地域	35	37.1	5.7	11.4	5.7	37.1	11.4
		うち広域+超広域	9	22.2	11.1	0.0	0.0	66.7	11.1
	B地域計		13	30.8	23.1	15.4	15.4	23.1	23.1
ブロック	A地域	千葉	13	46.2	7.7	15.4	7.7	23.1	15.4
		葛南	9	44.4	0.0	22.2	0.0	44.4	0.0
		東葛飾	18	33.3	11.1	0.0	5.6	33.3	22.2
		印旛	6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	B地域	香取	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
		海匝	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
		山武	2	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
		長生	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
		夷隅	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
		安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3		
組織形態	振興組合	7	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	
	協同組合	4	0.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	
	任意団体	50	36.0	8.0	10.0	6.0	38.0	14.0	
立地環境	繁華街	7	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	57.1	
	一般商店街	11	54.5	0.0	0.0	0.0	36.4	9.1	
	一般住宅街	9	33.3	22.2	22.2	11.1	44.4	0.0	
	住宅団地	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	28	28.6	14.3	7.1	7.1	39.3	14.3	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	
	その他	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	

(注)複数回答。問9-2で「導入が進んでいる」と回答した商店街が対象

#### (4)キャッシュレス決済の導入による効果 (問9-4)

商店街におけるキャッシュレス決済の導入による効果は、県全体では「現金管理の手間の削減」が41.0%で最も高く、次いで「売上の拡大」(29.5%)、「従業員による売上現金紛失等のトラブル減少」(23.0%)となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「現金管理の手間の削減」が5.1ポイント低く、「売上の拡大」が2.7ポイント高い。「従業員による売上現金紛失等のトラブル減少」が8.3ポイント高い。

地域・タイプ別に見ると、「生産性向上の効果は感じていない」が比較的高いのは、B地域である。

ブロック別に見ると、大きな差異は見られなかった。

組織形態別に見ると、「現金管理の手間の削減」が比較的高いのは、協同組合である。

立地環境別に見ると、「現金管理の手間の削減」、「売上の拡大」が比較的高いのは、駅前である。

図表 184 キャッシュレス決済の導入による効果  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	現金管理 の手間の 削減	売上の拡 大	従業員に よる売上 現金紛失 等のトラブ ル減少	購買情報 利活用によるマーケ ティング等	その他	生産性向 上の効果 は感じて いない	無回答	
令和4年度	県全体	61	41.0	29.5	23.0	6.6	6.6	23.0	13.1	
令和3年度	全国	939	46.1	26.8	14.7	8.7	49.8	17.7	-	
地域・ タイプ	A 地域	A地域計	46	41.3	28.3	26.1	4.3	8.7	15.2	15.2
		うち近隣+地域	35	42.9	31.4	31.4	5.7	5.7	17.1	14.3
		うち広域+超広域	9	33.3	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1
	B地域計		13	38.5	30.8	7.7	7.7	0.0	46.2	7.7
ブ ロ ッ ク	A 地域	千葉	13	46.2	30.8	38.5	0.0	0.0	15.4	23.1
		葛南	9	44.4	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1
		東葛飾	18	44.4	27.8	22.2	5.6	5.6	16.7	16.7
		印旛	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0
	B 地域	香取	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		海匠	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
		山武	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
		夷隅	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
		安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		
組 織 形 態	振興組合	7	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	
	協同組合	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	任意団体	50	38.0	30.0	26.0	8.0	6.0	24.0	14.0	
立 地 環 境	繁華街	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	
	一般商店街	11	36.4	18.2	36.4	0.0	0.0	27.3	9.1	
	一般住宅街	9	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	
	住宅団地	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	28	46.4	35.7	25.0	7.1	7.1	14.3	14.3	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	
	その他	3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	

(注)複数回答。問9-2で「導入が進んでいる」と回答した商店街が対象

### (5)キャッシュレス決済の導入が進まない要因 (問9-5)

商店街におけるキャッシュレスの導入が進まない要因は、県全体では「キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担」が 47.4%で最も高く、次いで「端末等の操作・利用方法が難しい」(37.1%)、「決済用端末の購入・リース費用負担」(33.3%)、「費用対効果がよくわからない」(30.0%)となっている。

全国(令和3年度)との比較では、「キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担」が 0.4 ポイント高く、「端末等の操作・利用方法が難しい」が 4.9 ポイント高く、「決済用端末の購入・リース費用負担」が 3.0 ポイント高く、「費用対効果がよくわからない」が 1.0 ポイント高い。

地域・タイプ別に見ると、「端末等の操作・利用方法が難しい」が比較的高いのは、B 地域である。

ブロック別に見ると、「キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担」が比較的高いのは、夷隅、葛南、千葉である。

組織形態別に見ると、「キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担」の割合が比較的高いのは、振興組合、協同組合である。

立地環境別に見ると、「キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担」が 64.1%と比較的高いのは、駅前である。

図表 185 キャッシュレス決済の導入が進まない要因  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	キャッシュレス決済に伴う追加的な手数料負担	端末等の操作・利用方法が難しい	決済用端末の購入・リース費用負担	費用対効果がよくわからない	ICカード等を持っている利用客が少ない	その他	特に要因となっていない	無回答	
令和4年度	県全体	213	47.4	37.1	33.3	30.0	23.0	12.2	15.5	2.3	
令和3年度	全国	3,968	47.0	32.2	30.3	29.0	20.1	10.7	19.6	-	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	158	50.0	35.4	34.2	31.6	22.2	10.8	15.2	2.5
		うち近隣+地域	151	50.3	33.8	34.4	32.5	21.2	10.6	14.6	2.6
		うち広域+超広域	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0
		B地域計	45	40.0	48.9	31.1	22.2	24.4	17.8	13.3	2.2
ブロック	A地域	千葉	26	57.7	34.6	46.2	34.6	11.5	11.5	7.7	0.0
		葛南	45	60.0	40.0	28.9	26.7	24.4	6.7	20.0	4.4
		東葛飾	66	45.5	31.8	36.4	31.8	22.7	13.6	10.6	1.5
		印旛	21	33.3	38.1	23.8	38.1	28.6	9.5	28.6	4.8
	B地域	香取	8	50.0	50.0	25.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
		海匝	8	50.0	62.5	62.5	37.5	25.0	0.0	25.0	0.0
		山武	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
		長生	2	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	6	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
		安房	6	33.3	33.3	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	君津	12	25.0	33.3	25.0	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	
組織形態	振興組合	36	63.9	38.9	30.6	41.7	25.0	8.3	11.1	0.0	
	協同組合	12	58.3	41.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	
	任意団体	157	43.3	35.0	34.4	29.9	23.6	12.7	17.2	3.2	
立地環境	繁華街	9	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	
	一般商店街	56	53.6	42.9	41.1	28.6	23.2	12.5	16.1	0.0	
	一般住宅街	58	37.9	43.1	34.5	29.3	17.2	13.8	20.7	1.7	
	住宅団地	13	38.5	15.4	23.1	15.4	30.8	7.7	23.1	0.0	
	駅前	39	64.1	33.3	38.5	33.3	25.6	7.7	5.1	2.6	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	24	41.7	25.0	25.0	41.7	20.8	16.7	20.8	4.2	
	その他	9	33.3	44.4	22.2	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	

(注)複数回答。問9-2で「導入が進んでいない」と回答した商店街が対象

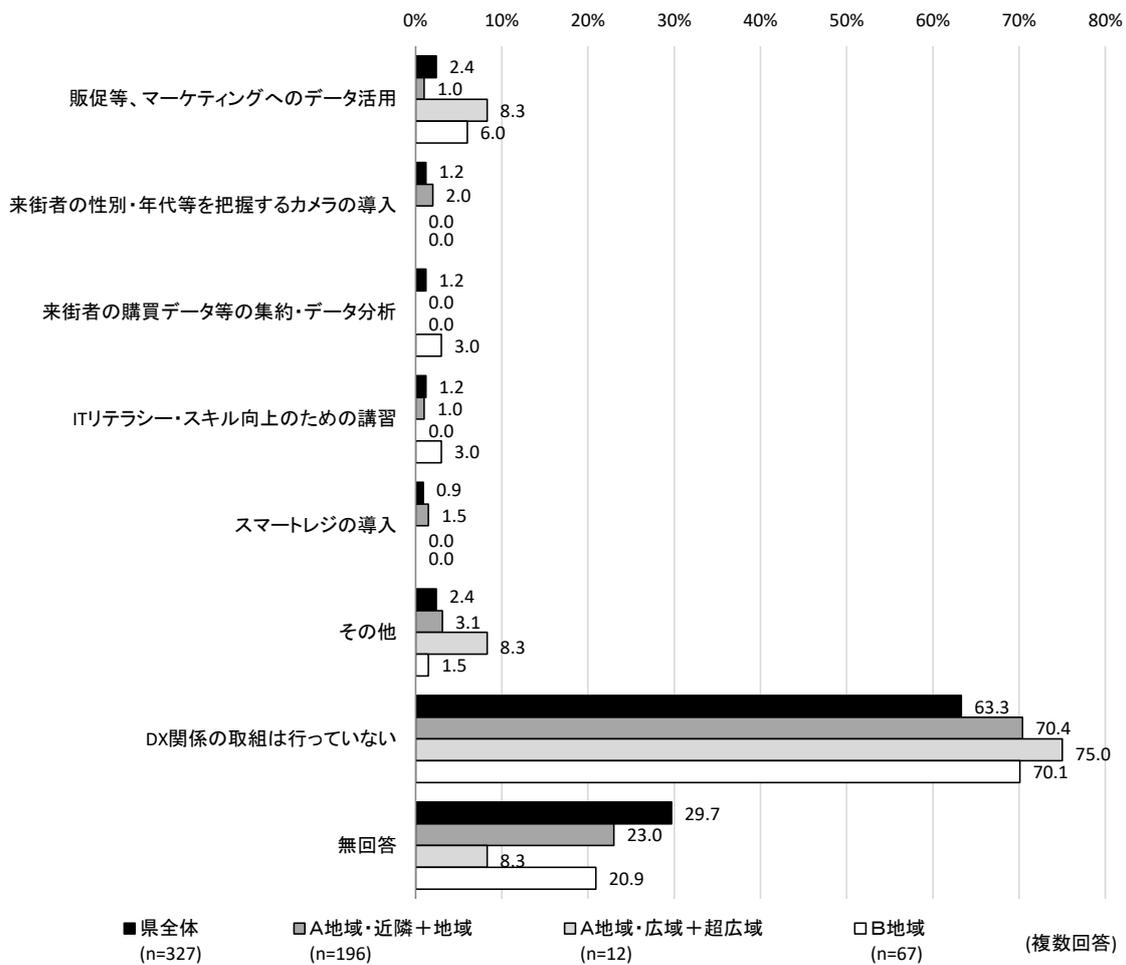
## (6) DX実現のために取り組んでいること（問9-6）

キャッシュレス決済のほかに生産性向上のためのDXを実現するために取り組んでいることを聞いたところ、県全体では「DX関係の取組は行っていない」とする回答が63.3%と突出して多かった。

取り組んでいることとしては、「販促等、マーケティングへのデータ活用」が2.4%で最も高い。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域は、「DX関係の取組は行っていない」の割合が75.0%で最も低い。

図表 186 DX実現のために取り組んでいること(県全体、地域・タイプ別)



## 10. 商店街の問題及び個店の活性化について

### (1) 商店街が直面している問題点（問 10- 1）

商店街が直面している問題点は、県全体では「後継者難」が 58.1%で最も高く、次いで「非商店が多いため商店街が断続的になっている」(27.8%)、「商圈人口の減少」(26.0%)、「リーダーの不在」(23.2%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「後継者難」が 4.9 ポイント減少、「非商店が多いため商店街が断続的になっている」が 1.2 ポイント減少、「商圈人口の減少」が 4.8 ポイント減少、「リーダーの不在」が 2.2 ポイント増加、「店舗の老朽化・陳腐化が著しい」が 3.2 ポイント減少、「業種構成に問題がある」が 0.5 ポイント減少、「空き店舗の増加」が 1.1 ポイント減少した。

地域・タイプ別に見ると、「非商店が多いため商店街が断続的になっている」が比較的高いのは、A 地域・近隣＋地域である。「リーダーの不在」、「店舗の老朽化・陳腐化が著しい」、「業種構成に問題がある」が比較的高いのは、A 地域・広域＋超広域である。「後継者難」、「商圈人口の減少」、「空き店舗の増加」が比較的高いのは、B 地域である。

ブロック別に見ると、「後継者難」の割合が比較的高いのは、夷隅、安房、君津である。「非商店が多いため商店街が断続的になっている」の割合が比較的高いのは、君津、長生、葛南、東葛飾である。「商圈人口の減少」の割合が比較的高いのは、夷隅、海匝、香取、君津、安房、長生である。「リーダーの不在」の割合が比較的高いのは、君津、葛南である。「店舗の老朽化・陳腐化が著しい」の割合が比較的高いのは、長生、香取、山武である。「業種構成に問題がある」の割合が比較的高いブロックは見られなかった。「空き店舗の増加」の割合が比較的高いのは、夷隅、海匝である。

立地環境別に見ると、「後継者難」の割合が比較的高いのは、ロードサイド、一般住宅街である。「非商店が多いため商店街が断続的になっている」の割合が比較的高いのは、一般商店街である。「商圈人口の減少」の割合が比較的高いのは、一般商店街、ロードサイドである。「リーダーの不在」の割合が比較的高いのは、ロードサイド、一般住宅街である。「店舗の老朽化・陳腐化が著しい」の割合が比較的高いのは、住宅団地である。「業種構成に問題がある」の割合が比較的高いのは、駅前である。「空き店舗の増加」の割合が比較的高いのは、一般商店街である。

図表 187 商店街が直面している問題点(県全体、地域・タイプ別)

(単位:%)

	令和4年度	平成29年度	A地域			B地域
	県全体	県全体	A地域計	うち 近隣+ 地域	うち 広域+ 超広域	B地域計
回答数(n)	327	400	244	196	12	67
後継者難	58.1	63.0	56.6	63.3	50.0	64.2
非商店が多いため商店街が断続的になっている	27.8	29.0	30.7	35.2	16.7	23.9
商圈人口の減少	26.0	30.8	19.3	21.4	33.3	49.3
リーダーの不在	23.2	21.0	25.4	28.1	33.3	17.9
店舗の老朽化・陳腐化が著しい	22.6	25.8	19.7	21.9	33.3	32.8
業種構成に問題がある	22.0	22.5	26.2	28.6	33.3	10.4
空き店舗の増加	21.7	22.8	19.3	21.4	8.3	32.8
大型店にお客をとられている	18.0	25.3	16.4	19.9	0.0	23.9
全般に店舗規模が過小	16.8	20.5	15.6	18.4	16.7	22.4
無回答	14.1	14.3	14.3	4.1	8.3	10.4
駐車場がない	13.8	15.8	13.9	16.3	0.0	11.9
商店街のまとまりが悪い	10.7	16.5	11.9	13.3	8.3	7.5
ネット販売・通販との競合	10.1	7.3	9.4	9.7	33.3	13.4
店舗の配列に問題がある	7.3	9.8	9.4	11.7	0.0	1.5
労働力不足と人件費増大	6.1	4.3	6.1	7.1	8.3	6.0
交通機関の便が悪い	4.6	4.5	3.3	4.1	0.0	6.0
駐輪場がない	4.3	4.0	5.3	6.1	0.0	1.5
大型店の撤退によって顧客吸引力が減少	3.4	6.3	3.3	4.1	0.0	4.5

(注)複数回答

図表 188 商店街が直面している問題点(県全体、ブロック別)

(単位:%)

	県全体	千葉	葛南	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津
回答数(n)	327	49	66	97	32	11	13	7	5	8	7	16
後継者難	58.1	49.0	62.1	56.7	56.3	63.6	53.8	57.1	40.0	75.0	85.7	68.8
非商店が多いため商店街が断続的になっている	27.8	20.4	36.4	35.1	21.9	27.3	23.1	14.3	40.0	0.0	0.0	43.8
商圈人口の減少	26.0	22.4	16.7	20.6	15.6	54.5	69.2	0.0	40.0	75.0	42.9	43.8
リーダーの不在	23.2	18.4	33.3	24.7	21.9	18.2	7.7	0.0	20.0	0.0	28.6	37.5
店舗の老朽化・陳腐化が著しい	22.6	14.3	19.7	23.7	15.6	54.5	23.1	42.9	60.0	25.0	0.0	31.3
業種構成に問題がある	22.0	14.3	28.8	29.9	28.1	0.0	7.7	14.3	20.0	12.5	14.3	12.5
空き店舗の増加	21.7	16.3	21.2	16.5	28.1	27.3	38.5	28.6	20.0	50.0	28.6	31.3
大型店にお客をとられている	18.0	22.4	15.2	15.5	12.5	27.3	15.4	14.3	0.0	25.0	57.1	25.0
全般に店舗規模が過小	16.8	16.3	15.2	19.6	3.1	45.5	23.1	0.0	20.0	12.5	0.0	31.3
無回答	14.1	20.4	15.2	10.3	15.6	9.1	23.1	14.3	20.0	0.0	14.3	0.0
駐車場がない	13.8	18.4	12.1	15.5	6.3	9.1	15.4	0.0	0.0	25.0	28.6	6.3
商店街のまとまりが悪い	10.7	16.3	10.6	12.4	6.3	9.1	0.0	14.3	20.0	0.0	0.0	12.5
ネット販売・通販との競合	10.1	16.3	6.1	7.2	12.5	18.2	0.0	14.3	0.0	25.0	28.6	12.5
店舗の配列に問題がある	7.3	4.1	13.6	7.2	15.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
労働力不足と人件費増大	6.1	6.1	4.5	8.2	3.1	9.1	7.7	14.3	20.0	0.0	0.0	0.0
交通機関の便が悪い	4.6	4.1	3.0	2.1	6.3	18.2	0.0	0.0	20.0	12.5	0.0	0.0
駐輪場がない	4.3	2.0	7.6	6.2	3.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大型店の撤退によって顧客吸引力が減少	3.4	6.1	3.0	3.1	0.0	0.0	7.7	0.0	20.0	0.0	0.0	6.3

(注)複数回答

図表 189 商店街が直面している問題点(県全体、立地環境別)

(単位:%)

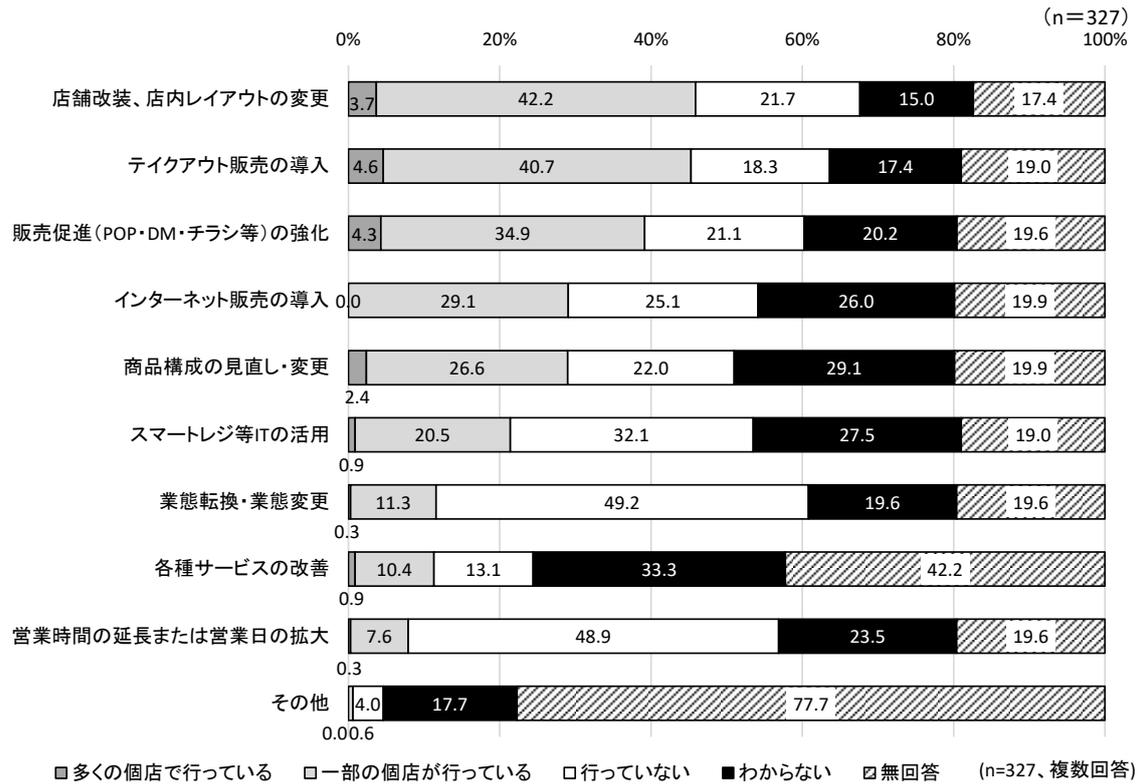
	県全体	繁華街	一般商店街	一般住宅街	住宅団地	駅前	駅ビル	ロードサイド	その他
回答数(n)	327	18	68	76	14	72	1	27	12
後継者難	58.1	55.6	64.7	71.1	35.7	58.3	0.0	77.8	83.3
非商店が多いため商店街が断続的になっている	27.8	16.7	38.2	32.9	35.7	25.0	0.0	37.0	16.7
商圈人口の減少	26.0	22.2	41.2	23.7	35.7	20.8	0.0	40.7	33.3
リーダーの不在	23.2	22.2	11.8	34.2	28.6	27.8	0.0	44.4	0.0
店舗の老朽化・陳腐化が著しい	22.6	11.1	26.5	22.4	42.9	29.2	0.0	18.5	33.3
業種構成に問題がある	22.0	11.1	23.5	25.0	28.6	33.3	0.0	14.8	16.7
空き店舗の増加	21.7	27.8	32.4	17.1	21.4	27.8	0.0	11.1	25.0
大型店にお客をとられている	18.0	11.1	19.1	27.6	28.6	13.9	0.0	14.8	16.7
全般に店舗規模が過小	16.8	5.6	16.2	18.4	21.4	23.6	0.0	11.1	50.0
無回答	14.1	5.6	2.9	6.6	7.1	4.2	100.0	0.0	0.0
駐車場がない	13.8	5.6	13.2	10.5	0.0	23.6	0.0	18.5	16.7
商店街のまとまりが悪い	10.7	22.2	7.4	17.1	14.3	9.7	0.0	7.4	8.3
ネット販売・通販との競合	10.1	5.6	11.8	3.9	0.0	19.4	0.0	22.2	8.3
店舗の配列に問題がある	7.3	11.1	7.4	7.9	7.1	12.5	0.0	0.0	8.3
労働力不足と人件費増大	6.1	22.2	4.4	5.3	21.4	5.6	0.0	0.0	0.0
交通機関の便が悪い	4.6	0.0	7.4	5.3	0.0	1.4	0.0	11.1	16.7
駐輪場がない	4.3	5.6	2.9	5.3	0.0	6.9	0.0	7.4	0.0
大型店の撤退によって顧客吸引力が減少	3.4	5.6	5.9	1.3	7.1	4.2	0.0	0.0	8.3

(注)複数回答

## (2) 商店街の個店の改善・活性化策の実施状況（問 10-2）

商店街の個店の改善・活性化策の実施状況は、「行っている(多くの個店で行っている＋一部の個店で行っている)」について、「店舗改装、店内レイアウトの変更」が 45.9%で最も高く、次いで「テイクアウト販売の導入」(45.3%)、「販売促進(POP・DM・チラシ等)の強化」(39.2%)となっている。

図表 190 商店街の個店の改善・活性化策の実施状況(県全体)



## 11. 外国人旅行者対策

### (1)外国人旅行者向けの取組（問 11- 1）

外国人旅行者をターゲットとした取組は、県全体では「行っている」が 2.4%、「行っていない」が 81.7%となっている。

地域・タイプ別に見ると、「行っている」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣＋地域である。

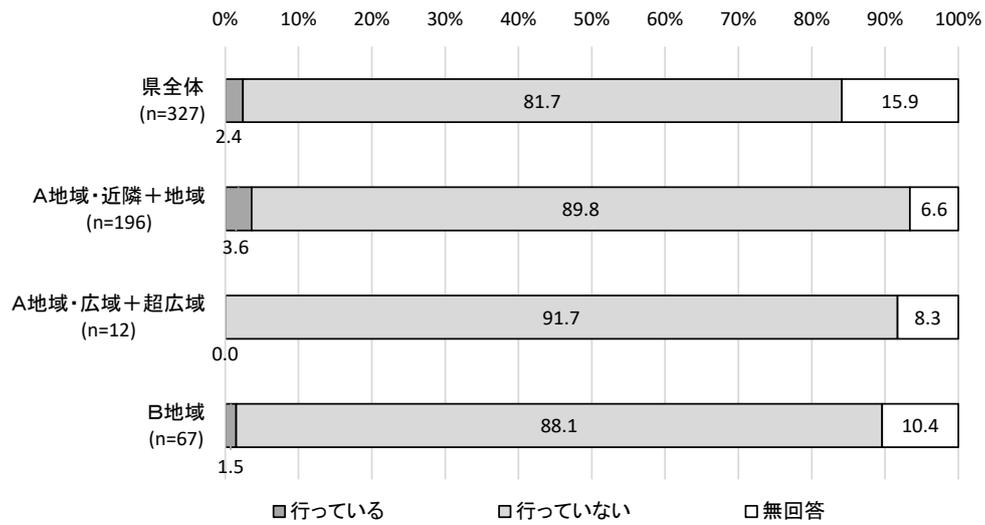
ブロック別に見ると、「行っている」と回答した団体があつたのは、千葉、葛南、東葛飾、印旛、夷隅である。

図表 191 外国人旅行者対策(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数(n)	行っている	行っていない	無回答	
令和4年度	県全体	327	2.4	81.7	15.9	
平成29年度	県全体	400	2.5	82.3	15.3	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	244	2.9	80.3	16.8
		うち近隣＋地域	196	3.6	89.8	6.6
		うち広域＋超広域	12	0.0	91.7	8.3
	B地域計	67	1.5	88.1	10.4	
ブロック	A地域	千葉	49	2.0	79.6	18.4
		葛南	66	3.0	77.3	19.7
		東葛飾	97	2.1	83.5	14.4
		印旛	32	6.3	78.1	15.6
	B地域	香取	11	0.0	90.9	9.1
		海匝	13	0.0	76.9	23.1
		山武	7	0.0	85.7	14.3
		長生	5	0.0	80.0	20.0
		夷隅	8	12.5	87.5	0.0
		安房	7	0.0	85.7	14.3
君津	16	0.0	100.0	0.0		
組織形態	振興組合	51	2.0	84.3	13.7	
	協同組合	22	4.5	68.2	27.3	
	任意団体	228	2.6	88.6	8.8	
立地環境	繁華街	18	0.0	94.4	5.6	
	一般商店街	68	4.4	94.1	1.5	
	一般住宅街	76	1.3	88.2	10.5	
	住宅団地	14	0.0	85.7	14.3	
	駅前	72	2.8	90.3	6.9	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	7.4	92.6	0.0	
	その他	12	0.0	100.0	0.0	

図表 192 外国人旅行者対策(県全体、地域・タイプ別)



## (2)外国人旅行者向けの取組の内容 (問 11-2)

外国人旅行者をターゲットとした取組の内容は、「Wi-Fi(ネット環境)の整備」(62.5%)、「メニューや対応等の多言語化対策」、「銀聯カード対応」(25.0%)、「多言語案内板の設置」、「商店街多言語マップの作成」、「多言語ホームページ等による情報発信」、「語学研修」(12.5%)である。

図表 193 外国人旅行者向けの取組の内容  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	Wi-Fi(ネット環境)の整備	メニューや 応対等の 多言語化 対策	銀聯カード 対応	多言語案 内板の設 置	商店街多 言語マップ の作成	多言語 ホーム ページ等 による情報 発信	語学研修
令和4年度	県全体	8	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
地域 タイプ	A地域	A地域計	7	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3
		うち近隣+地域	7	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3
		うち広域+超広域	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		B地域計	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ブロック	A地域	千葉	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		葛南	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
		東葛飾	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
		印旛	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	B地域	香取	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		海匝	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		山武	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		君津	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
組織 形態	振興組合	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	協同組合	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	任意団体	6	50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	
立地 環境	繁華街	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	
	一般住宅街	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	住宅団地	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注)複数回答。問11-1で「行っている」と回答した商店街が対象

### (3)外国人旅行者向けの取組を行わない理由（問 11- 3）

外国人旅行者をターゲットとした取組を行っていない理由は、県全体では「外国人旅行者が来ていないため」が 67.8%で最も高く、次いで「必要性を感じないため」(53.9%)、「何から手をつけたらよいかわからないため」(12.0%)などとなっている。

平成 29 年度との比較では、「外国人旅行者が来ていないため」は 15.8 ポイント増、「必要性を感じないため」は 10.7 ポイント増、「何から手をつけたらよいかわからないため」は 4.7 ポイント現となっている。

地域・タイプ別に見ると、「必要性を感じないため」の割合が比較的高いのは、A地域・広域＋超広域である。

図表 194 外国人旅行者向けの取組を行わない理由  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位：%)

		回答数 (n)	外国人旅行者 が来ていない ため	必要性を 感じないた め	何から手をつ けたらよいか わからないた め	行政からの支 援が小さい(な い)ため	取組費用が かかるため	無回答	
令和4年度	県全体	267	67.8	53.9	12.0	2.6	2.2	1.5	
平成29年度	県全体	329	52.0	43.2	16.7	6.4	6.7	1.8	
タ地域 ブ・	A地域	A地域計	196	68.4	56.6	11.2	2.6	3.1	1.5
		うち近隣＋地域	176	69.3	55.7	11.9	2.3	2.8	1.1
		うち広域＋超広域	11	54.5	72.7	0.0	9.1	9.1	0.0
		B地域計	59	64.4	47.5	15.3	3.4	0.0	1.7
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	39	74.4	56.4	17.9	7.7	10.3	5.1
		葛南	51	66.7	64.7	7.8	2.0	2.0	0.0
		東葛飾	81	69.1	54.3	7.4	1.2	1.2	1.2
		印旛	25	60.0	48.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	B地域	香取	10	70.0	50.0	20.0	10.0	0.0	0.0
		海匝	10	70.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0
		山武	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
		長生	4	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	7	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3
		安房	6	100.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	君津	16	50.0	68.8	6.3	0.0	0.0	0.0	
形 組 態 織	振興組合	43	69.8	51.2	16.3	2.3	0.0	0.0	
	協同組合	15	73.3	46.7	0.0	6.7	13.3	0.0	
	任意団体	202	68.3	54.0	12.4	2.5	2.0	2.0	
立 地 環 境	繁華街	17	64.7	41.2	23.5	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	64	70.3	56.3	9.4	1.6	3.1	1.6	
	一般住宅街	67	70.1	64.2	11.9	3.0	3.0	1.5	
	住宅団地	12	58.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	65	67.7	47.7	15.4	4.6	3.1	0.0	
	駅ビル	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	25	60.0	48.0	12.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注)複数回答。問11-1で「行っていない」と回答した商店街が対象

## 12. 他の団体との連携

### (1)他の団体との連携状況（問 12- 1）

他の団体との連携の状況は、県全体では「連携している」が 34.3%、「連携していないが、必要性を感じている」が 14.4%、「連携していないし、必要性も感じていない」が 36.4%となっている。「連携していないと回答した商店街の割合（「連携していないが、必要性を感じている」と「連携していないし、必要性も感じていない」の合計）は、50.8%である。

平成 29 年度との比較では、「連携している」は 4.3 ポイント増、「連携していない」は 5.5 ポイント減となっている。

地域・タイプ別に見ると、「連携している」の割合が比較的高いのはA地域・広域＋超広域である。

ブロック別に見ると、「連携している」の割合が比較的高いのは香取、長生、夷隅、安房である。

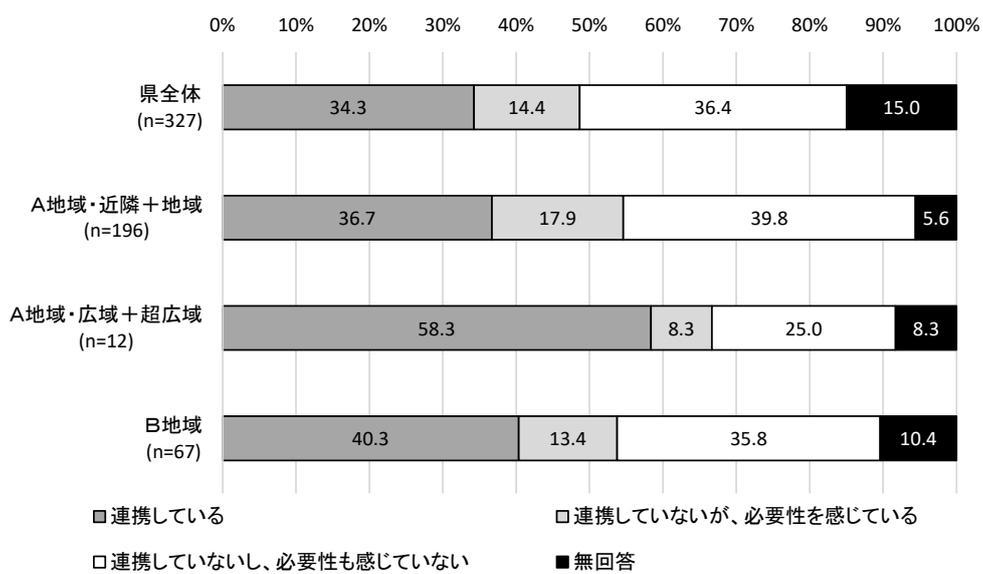
立地環境別に見ると、「連携している」の割合が比較的高いのは繁華街、駅ビルである。

図表 195 他の団体との連携状況(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	連携している	連携していないが、必要性を感じている		連携していない	無回答	
				連携していないが、必要性を感じている	連携していないし、必要性も感じていない			
令和4年度	県全体	327	34.3	14.4	36.4	50.8	15.0	
平成29年度	県全体	400	30.0	18.0	38.3	56.3	13.8	
地域・タイプ	A地域	A地域計	244	33.2	14.8	36.5	51.3	15.6
		うち近隣+地域	196	36.7	17.9	39.8	57.7	5.6
		うち広域+超広域	12	58.3	8.3	25.0	33.3	8.3
		B地域計	67	40.3	13.4	35.8	49.2	10.4
ブロック	A地域	千葉	49	30.6	12.2	38.8	51.0	18.4
		葛南	66	33.3	13.6	34.8	48.4	18.2
		東葛飾	97	39.2	15.5	33.0	48.5	12.4
		印旛	32	18.8	18.8	46.9	65.7	15.6
	B地域	香取	11	54.5	9.1	27.3	36.4	9.1
		海匝	13	7.7	23.1	46.2	69.3	23.1
		山武	7	14.3	28.6	42.9	71.5	14.3
		長生	5	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0
		夷隅	8	62.5	12.5	25.0	37.5	0.0
		安房	7	57.1	0.0	28.6	28.6	14.3
	君津	16	43.8	12.5	43.8	56.3	0.0	
組織形態	振興組合	51	35.3	27.5	25.5	53.0	11.8	
	協同組合	22	40.9	13.6	22.7	36.3	22.7	
	任意団体	228	36.8	12.7	42.1	54.8	8.3	
立地環境	繁華街	18	61.1	5.6	27.8	33.4	5.6	
	一般商店街	68	41.2	11.8	44.1	55.9	2.9	
	一般住宅街	76	31.6	7.9	53.9	61.8	6.6	
	住宅団地	14	7.1	21.4	64.3	85.7	7.1	
	駅前	72	45.8	29.2	18.1	47.3	6.9	
	駅ビル	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	29.6	22.2	48.1	70.3	0.0	
	その他	12	50.0	16.7	33.3	50.0	0.0	

図表 196 他の団体との連携の状況(県全体、地域・タイプ別)



## (2)連携している（連携したい）団体（問 12-2）

連携している（連携したい）団体は、県全体では「商工会・商工会議所」が 68.6%で最も高く、次いで「商店街連合会」（50.9%）、「他の商店街」（49.7%）、「市町村等の行政機関」（35.2%）などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「商工会・商工会議所」の割合が比較的高いのは B 地域である。「他の商店街」の割合が比較的高いのは A 地域・広域＋超広域である。「市町村等の行政機関」の割合が比較的高いのは B 地域である。

図表 197 連携している（連携したい）団体  
（県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別）

（単位：％）

		回答数 (n)	商工 会・商 工会議 所	商店街 連合会	他の商 店街	市町村 等の行 政機関	NPO法 人	大学・ 短期大 学	高校・ 高等専 門学校	民間企 業	社会福 祉法人	専門学 校	無回答	
令和4年度	県全体	159	68.6	50.9	49.7	35.2	18.9	18.2	11.3	8.2	6.9	4.4	1.3	
タ地 域・ ブ	A 地域	A地域計	117	63.2	53.8	52.1	31.6	19.7	19.7	12.8	8.5	7.7	5.1	1.7
		うち近隣＋地域	107	63.6	55.1	50.5	33.6	19.6	19.6	13.1	8.4	8.4	5.6	1.9
		うち広域＋超広域	8	62.5	37.5	62.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
		B地域計	36	86.1	41.7	36.1	47.2	13.9	11.1	5.6	8.3	2.8	0.0	0.0
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	21	61.9	52.4	42.9	28.6	14.3	28.6	9.5	14.3	4.8	4.8	0.0
		葛南	31	67.7	51.6	54.8	35.5	35.5	19.4	6.5	9.7	9.7	6.5	0.0
		東葛飾	53	58.5	50.9	54.7	28.3	13.2	13.2	11.3	5.7	5.7	0.0	3.8
		印旛	12	75.0	75.0	50.0	41.7	16.7	33.3	41.7	8.3	16.7	25.0	0.0
	B 地 域	香取	7	100.0	85.7	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
		海匠	4	75.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		山武	3	100.0	33.3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
		長生	3	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
		夷隅	6	83.3	0.0	33.3	83.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	4	100.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	君津	9	66.7	55.6	44.4	33.3	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	
形 組 織	振興組合	32	59.4	40.6	53.1	28.1	37.5	15.6	18.8	3.1	9.4	6.3	3.1	
	協同組合	12	83.3	16.7	50.0	66.7	0.0	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	
	任意団体	113	70.8	57.5	49.6	34.5	15.9	18.6	9.7	9.7	7.1	4.4	0.9	
立 地 環 境	繁華街	12	66.7	66.7	83.3	33.3	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	
	一般商店街	36	77.8	55.6	63.9	22.2	13.9	8.3	5.6	0.0	5.6	2.8	0.0	
	一般住宅街	30	56.7	40.0	26.7	30.0	10.0	16.7	10.0	6.7	0.0	3.3	0.0	
	住宅団地	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	
	駅前	54	72.2	51.9	57.4	42.6	27.8	31.5	16.7	13.0	7.4	7.4	1.9	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	14	71.4	57.1	35.7	50.0	21.4	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0	
	その他	8	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	

（注）複数回答。問12-1で「連携している」、「連携していないが、必要性を感じている」と回答した商店街が対象

### (3)連携している(連携したい)団体の範囲(問12-3)

連携している(連携したい)団体の範囲は、県全体では「同じ市町村内(隣接)」が77.4%で突出して高く、次いで「同じ市町村内(その他)」(22.6%)などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「同じ市町村内(隣接)」の割合、「同じ市町村内(その他)」の割合とも比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

図表 198 連携している(連携したい)団体の範囲  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	同じ市町 村内(隣 接)	同じ市町 村内(その 他)	県内の他 市町村	県外	無回答	
令和4年度	県全体	159	77.4	22.6	5.0	3.1	7.5	
地域・ タイプ	A 地域	A地域計	117	79.5	24.8	5.1	2.6	6.8
		うち近隣+地域	107	78.5	24.3	4.7	2.8	7.5
		うち広域+超広域	8	87.5	37.5	12.5	0.0	0.0
	B地域計	36	75.0	16.7	2.8	5.6	11.1	
ブ ロ ッ ク	A 地域	千葉	21	81.0	19.0	9.5	0.0	4.8
		葛南	31	83.9	29.0	3.2	3.2	3.2
		東葛飾	53	77.4	22.6	3.8	1.9	9.4
		印旛	12	75.0	33.3	8.3	8.3	8.3
	B 地域	香取	7	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3
		海匝	4	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0
		山武	3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0
		長生	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
		夷隅	6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0
		安房	4	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0
君津	9	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1		
形組 態織	振興組合	32	90.6	9.4	0.0	0.0	3.1	
	協同組合	12	83.3	16.7	8.3	16.7	0.0	
	任意団体	113	73.5	27.4	6.2	2.7	8.8	
立地 環 境	繁華街	12	75.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	36	66.7	30.6	8.3	0.0	2.8	
	一般住宅街	30	76.7	16.7	6.7	0.0	10.0	
	住宅団地	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
	駅前	54	83.3	20.4	3.7	9.3	9.3	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	14	92.9	14.3	7.1	0.0	0.0	
その他	8	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0		

(注)複数回答。問12-1で「連携している」、「連携していないが、必要性を感じている」と回答した商店街が対象

#### (4)連携内容（問 12-4）

##### ① 連携内容

問 12-1で「連携している」と回答した商店街に、連携内容を自由記入方式で聞き、その内容を項目別に整理したところ、「イベント・売出し」が合計 23 件（うち、SDGs関連：6件）で最も多く、次いで「環境美化」（合計：11 件、SDGs関連：2件）、「情報交換」（合計：3件、SDGs：なし）などとなっている。

図表 199 連携内容

（単位：件）

	イベント・ 売出し	環境美化 ・保全	情報交換	共通商品 券・ポイント カード等	こども食堂 への協力	イベント会 場提供	地域特産品 取扱い
<b>合計</b>	<b>23</b>	<b>11</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
SDGs関連なし	17	9	3	1	0	0	1
SDGs関連あり	6	2	0	1	2	1	0

## ② 連携内容のSDGsとの関連

問 12-1で「連携している」と回答した商店街に、連携内容がSDGsと関連しているか聞いたところ、「関連ある」が18.0%、「関連ない」が82.0%であった。

地域・タイプ別に見ると、「関連ある」の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

図表 200 連携内容のSDGsとの関連  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数(n)	関連ある	関連ない	
令和4年度	県全体	111	18.0	82.0	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	81	19.9	80.1
		うち近隣+地域	72	16.6	83.4
		うち広域+超広域	7	42.9	57.1
	B地域計	26	7.7	92.3	
ブロック	A地域	千葉	15	13.4	86.6
		葛南	23	26.1	73.9
		東葛飾	37	18.9	81.1
		印旛	6	16.6	83.4
	B地域	香取	6	0.0	100.0
		海匝	1	0.0	100.0
		山武	1	0.0	100.0
		長生	2	0.0	100.0
		夷隅	5	20.0	80.0
		安房	4	25.0	75.0
		君津	7	0.0	100.0
組織形態	振興組合	17	17.7	82.3	
	協同組合	9	44.5	55.5	
	任意団体	83	15.7	84.3	
立地環境	繁華街	11	18.2	81.8	
	一般商店街	27	11.1	88.9	
	一般住宅街	22	9.0	91.0	
	住宅団地	1	0.0	100.0	
	駅前	35	37.2	62.8	
	駅ビル	1	0.0	100.0	
	ロードサイド	8	0.0	100.0	
	その他	6	0.0	100.0	

(注)問12-1で「連携している」と回答した商店街が対象。「無回答」を除いて算出

## (5) 今後の連携意向（問 12- 5）

今後の連携意向は、県全体では「現在連携している団体との連携をさらに進める」が63.4%で突出して高く、「現在連携している団体のほかに新たに連携を広げていく」は14.3%、「現在連携している団体との連携を弱める」が0.9%となっている。

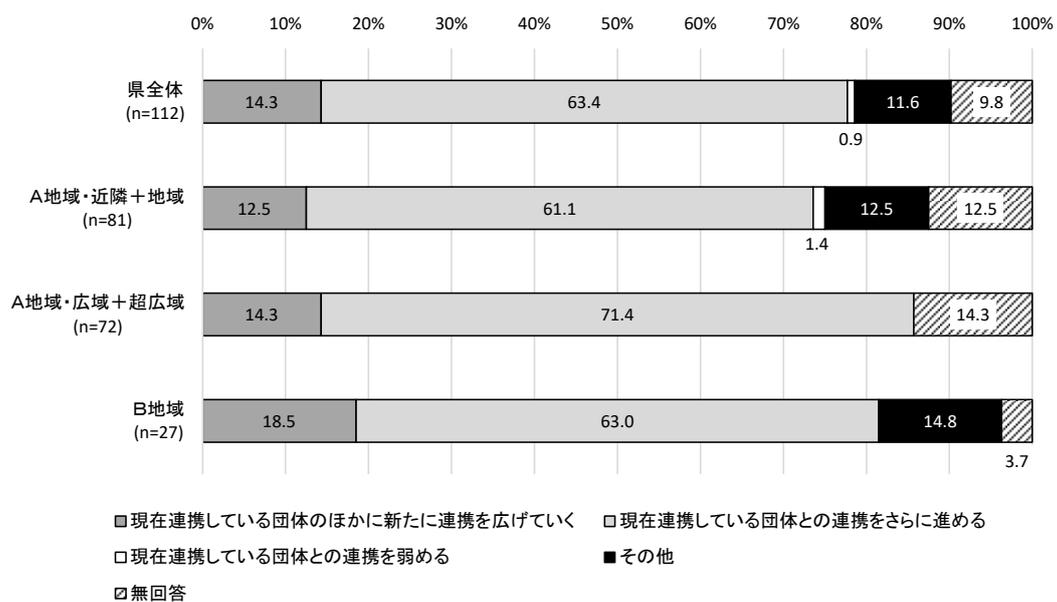
図表 201 今後の連携意向（県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別）

（単位：％）

		回答数 (n)	現在連携している 団体のほかに 新たに連携を広 げていく	現在連携している 団体との連携 をさらに進める	現在連携している 団体との連携 を弱める	その他	無回答	
令和4年度	県全体	112	14.3	63.4	0.9	11.6	9.8	
地域 タイプ	A 地域	A地域計	81	13.6	61.7	1.2	11.1	12.3
		うち近隣+地域	72	12.5	61.1	1.4	12.5	12.5
		うち広域+超広域	7	14.3	71.4	0.0	0.0	14.3
	B 地域	B地域計	27	18.5	63.0	0.0	14.8	3.7
ブ ロ ッ ク	A 地域	千葉	15	6.7	66.7	0.0	20.0	6.7
		葛南	22	22.7	59.1	0.0	4.5	13.6
		東葛飾	38	13.2	60.5	2.6	13.2	10.5
		印旛	6	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	B 地域	香取	6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		海匝	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		山武	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
		夷隅	5	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
		安房	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
君津	7	0.0	57.1	0.0	28.6	14.3		
形 組 態 織	振興組合	18	22.2	66.7	0.0	5.6	5.6	
	協同組合	9	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0	
	任意団体	84	13.1	61.9	1.2	13.1	10.7	
立 地 環 境	繁華街	11	9.1	81.8	0.0	0.0	9.1	
	一般商店街	28	14.3	57.1	3.6	17.9	7.1	
	一般住宅街	24	16.7	54.2	0.0	12.5	16.7	
	住宅団地	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	33	18.2	60.6	0.0	9.1	12.1	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	

（注）問12-1で「連携している」と回答した商店街が対象

図表 202 今後の連携意向(県全体、地域・タイプ別)



## (6) 連携阻害要因 (問 12-6)

他の団体と「連携していないが、必要性を感じている」と回答した商店街が他の団体と連携する上で阻害要因となるのは、県全体では「ノウハウがない」が 51.1%で最も高く、次いで「他の団体と交流する機会がない」(40.4%)、「取りまとめる人材(リーダー)がいない」(27.7%)などとなっている。地域・タイプ別に見ると、「ノウハウがない」の割合が比較的高いのは B 地域である。

図表 203 連携阻害要因(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	ノウハウ がない	他の団体 と交流す る機会が ない	取りまと める人材 (リー ダー)がい ない	共通する 事業がな い	会員の賛 同が得ら れない	近くに連 携したい 団体がな い	無回答	
令和4年度	県全体	47	51.1	40.4	27.7	12.8	10.6	8.5	8.5	
地域 タイプ	A地域	A地域計	36	47.2	41.7	30.6	13.9	13.9	5.6	11.1
		うち近隣+地域	35	48.6	40.0	31.4	11.4	14.3	5.7	11.4
		うち広域+超広域	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		B地域計	9	66.7	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2	0.0
ブロック	A地域	千葉	6	33.3	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
		葛南	9	44.4	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
		東葛飾	15	60.0	33.3	26.7	6.7	26.7	13.3	13.3
		印旛	6	33.3	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7
	B地域	香取	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		海匝	3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
		山武	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		安房	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	2	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
形態 組織	振興組合	14	64.3	42.9	35.7	7.1	14.3	7.1	7.1	
	協同組合	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	
	任意団体	29	44.8	41.4	27.6	13.8	10.3	3.4	10.3	
立地 環境	繁華街	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	8	75.0	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
	一般住宅街	6	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	
	住宅団地	3	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	駅前	21	47.6	38.1	28.6	14.3	14.3	9.5	14.3	
	駅ビル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	6	50.0	50.0	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	
	その他	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

(注)複数回答。問12-1で「連携していないが、必要性を感じている」と回答した商店街が対象

## (7) その他、商店街で実施している SDGs に関連した取組 (問 12-7)

その他、商店街で実施している SDGs に関連した取組を自由記入方式で聞き、整理したところ、環境美化・保全に関する取組が5件、地域の祭りへの協力が1件であった。

### 13. 新型コロナウイルス感染症による影響

#### (1) 売上高への影響 (問 13-1)

新型コロナウイルス感染症の売上高への影響は、県全体では「影響が出ている(30～50%程度減)」が 37.6%で最も高い。これに「非常に大きな影響が出ている(50%以上減)」(16.5%)と「多少影響が出ている(10～30%程度減)」(26.0%)を加えると 80.1%となり、約8割の商店街で新型コロナウイルス感染症による売上高への影響が出ている。

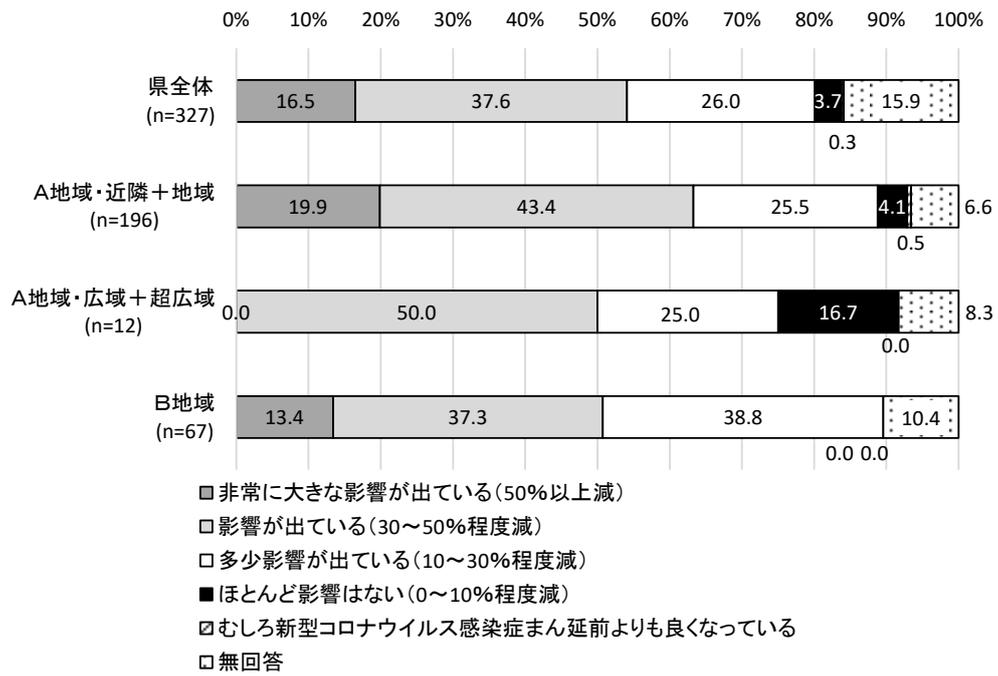
地域・タイプ別に見ると、A地域・近隣+地域は「非常に大きな影響が出ている(50%以上減)」の割合が 19.9%と比較的高い。A地域・広域+超広域は「非常に大きな影響が出ている(50%以上減)」と回答した商店街がなく、「ほとんど影響はない(0～10%程度減)」の割合が 16.7%と突出して高い。

図表 204 新型コロナウイルス感染症の売上高への影響  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	非常に大きな 影響が出て いる(50%以 上減)	影響が出 ている(30～ 50%程度減)	多少影響が 出ている(10 ～30%程度 減)	ほとんど影響 はない(0～ 10%程度減)	むしろ新型コ ロonavirus感 染症まん 延前よりも良 くなっている	無回答	
令和4年度	県全体	327	16.5	37.6	26.0	3.7	0.3	15.9	
令和3年度	全国(参考)	4,606	27.7	41.8	17.5	2.8	0.1	10.1	
タ 地 域 プ ・	A 地 域	A地域計	244	17.2	38.5	22.5	4.5	0.4	16.8
		うち近隣+地域	196	19.9	43.4	25.5	4.1	0.5	6.6
		うち広域+超広域	12	0.0	50.0	25.0	16.7	0.0	8.3
	B地域計		67	13.4	37.3	38.8	0.0	0.0	10.4
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	20.4	28.6	28.6	2.0	2.0	18.4
		葛南	66	13.6	42.4	15.2	9.1	0.0	19.7
		東葛飾	97	18.6	41.2	22.7	3.1	0.0	14.4
		印旛	32	15.6	37.5	28.1	3.1	0.0	15.6
	B 地 域	香取	11	27.3	45.5	18.2	0.0	0.0	9.1
		海匠	13	7.7	23.1	46.2	0.0	0.0	23.1
		山武	7	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3
		長生	5	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
		安房	7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3
君津	16	18.8	37.5	43.8	0.0	0.0	0.0		
形 組 態 織	振興組合	51	19.6	52.9	11.8	3.9	0.0	11.8	
	協同組合	22	9.1	13.6	50.0	0.0	0.0	27.3	
	任意団体	228	17.5	40.4	28.5	3.9	0.4	9.2	
立 地 環 境	繁華街	18	27.8	50.0	16.7	0.0	0.0	5.6	
	一般商店街	68	20.6	41.2	29.4	5.9	0.0	2.9	
	一般住宅街	76	13.2	39.5	34.2	2.6	0.0	10.5	
	住宅団地	14	14.3	28.6	42.9	7.1	0.0	7.1	
	駅前	72	19.4	45.8	23.6	4.2	1.4	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	18.5	44.4	29.6	7.4	0.0	0.0	
その他	12	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0		

図表 205 新型コロナウイルス感染症の売上高への影響(県全体、地域・タイプ別)



## (2) 来街者数への影響（問 13-2）

新型コロナウイルス感染症の来街者数への影響は、県全体では「影響が出ている（30～50%程度減）」が 35.2%で最も高い。これに「非常に大きな影響が出ている（50%以上減）」（11.6%）と「多少影響が出ている（10～30%程度減）」（29.4%）を加えると 76.2%となり、8割弱の商店街で新型コロナウイルス感染症による来街者数への影響が出ている。

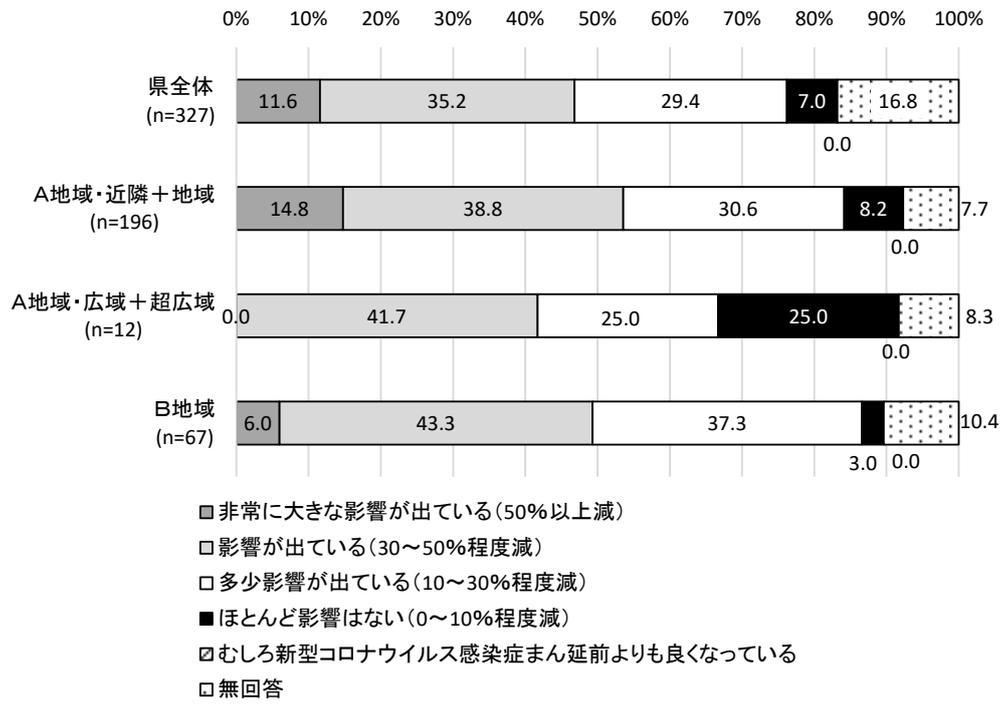
地域・タイプ別に見ると、A地域・近隣＋地域は「非常に大きな影響が出ている（50%以上減）」の割合が 14.8%と比較的高い。A地域・広域＋超広域は「非常に大きな影響が出ている（50%以上減）」と回答した商店街がなく、「ほとんど影響はない（0～10%程度減）」の割合が 25.0%と突出して高い。

図表 206 新型コロナウイルス感染症の来場者数への影響  
（県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別）

（単位：％）

		回答数 (n)	非常に大きな 影響が出て いる(50%以 上減)	影響が出て いる(30～ 50%程度減)	多少影響が 出ている(10 ～30%程度 減)	ほとんど影響 はない(0～ 10%程度減)	むしろ新型コ ロナウイルス 感染症まん 延前よりも良 くなっている	無回答	
令和4年度	県全体	327	11.6	35.2	29.4	7.0	0.0	16.8	
令和3年度	全国(参考)	4,606	23.4	37.6	20.8	3.3	0.2	14.6	
タ 地 域 ・ ブ ロ ッ ク	A 地 域	A地域計	244	12.7	34.4	26.6	8.2	0.0	18.0
		うち近隣＋地域	196	14.8	38.8	30.6	8.2	0.0	7.7
		うち広域＋超広域	12	0.0	41.7	25.0	25.0	0.0	8.3
	B地域計		67	6.0	43.3	37.3	3.0	0.0	10.4
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	16.3	28.6	28.6	8.2	0.0	18.4
		葛南	66	9.1	39.4	18.2	10.6	0.0	22.7
		東葛飾	97	13.4	35.1	28.9	7.2	0.0	15.5
		印旛	32	12.5	31.3	34.4	6.3	0.0	15.6
	B 地 域	香取	11	0.0	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1
		海匝	13	7.7	30.8	38.5	0.0	0.0	23.1
		山武	7	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0	14.3
		長生	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		夷隅	8	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0
		安房	7	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3
君津	16	6.3	50.0	43.8	0.0	0.0	0.0		
形 組 態 織	振興組合	51	3.9	54.9	19.6	9.8	0.0	11.8	
	協同組合	22	4.5	22.7	36.4	9.1	0.0	27.3	
	任意団体	228	14.5	35.1	33.8	7.0	0.0	9.6	
立 地 環 境	繁華街	18	22.2	38.9	27.8	5.6	0.0	5.6	
	一般商店街	68	19.1	38.2	26.5	10.3	0.0	5.9	
	一般住宅街	76	9.2	34.2	38.2	6.6	0.0	11.8	
	住宅団地	14	7.1	28.6	42.9	14.3	0.0	7.1	
	駅前	72	11.1	50.0	25.0	8.3	0.0	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	11.1	33.3	48.1	7.4	0.0	0.0	
	その他	12	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0	0.0	

図表 207 新型コロナウイルス感染症の来街者数への影響(県全体、地域・タイプ別)



### (3) 空き店舗への影響 (問 13-3)

新型コロナウイルス感染症の空き店舗への影響は、県全体では「ほとんど影響はない(0～10%程度減)」が42.5%で最も高い。

「非常に大きな影響が出ている(50%以上減)」(3.1%)、「影響が出ている(30～50%程度減)」(8.0%)、「多少影響が出ている(10～30%程度減)」(28.7%)を合計すると39.8%となり、約4割の商店街で新型コロナウイルス感染症による空き店舗への影響が出ている。

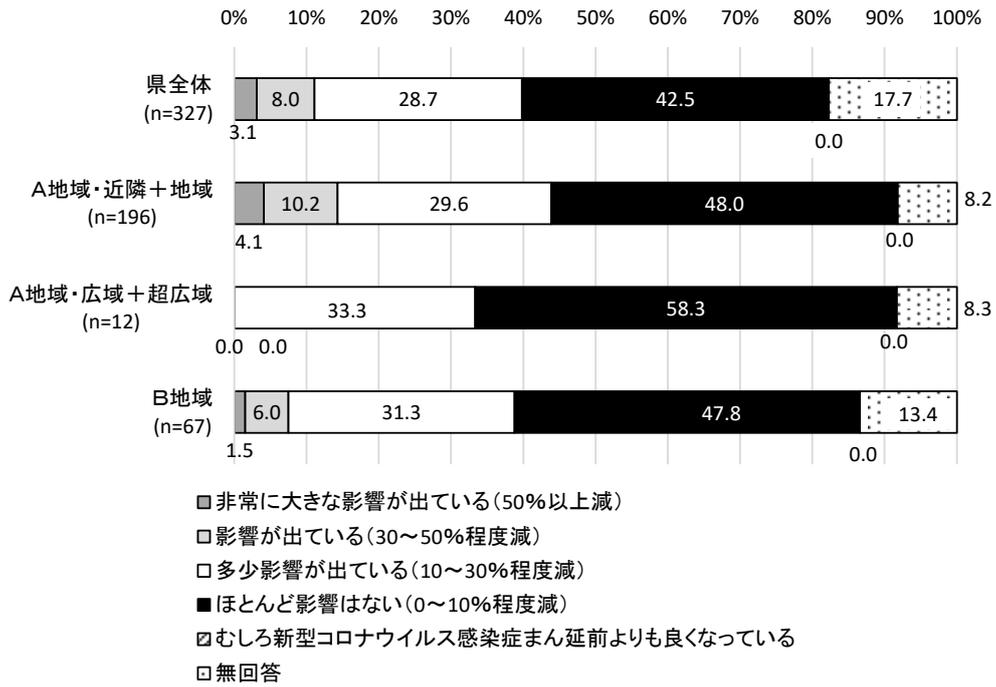
地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域は「非常に大きな影響が出ている(50%以上減)」や「影響が出ている(30～50%程度減)」と回答した商店街がなく、「ほとんど影響はない(0～10%程度減)」の割合が58.5%と突出して高い。

図表 208 新型コロナウイルス感染症の空き店舗への影響  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	非常に大きな 影響が出て いる(50%以 上減)	影響が出 ている(30～ 50%程度減)	多少影響が 出ている(10 ～30%程度 減)	ほとんど影響 はない(0～ 10%程度減)	むしろ新型コ ロナウイルス 感染症まん 延前よりも良 くなっている	無回答	
令和4年度	県全体	327	3.1	8.0	28.7	42.5	0.0	17.7	
令和3年度	全国(参考)	4,606	10.2	16.4	23.7	35.6	0.7	13.4	
タ地 域・ ブ	A 地域	A地域計	244	3.3	8.6	27.9	41.8	0.0	18.4
		うち近隣+地域	196	4.1	10.2	29.6	48.0	0.0	8.2
		うち広域+超広域	12	0.0	0.0	33.3	58.3	0.0	8.3
		B地域計	67	1.5	6.0	31.3	47.8	0.0	13.4
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	49	4.1	6.1	38.8	32.7	0.0	18.4
		葛南	66	4.5	12.1	22.7	39.4	0.0	21.2
		東葛飾	97	0.0	9.3	24.7	48.5	0.0	17.5
		印旛	32	9.4	3.1	31.3	40.6	0.0	15.6
	B 地 域	香取	11	0.0	9.1	36.4	45.5	0.0	9.1
		海匝	13	0.0	0.0	53.8	23.1	0.0	23.1
		山武	7	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	14.3
		長生	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0
		夷隅	8	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
		安房	7	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	14.3
	君津	16	0.0	0.0	25.0	68.8	0.0	6.3	
形 組 態 織	振興組合	51	3.9	9.8	23.5	51.0	0.0	11.8	
	協同組合	22	4.5	0.0	31.8	36.4	0.0	27.3	
	任意団体	228	3.1	8.3	32.9	44.3	0.0	11.4	
立 地 環 境	繁華街	18	11.1	0.0	38.9	44.4	0.0	5.6	
	一般商店街	68	5.9	7.4	32.4	48.5	0.0	5.9	
	一般住宅街	76	1.3	9.2	25.0	51.3	0.0	13.2	
	住宅団地	14	0.0	14.3	7.1	57.1	0.0	21.4	
	駅前	72	2.8	8.3	45.8	37.5	0.0	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	0.0	14.8	22.2	63.0	0.0	0.0	
	その他	12	0.0	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0	

図表 209 新型コロナウイルス感染症の空き店舗への影響(県全体、地域・タイプ別)



#### (4)新型コロナウイルス感染症の影響が生じた理由（問 13-4）

商店街全体の売上高、来街者数、空き店舗のいずれかに対して「影響が出ている」と回答した商店街について、影響が生じた理由を見ると、「例年実施しているイベントができなかったため」が50.1%で最も高く、次いで「休業・時短要請があったため」(49.6%)、「飲食業店舗が多いため」(46.5%)などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「飲食業店舗が多いため」の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

図表 210 新型コロナウイルス感染症の影響が生じた理由  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	例年実施 しているイ ベントがで きなかった ため	休業・時短 要請があ ったため	飲食業店 舗が多い ため	近隣の学 校や会社 などに通 う人が来 街者の中 心であっ たため	インター ネット販 売への対 応が困 難なため	新型コロ ナウイル ス感染症 まん延前 の来街者 は観光客 中心であ ったため	その他	
令和4年度	県全体	230	50.1	49.6	46.5	17.8	10.4	6.5	8.3	
令和3年度	全国(参考)	3,111	53.7	52.7	48.5	18.7	8.3	13.0	7.5	
地域 タイプ	A地域	A地域計	165	50.3	50.9	50.9	19.4	9.8	4.3	9.0
		うち近隣+地域	149	49.7	49.7	51.1	17.5	10.8	3.4	10.1
		うち広域+超広域	9	55.6	55.6	66.7	44.4	0.0	0.0	0.0
		B地域計	54	51.9	44.4	33.4	12.9	11.2	14.8	5.6
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	36	52.8	61.1	47.2	25.0	0.0	0.0	13.9
		葛南	41	44.0	53.6	61.0	21.9	12.2	2.4	4.8
		東葛飾	69	52.2	43.5	50.8	15.9	11.5	1.4	10.1
		印旛	19	52.7	52.7	36.9	15.8	15.8	26.3	5.2
	B地域	香取	9	66.6	55.6	33.4	11.1	22.2	11.1	0.0
		海匝	9	55.6	44.5	44.5	0.0	0.0	0.0	11.1
		山武	6	33.4	33.4	33.4	0.0	16.7	33.4	0.0
		長生	3	100.0	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	8	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	37.5	25.0
		安房	6	50.1	16.7	0.0	33.4	0.0	33.4	0.0
	君津	13	38.5	38.5	38.5	30.8	7.8	0.0	0.0	
形 組 態 織	振興組合	36	61.0	61.0	41.6	16.7	2.8	0.0	8.4	
	協同組合	16	50.1	37.6	18.7	18.7	12.5	25.0	12.5	
	任意団体	174	48.2	47.7	51.1	17.8	12.1	6.3	7.5	
立 地 環 境	繁華街	15	46.7	60.0	73.3	26.7	0.0	13.3	0.0	
	一般商店街	51	49.1	49.1	35.3	13.7	7.9	11.7	9.9	
	一般住宅街	58	46.5	48.2	46.5	15.5	10.4	6.9	6.9	
	住宅団地	9	33.3	33.3	22.2	0.0	22.2	0.0	22.2	
	駅前	62	56.4	51.6	61.3	21.0	12.9	1.6	3.3	
	駅ビル	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	20	44.9	35.0	35.0	20.0	10.0	5.0	20.0	
	その他	11	63.6	54.5	18.2	27.3	18.2	9.1	18.2	

(注)複数回答。問13-1~13-3のいずれかにおいて「影響が出ている」と回答した商店街が対象

### (5)新型コロナウイルス感染症の影響が生じなかった理由（問 13-5）

商店街全体の売上高、来街者数、空き店舗のいずれかに対して「ほとんど影響はない」または「むしろコロナ前よりも良くなっている影響が出ている」と回答した商店街について、影響が生じなかった理由を見ると、「新型コロナウイルス感染症まん延前から来街者は地域住民中心のため」が46.8%で最も高く、次いで「飲食業以外の店舗が多いため」(28.2%)、「商店街のある地域では新型コロナウイルス感染症があまりまん延していなかったため」(24.6%)などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「新型コロナウイルス感染症まん延前から来街者は地域住民中心のため」の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

図表 211 新型コロナウイルス感染症の影響が生じなかった理由  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	新型コロナ ウイルス感染症 まん延前 から来街 者は地域 住民中心 のため	飲食業以 外の店舗 が多いた め	商店街の ある地域 では新冠 ウイルス感 染症があ まりまん 延してい なかつた ため	テイクア ウト等の 別業態を 開始した ため	休業・時 短要請の 影響を受 けなかつ たため	インター ネット販 売に対応 したため	その他	
令和4年度	県全体	81	46.8	28.2	24.6	11.3	6.0	0.0	18.5	
令和3年度	全国(参考)	1,531	43.4	29.4	20.9	12.1	8.4	1.6	22.5	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	57	50.9	28.2	26.1	14.1	5.1	0.0	19.2
		うち近隣+地域	52	50.2	30.9	29.1	13.6	1.9	0.0	19.2
		うち広域+超広域	5	60.0	0.0	0.0	19.9	40.0	0.0	19.9
		B地域計	19	41.9	26.4	21.1	5.3	10.6	0.0	10.6
ブ ロ ッ ク	A地域	千葉	10	40.2	40.2	9.8	20.1	0.0	0.0	9.8
		葛南	15	59.9	26.9	40.1	13.2	13.2	0.0	19.8
		東葛飾	26	50.0	26.9	23.1	11.6	3.7	0.0	19.4
		印旛	6	50.3	16.6	33.7	16.6	0.0	0.0	33.7
	B地域	香取	4	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
		海匝	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
		山武	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		安房	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	君津	5	40.1	20.2	20.2	0.0	0.0	0.0	20.2	
形 組 態 織	振興組合	17	52.9	23.4	23.4	17.7	11.7	0.0	17.7	
	協同組合	6	33.3	33.3	33.3	0.0	16.5	0.0	0.0	
	任意団体	57	47.2	28.0	24.4	10.4	3.6	0.0	21.2	
立 地 環 境	繁華街	4	50.0	0.0	25.2	0.0	0.0	0.0	50.0	
	一般商店街	24	45.9	33.4	24.9	4.2	8.2	0.0	12.5	
	一般住宅街	23	47.9	30.4	34.7	12.9	0.0	0.0	8.6	
	住宅団地	4	50.0	74.8	24.8	0.0	0.0	0.0	24.8	
	駅前	12	49.7	8.4	25.1	16.8	16.8	0.0	25.1	
	ロードサイド	11	45.5	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0	18.2	
	その他	3	33.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.8	

(注)複数回答。問13-1～13-3のいずれかにおいて「ほとんど影響はない」または「むしろコロナ前よりも良くなっている」と回答した商店街が対象

## (6) 新型コロナウイルス感染症のまん延による影響を踏まえた新たな取組

### (問 13-6)

新型コロナウイルス感染症のまん延による影響を踏まえて、新しい生活様式に対応するために、新たに取り組んだことは、「個店のテイクアウト販売の促進を図った」が 24.8%で最も高く、次いで「地域住民に対して商店街が安心安全に買い物できる場所であることを周知した」(17.4%)、「キャッシュレス決済を積極的に導入した」(8.0%)などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「個店のテイクアウト販売の促進を図った」及び「地域住民に対して商店街が安心安全に買い物できる場所であることを周知した」の割合が比較的高いのはA地域・広域＋超広域である。

図表 212 新型コロナウイルス感染症のまん延による影響を踏まえた新たな取組  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位：%)

		回答数 (n)	個店のテイク アウト販売の 促進を図った	地域住民に 対して商店 街が安心安 全に買い物 できる場所 であることを周 知した	キャッシュレ ス決済を積 極的に導入 した	個店のイン ターネット販 売の促進を 図った	リアルイベ ントをオンラ インイベントに 切り替えて開 催した	その他	
令和4年度	県全体	327	24.8	17.4	8.0	3.7	2.8	17.4	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	24.6	16.8	7.4	4.1	2.9	16.8
		うち近隣＋地域	196	27.0	18.9	8.7	4.6	2.0	19.4
		うち広域＋超広域	12	33.3	25.0	8.3	8.3	16.7	25.0
		B地域計	67	26.9	19.4	9.0	1.5	1.5	14.9
ブロック	A地域	千葉	49	14.3	20.4	2.0	2.0	0.0	16.3
		葛南	66	22.7	13.6	7.6	6.1	6.1	18.2
		東葛飾	97	29.9	17.5	7.2	3.1	3.1	17.5
		印旛	32	28.1	15.6	15.6	6.3	0.0	12.5
	B地域	香取	11	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	36.4
		海匝	13	23.1	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0
		山武	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6
		長生	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	8	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5
		安房	7	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	君津	16	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	18.8	
組織 形態	振興組合	51	27.5	21.6	2.0	0.0	0.0	15.7	
	協同組合	22	22.7	27.3	0.0	0.0	4.5	18.2	
	任意団体	228	26.8	17.1	11.0	5.3	3.5	19.7	
立地 環境	繁華街	18	44.4	22.2	0.0	5.6	5.6	22.2	
	一般商店街	68	27.9	20.6	11.8	7.4	1.5	14.7	
	一般住宅街	76	19.7	15.8	3.9	1.3	0.0	19.7	
	住宅団地	14	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	28.6	
	駅前	72	36.1	20.8	12.5	5.6	9.7	13.9	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	22.2	22.2	14.8	3.7	0.0	33.3	
	その他	12	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	41.7	

(注)複数回答

## 14. 物価高の影響

### (1) 物価高の影響 (問 14-1)

原材料・仕入価格の物価高の影響は、県全体では「影響している(影響している+やや)」が 73.7%、「影響していない(影響していない+あまり)」が 6.7%であった。

地域・タイプ別に見ると、「影響している(影響している+やや)」の割合が比較的高いのは、A地域・近隣+地域、B地域である。

ブロック別に見ると、「影響している(影響している+やや)」の割合が比較的高いのは、香取、海匝、夷隅である。

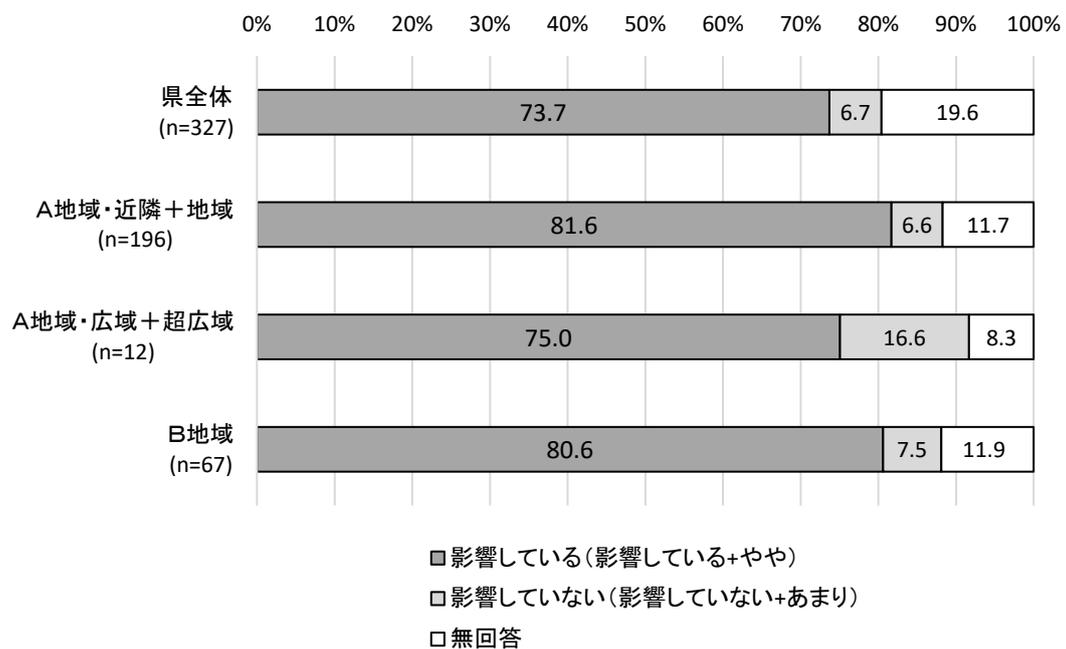
立地環境別に見ると、「影響している(影響している+やや)」の割合が比較的高いのは、繁華街、一般商店街、一般住宅街、駅ビルである。

図表 213 物価高の影響(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数 (n)	影響して いる	やや影響 している	影響してい る(影響して いる+やや)	あまり影響 していない	影響して いない	影響してい ない(影響し ていない+ あまり)	無回答	
令和4年度	県全体	327	40.7	33.0	<b>73.7</b>	5.5	1.2	<b>6.7</b>	19.6	
地域 タイプ	A地域	A地域計	244	40.6	32.0	<b>72.6</b>	4.5	1.6	<b>6.1</b>	21.3
		うち近隣+地域	196	46.4	35.2	<b>81.6</b>	5.1	1.5	<b>6.6</b>	11.7
		うち広域+超広域	12	33.3	41.7	<b>75.0</b>	8.3	8.3	<b>16.6</b>	8.3
		B地域計	67	40.3	40.3	<b>80.6</b>	7.5	0.0	<b>7.5</b>	11.9
ブロック	A地域	千葉	49	40.8	32.7	<b>73.5</b>	4.1	0.0	<b>4.1</b>	22.4
		葛南	66	34.8	36.4	<b>71.2</b>	6.1	1.5	<b>7.6</b>	21.2
		東葛飾	97	43.3	30.9	<b>74.2</b>	3.1	2.1	<b>5.2</b>	20.6
		印旛	32	43.8	25.0	<b>68.8</b>	6.3	3.1	<b>9.4</b>	21.9
	B地域	香取	11	45.5	45.5	<b>91.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	9.1
		海匝	13	53.8	30.8	<b>84.6</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	15.4
		山武	7	42.9	14.3	<b>57.2</b>	28.6	0.0	<b>28.6</b>	14.3
		長生	5	40.0	40.0	<b>80.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	20.0
		夷隅	8	12.5	75.0	<b>87.5</b>	12.5	0.0	<b>12.5</b>	0.0
		安房	7	42.9	28.6	<b>71.5</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	28.6
	君津	16	37.5	43.8	<b>81.3</b>	12.5	0.0	<b>12.5</b>	6.3	
組織 形態	振興組合	51	52.9	25.5	<b>78.4</b>	2.0	3.9	<b>5.9</b>	15.7	
	協同組合	22	31.8	27.3	<b>59.1</b>	9.1	0.0	<b>9.1</b>	31.8	
	任意団体	228	42.5	37.7	<b>80.2</b>	6.6	0.9	<b>7.5</b>	12.3	
立地 環境	繁華街	18	61.1	27.8	<b>88.9</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	11.1	
	一般商店街	68	45.6	41.2	<b>86.8</b>	5.9	0.0	<b>5.9</b>	7.4	
	一般住宅街	76	39.5	42.1	<b>81.6</b>	3.9	0.0	<b>3.9</b>	14.5	
	住宅団地	14	35.7	28.6	<b>64.3</b>	14.3	7.1	<b>21.4</b>	14.3	
	駅前	72	45.8	34.7	<b>80.5</b>	9.7	2.8	<b>12.5</b>	6.9	
	駅ビル	1	0.0	100.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	
	ロードサイド	27	55.6	25.9	<b>81.5</b>	3.7	3.7	<b>7.4</b>	11.1	
	その他	12	50.0	41.7	<b>91.7</b>	8.3	0.0	<b>8.3</b>	0.0	

図表 214 物価高の影響(県全体、地域・タイプ別)



## (2)物価高への対策（問 14-2）

原材料・仕入価格の物価高の影響に対し、実施したもしくはこれから実施予定の対策は、「販売価格の転嫁」が 58.9%で最も高く、次いで「経費の削減」(53.9%)、「仕入先との交渉」(21.6%)、「経営の合理化」(17.0%)などとなっている。「特に対策はしていない」とする回答が 21.6%あった。

地域・タイプ別に見ると、「特に対策はしていない」の割合が比較的高いのは、A地域・広域+超広域である。

図表 215 物価高への対策(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	販売価格 の転嫁	経費の削 減	仕入先と の交渉	経営の合 理化	事業の転 換・縮小	仕入先の 変更	特に対策 はしてい ない	無回答	
令和4年度	県全体	241	58.9	53.9	21.6	17.0	9.1	7.5	21.6	0.4	
地域・ タイプ	A地域	A地域計	177	61.0	57.1	21.5	19.2	9.0	7.9	18.1	0.6
		うち近隣+地域	160	61.3	59.4	21.3	20.0	8.1	7.5	17.5	0.6
		うち広域+超広域	9	55.6	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0
		B地域計	54	55.6	46.3	22.2	11.1	11.1	7.4	29.6	0.0
ブロック	A地域	千葉	36	50.0	52.8	30.6	13.9	8.3	8.3	25.0	2.8
		葛南	47	61.7	63.8	17.0	25.5	12.8	8.5	23.4	0.0
		東葛飾	72	68.1	58.3	22.2	16.7	5.6	8.3	11.1	0.0
		印旛	22	54.5	45.5	13.6	22.7	13.6	4.5	18.2	0.0
	B地域	香取	10	40.0	60.0	0.0	0.0	10.0	0.0	40.0	0.0
		海匝	11	63.6	63.6	18.2	27.3	0.0	0.0	27.3	0.0
		山武	4	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
		長生	4	75.0	100.0	50.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0
		夷隅	7	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0
		安房	5	80.0	60.0	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	君津	13	61.5	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	23.1	0.0	
組織 形態	振興組合	40	67.5	62.5	15.0	20.0	15.0	10.0	12.5	0.0	
	協同組合	13	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	
	任意団体	183	57.4	53.6	24.0	17.5	8.7	7.1	23.5	0.5	
立地 環境	繁華街	16	43.8	62.5	37.5	18.8	12.5	12.5	6.3	0.0	
	一般商店街	59	59.3	54.2	18.6	13.6	11.9	8.5	22.0	0.0	
	一般住宅街	62	58.1	53.2	21.0	14.5	3.2	8.1	27.4	1.6	
	住宅団地	9	55.6	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	
	駅前	58	62.1	51.7	12.1	19.0	10.3	3.4	22.4	0.0	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	22	54.5	50.0	31.8	27.3	9.1	4.5	18.2	0.0	
その他	11	72.7	54.5	36.4	18.2	9.1	18.2	27.3	0.0		

(注)複数回答。問14-1で「影響している」「やや影響している」と回答した商店街が対象

## 15. 国・県・市町村の支援制度の利用

### (1) 支援制度の利用状況（問 15- 1）

国・県・市町村の支援制度の利用状況は、県全体では「ある」が 56.0%、「ない」が 28.7%となっている。

平成 29 年度との比較では、「ある」は 10.0 ポイント減、「ない」は 6.2 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのはB地域である。

ブロック別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのは海匝、山武、長生、夷隅、安房である。

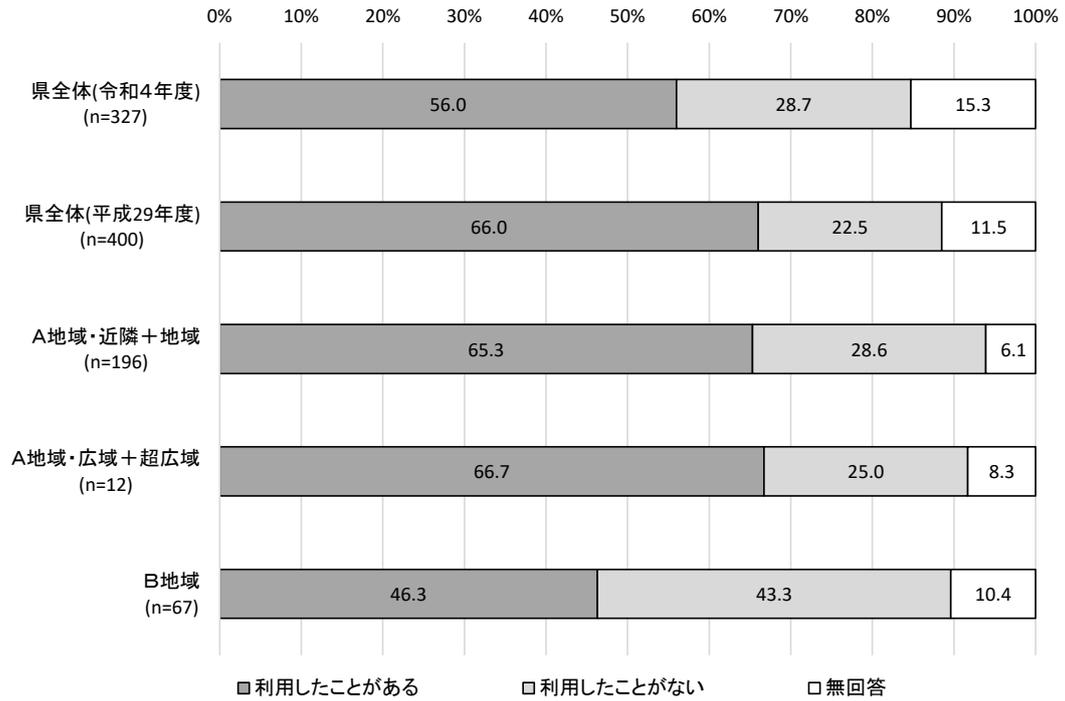
立地環境別に見ると、「ない」の割合が比較的高いのは駅ビル、ロードサイドである。

図表 216 支援制度の利用状況(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数(n)	ある	ない	無回答	
令和4年度	県全体	327	56.0	28.7	15.3	
平成29年度	県全体	400	66.0	22.5	11.5	
地域・タイプ別	A地域計	244	59.0	25.0	16.0	
	うち近隣+地域	196	65.3	28.6	6.1	
	うち広域+超広域	12	66.7	25.0	8.3	
	B地域計	67	46.3	43.3	10.4	
ブロック	A地域	千葉	49	61.2	24.5	14.3
	葛南	66	62.1	15.2	22.7	
	東葛飾	97	56.7	30.9	12.4	
	印旛	32	56.3	28.1	15.6	
	B地域	香取	11	54.5	36.4	9.1
	海匝	13	38.5	46.2	15.4	
	山武	7	28.6	57.1	14.3	
	長生	5	40.0	40.0	20.0	
	夷隅	8	50.0	50.0	0.0	
	安房	7	14.3	57.1	28.6	
君津	16	68.8	31.3	0.0		
組織形態	振興組合	51	64.7	23.5	11.8	
	協同組合	22	40.9	31.8	27.3	
	任意団体	228	60.1	31.6	8.3	
立地環境	繁華街	18	72.2	22.2	5.6	
	一般商店街	68	64.7	32.4	2.9	
	一般住宅街	76	53.9	35.5	10.5	
	住宅団地	14	64.3	35.7	0.0	
	駅前	72	65.3	30.6	4.2	
	駅ビル	1	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	27	59.3	40.7	0.0	
	その他	12	83.3	16.7	0.0	

図表 217 支援制度の利用状況(県全体、地域・タイプ別)



## (2)利用した支援制度の内容（問 15- 2）

利用した支援制度の内容は、県全体では「環境整備事業(アーケード、街路灯、Wi-Fi整備等)」が 69.9%で突出して高く、次いで「ソフト事業(イベント、共同宅配等)」(30.6%)、「計画策定事業(商店街ビジョン、活性化計画等)」(16.4%)、「情報化事業(ホームページ作成、カード事業等)」(8.7%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「環境整備事業(アーケード、街路灯、Wi-Fi整備等)」は 17.6 ポイント減、「ソフト事業(イベント、共同宅配等)」は 6.7 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域では「環境整備事業(アーケード、街路灯、Wi-Fi整備等)」の割合が比較的低く、「計画策定事業(商店街ビジョン、活性化計画等)」割合が比較的高い。B 地域では「ソフト事業(イベント、共同宅配等)」の割合が比較的低い。

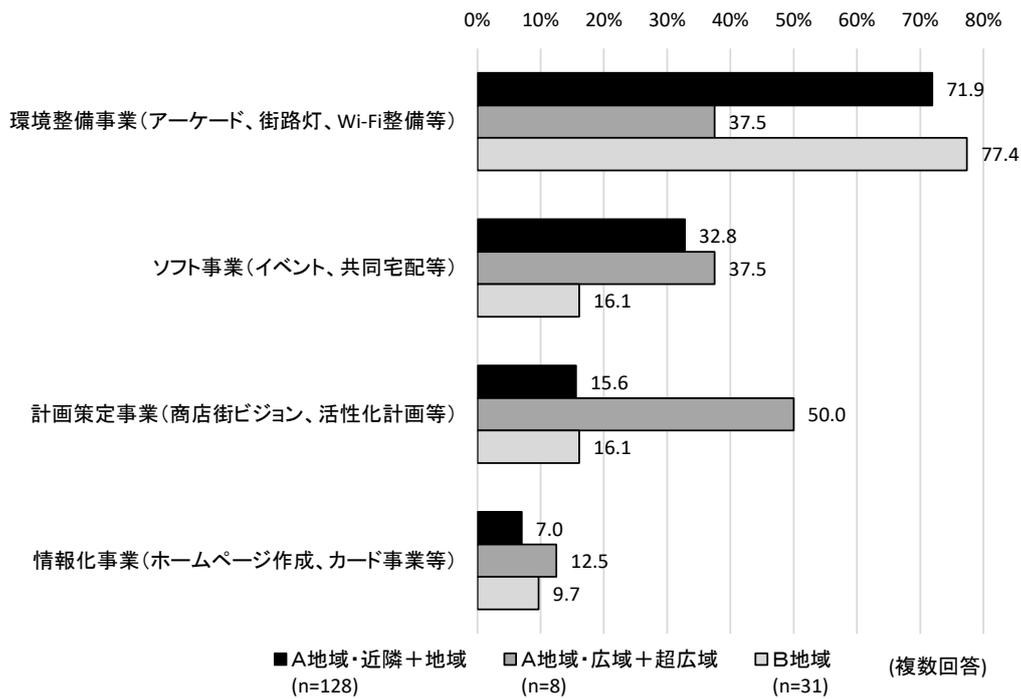
図表 218 利用した支援制度の内容(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、立地環境別)

(単位: %)

		回答数(n)	環境整備事業(アーケード、街路灯、Wi-Fi整備等)	ソフト事業(イベント、共同宅配等)	計画策定事業(商店街ビジョン、活性化計画等)	情報化事業(ホームページ作成、カード事業等)	無回答	
令和4年度	県全体	183	69.9	30.6	16.4	8.7	1.6	
平成29年度	県全体	264	87.5	23.9	15.2	9.1	0.8	
タ地 域 ブ	A 地 域	A地域計	144	70.1	33.3	17.4	8.3	2.1
		うち近隣+地域	128	71.9	32.8	15.6	7.0	2.3
		うち広域+超広域	8	37.5	37.5	50.0	12.5	0.0
	B地域計		31	77.4	16.1	16.1	9.7	0.0
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	30	63.3	40.0	23.3	13.3	0.0
		葛南	41	82.9	34.1	12.2	12.2	0.0
		東葛飾	55	65.5	38.2	18.2	5.5	1.8
		印旛	18	66.7	5.6	16.7	0.0	11.1
	B 地 域	香取	6	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0
		海匝	5	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0
		山武	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		長生	2	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0
		夷隅	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
		安房	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
君津	11	90.9	0.0	18.2	0.0	0.0		
形 組 態 織	振興組合	33	75.8	33.3	18.2	6.1	3.0	
	協同組合	9	44.4	55.6	33.3	11.1	0.0	
	任意団体	137	69.3	29.2	14.6	9.5	1.5	
立 地 環 境	繁華街	13	69.2	46.2	15.4	7.7	7.7	
	一般商店街	44	79.5	18.2	9.1	9.1	2.3	
	一般住宅街	41	68.3	29.3	9.8	7.3	2.4	
	住宅団地	9	55.6	44.4	0.0	11.1	0.0	
	駅前	47	66.0	36.2	34.0	8.5	0.0	
	ロードサイド	16	75.0	25.0	6.3	6.3	0.0	
	その他	10	50.0	40.0	20.0	10.0	0.0	

(注)複数回答。問15-1で「ある」と回答した商店街が対象

図表 219 利用した支援制度の内容(地域・タイプ別)



### (3)利用した支援制度の効果 (問 15- 3)

利用した支援制度の効果は、県全体では「効果をあげている(かなり+まあまあ)」(67.2%)が「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」(12.0%)を大きく上回っている。

平成 29 年度との比較では、「効果をあげている(かなり+まあまあ)」が 8.1 ポイント減、「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」が 1.4 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」の割合が比較的高いのはA地域・広域+超広域である。

ブロック別に見ると、「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」の割合が比較的高いのは千葉、長生である。

組織形態別に見ると、「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」の割合が比較的高いのは協同組合である。

立地環境別に見ると、「効果をあげていない(あまり+ほとんど)」の割合が比較的高いのは住宅団地である。

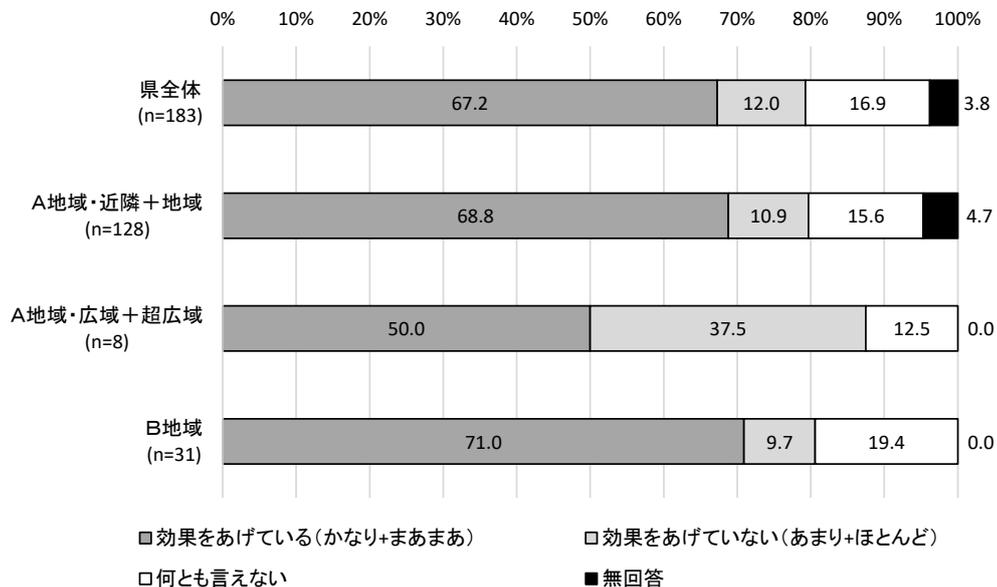
図表 220 利用した支援制度の効果  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

	回答数 (n)	効果をあげている		効果をあげている (かなり+まあまあ)	効果をあげていない		効果をあげていない (あまり+ほとんど)	何とも言えない	無回答		
		かなり効果をあげている	まあまあの効果をあげている		あまり効果をあげていない	ほとんど効果がでない					
令和4年度	県全体	183	16.9	50.3	67.2	8.2	3.8	12.0	16.9	3.8	
平成29年度	県全体	264	18.9	56.4	75.3	8.3	2.3	10.6	12.5	1.5	
地域別	A地域	A地域計	144	17.4	49.3	66.7	8.3	4.2	12.5	16.0	4.9
		うち近隣+地域	128	18.0	50.8	68.8	7.0	3.9	10.9	15.6	4.7
		うち広域+超広域	8	25.0	25.0	50.0	25.0	12.5	37.5	12.5	0.0
		B地域計	31	19.4	51.6	71.0	9.7	0.0	9.7	19.4	0.0
ブロック	A地域	千葉	30	20.0	43.3	63.3	16.7	10.0	26.7	6.7	3.3
		葛南	41	22.0	48.8	70.8	7.3	2.4	9.7	17.1	2.4
		東葛飾	55	12.7	50.9	63.6	7.3	1.8	9.1	18.2	9.1
		印旛	18	16.7	55.6	72.3	0.0	5.6	5.6	22.2	0.0
	B地域	香取	6	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
		海匝	5	20.0	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
		山武	2	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		長生	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		夷隅	4	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
君津	11	27.3	36.4	63.7	18.2	0.0	18.2	18.2	0.0		
組織形態	振興組合	33	15.2	48.5	63.7	12.1	3.0	15.1	15.2	6.1	
	協同組合	9	0.0	66.7	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	
	任意団体	137	18.2	50.4	68.6	7.3	3.6	10.9	16.8	3.6	
立地環境	繁華街	13	23.1	53.8	76.9	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0	
	一般商店街	44	20.5	50.0	70.5	2.3	2.3	4.6	22.7	2.3	
	一般住宅街	41	14.6	39.0	53.6	14.6	2.4	17.0	24.4	4.9	
	住宅団地	9	22.2	55.6	77.8	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	
	駅前	47	12.8	57.4	70.2	10.6	8.5	19.1	6.4	4.3	
	ロードサイド	16	18.8	50.0	68.8	6.3	0.0	6.3	18.8	6.3	
	その他	10	10.0	70.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	

(注)問15-1で「ある」と回答した商店街が対象

図表 221 利用した支援制度の効果(県全体、地域・タイプ別)



#### (4) 支援制度を利用しない理由 (問 15-4)

支援制度を利用しない理由は、県全体では「利用したい支援制度がない」が 28.7%で最も高く、次いで「利用したいが自己負担分が確保できない」(27.7%)、「支援制度を知らない」(25.5%)となっている。

平成 29 年度との比較では、「利用したいが自己負担分が確保できない」が 11.0 ポイント増となっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域＋超広域では「支援制度を知らない」とする回答はなかった。

ブロック別に見ると、「利用したい支援制度がない」の割合が比較的高いのは、長生、夷隅、安房となっている。「利用したいが自己負担分が確保できない」の割合が比較的高いのは、海匝となっている。「支援制度を知らない」の割合が比較的高いのは、長生となっている。

立地環境別に見ると、「利用したい支援制度がない」や「利用したいが自己負担分が確保できない」の割合が比較的高いのは、繁華街となっている。

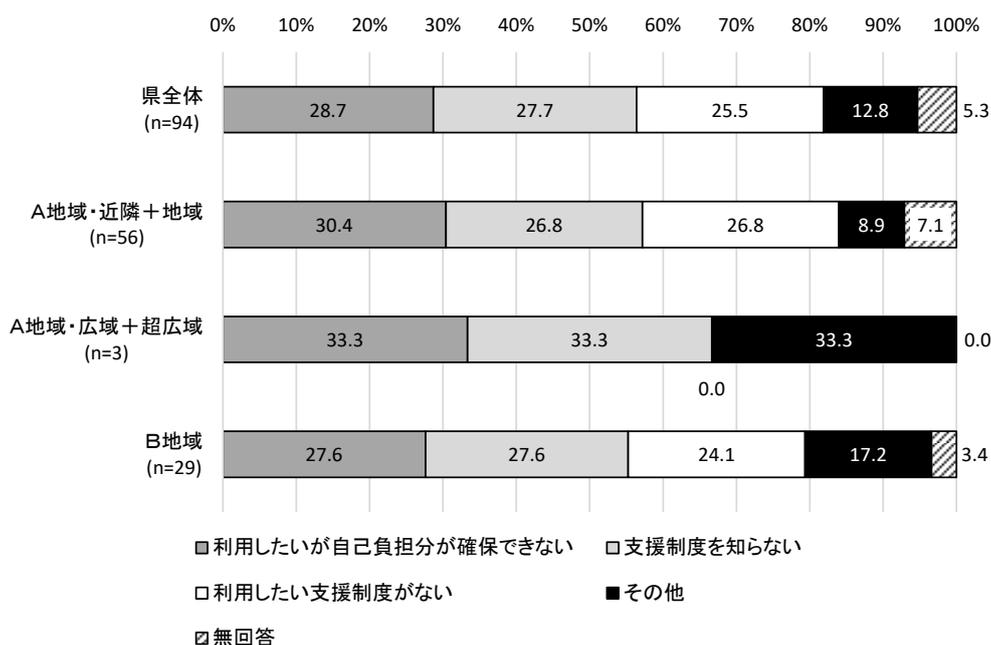
図表 222 支援制度を利用しない理由  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数(n)	利用したい支援制度がない	利用したいが自己負担分が確保できない	支援制度を知らない	その他	無回答	
令和4年度	県全体	94	28.7	27.7	25.5	12.8	5.3	
平成29年度	県全体	90	26.7	16.7	32.2	14.4	10.0	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	61	31.1	26.2	24.6	11.5	6.6
		うち近隣＋地域	56	30.4	26.8	26.8	8.9	7.1
		うち広域＋超広域	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	B地域計		29	27.6	27.6	24.1	17.2	3.4
ブロック	A地域	千葉	12	33.3	25.0	16.7	16.7	8.3
		葛南	10	10.0	30.0	40.0	10.0	10.0
		東葛飾	30	33.3	26.7	20.0	13.3	6.7
		印旛	9	44.4	22.2	33.3	0.0	0.0
	B地域	香取	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
		海匝	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
		山武	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0
		長生	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		夷隅	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
		安房	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
君津	5	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0		
組織形態	振興組合	12	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	
	協同組合	7	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	
	任意団体	72	30.6	29.2	25.0	11.1	4.2	
立地環境	繁華街	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	22	27.3	22.7	31.8	18.2	0.0	
	一般住宅街	27	18.5	37.0	29.6	11.1	3.7	
	住宅団地	5	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	
	駅前	22	40.9	13.6	27.3	13.6	4.5	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	ロードサイド	11	27.3	45.5	18.2	9.1	0.0	
	その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

(注)問15-1で「ない」と回答した商店街が対象

図表 223 支援制度を利用しない理由(県全体、地域・タイプ別)



## (5) 県の支援制度

### ① 県の支援制度の認知状況 (問 15-5)

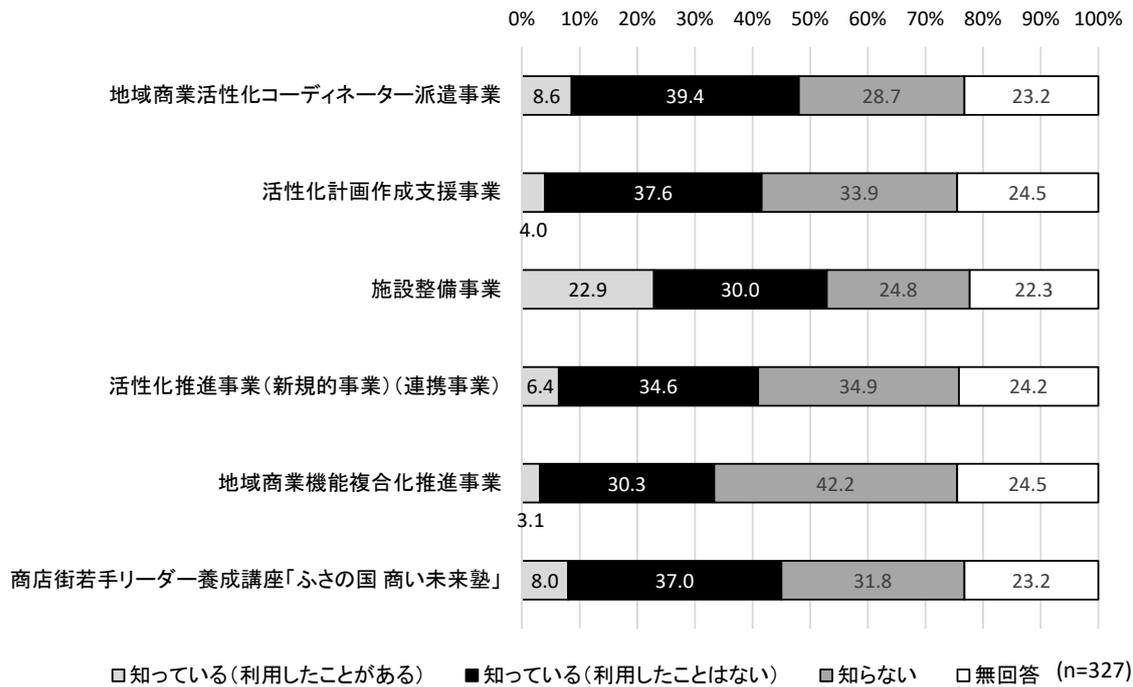
県の支援制度の認知状況を見ると、「知っている(利用したことがある)」は「施設整備事業」が22.9%と突出して高く、次いで「地域商業活性化コーディネーター派遣事業」(8.6%)、「商店街若手リーダー養成講座『ふさの国 商い未来塾』」(8.0%)などとなっている。

「知っている(利用したことはない)」は「地域商業活性化コーディネーター派遣事業」が39.4%で最も高く、次いで「活性化計画作成支援事業」(37.6%)、「商店街若手リーダー養成講座『ふさの国 商い未来塾』」(37.0%)などとなっている。

「知っている(利用したことがある)」と「知っている(利用したことはない)」の合計は、「施設整備事業」が52.9%で最も高く、次いで「地域商業活性化コーディネーター派遣事業」(48.0%)、「商店街若手リーダー養成講座『ふさの国 商い未来塾』」(45.0%)などとなっている。

「知らない」は「地域商業機能複合化推進事業」が42.2%で最も高くなっている。

図表 224 県の支援制度の認知状況

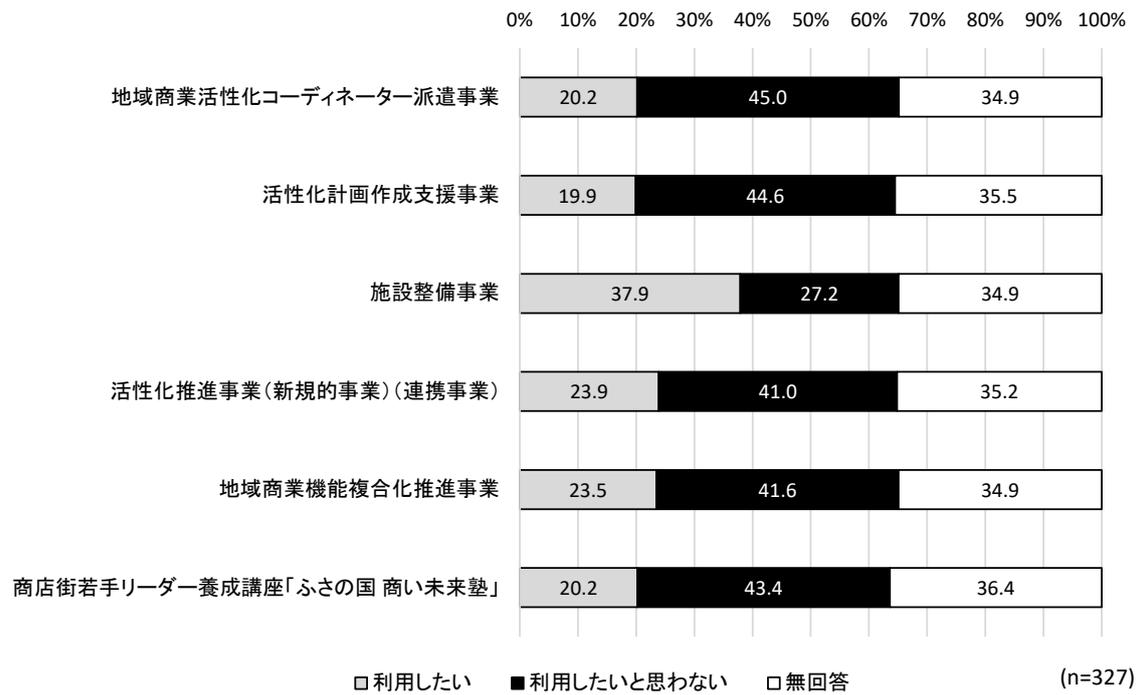


## ② 県の支援制度の利用意向 (問 15-5)

県の支援制度の利用意向を見ると、「利用したい」は「施設整備事業」が 37.9%で最も高く、次いで「活性化推進事業(新規的事業)(連携事業)」(23.9%)、「地域商業機能複合化推進事業」(23.5%)などとなっている。

「利用したいと思わない」は「地域商業活性化コーディネーター派遣事業」が 45.0%で最も高く、次いで「活性化計画作成支援事業」(44.6%)、「商店街若手リーダー養成講座『ふさの国 商い未来塾』」(43.4%)などとなっている。

図表 225 県の支援制度の利用意向



### ③ 県の支援制度を利用したいと思わない理由（問 15-6）

県の支援制度を利用したいと思わない理由は、「取り組む時間がない」が 36.0%で最も高く、次いで「手続きが煩雑である」(34.8%)、「自己負担分が確保できない」(27.0%)、「効果があがるように思えない」(25.8%)となっている。

一方、「支援は求めている」とする回答が 24.7%あった。

図表 226 県の支援制度を利用したいと思わない理由

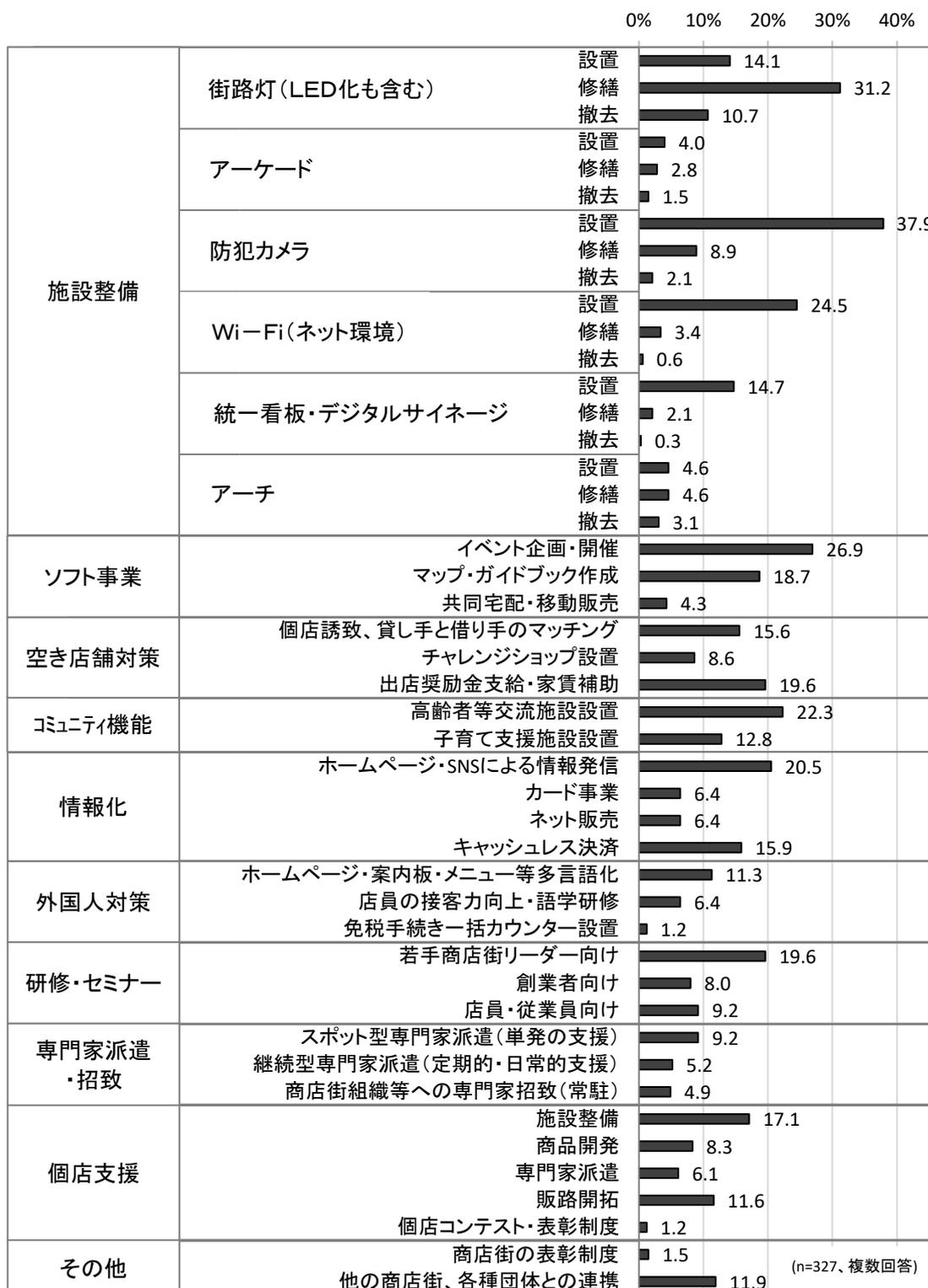
(単位: %)

		回答数(n)	取り組む時間がない	手続きが煩雑である	自己負担分が確保できない	効果があるように思えない	支援は求めている	その他	
令和4年度	県全体	89	36.0	34.8	27.0	25.8	24.7	12.4	
多 地 域 プ ・	A 地 域	A地域計	67	32.8	34.3	29.9	20.9	26.9	13.4
		うち近隣+地域	61	31.1	34.4	32.8	19.7	26.2	13.1
		うち広域+超広域	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	B地域計	20	45.0	40.0	20.0	40.0	15.0	10.0	
ブ ロ ッ ク	A 地 域	千葉	15	26.7	33.3	40.0	26.7	33.3	6.7
		葛南	13	15.4	46.2	23.1	15.4	23.1	7.7
		東葛飾	29	41.4	24.1	27.6	17.2	31.0	20.7
		印旛	10	40.0	50.0	30.0	30.0	10.0	10.0
	B 地 域	香取	5	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		海匝	2	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0
		山武	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		長生	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		夷隅	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	4	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
君津	6	0.0	16.7	0.0	66.7	33.3	0.0		
形 組 態 織	振興組合	11	18.2	54.5	36.4	9.1	27.3	0.0	
	協同組合	7	71.4	42.9	42.9	42.9	0.0	14.3	
	任意団体	69	34.8	30.4	24.6	26.1	27.5	14.5	
立 地 環 境	繁華街	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	一般商店街	21	42.9	47.6	38.1	38.1	19.0	0.0	
	一般住宅街	25	20.0	24.0	28.0	20.0	28.0	16.0	
	住宅団地	6	66.7	50.0	33.3	50.0	50.0	16.7	
	駅前	20	40.0	30.0	25.0	20.0	25.0	10.0	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	ロードサイド	9	33.3	33.3	0.0	11.1	22.2	22.2	
その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0		

#### ④ 県に支援してほしい事業・取組（問 15-7）

県に支援してほしい事業・取組は、「防犯カメラ設置」が 37.9%で最も高く、次いで「街路灯(LED化も含む)修繕」(31.2%)、「イベント企画・開催」(26.9%)、「Wi-Fi(ネット環境)設置」(24.5%)、「高齢者等交流施設設置」(22.3%)、「ホームページ・SNSによる情報発信」(20.5%)などとなっている。

図表 227 県に支援してほしい事業・取組



県に支援してほしい事業・取組のうち、回答が多かった項目について地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域において、「街路灯(LED化も含む)修繕」や「イベント企画・開催」、「ホームページ・SNSによる情報発信」の割合が比較的高い。

「防犯カメラ設置」の割合が比較的高いのは、ブロック別に見ると長生、君津、立地環境別に見ると一般商店街、ロードサイドとなっている。

「街路灯(LED化も含む)修繕」の割合が比較的高いのは、地域・タイプ別に見るとA地域・広域+超広域、ブロック別に見ると香取、組織形態別に見ると振興組合となっている。

「イベント企画・開催」の割合が比較的高いのは、地域・タイプ別に見るとA地域・広域+超広域、ブロック別に見ると長生、夷隅、組織形態別に見ると振興組合、立地環境別に見ると、繁華街、駅前、ロードサイドとなっている。

「Wi-Fi(ネット環境)の設置」の割合が比較的高いのは、ブロック別に見ると香取、夷隅となっている。

図表 228 県に支援してほしい事業・取組  
(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	防犯カメラ の設置	街路灯(LED化も含む) の修繕	イベント企画・開催	Wi-Fi(ネット環境)の設置	高齢者等交流施設設置	ホームページ・SNSによる情報発信	
令和4年度	県全体	327	37.9	31.2	26.9	24.5	22.3	20.5	
地域・タイプ別	A地域	A地域計	244	35.2	31.1	27.9	24.6	22.1	20.9
		うち近隣+地域	196	41.3	35.2	29.1	28.6	26.0	23.0
		うち広域+超広域	12	25.0	50.0	66.7	25.0	16.7	50.0
		B地域計	67	43.3	28.4	22.4	20.9	20.9	17.9
ブロック	A地域	千葉	49	30.6	38.8	34.7	24.5	30.6	24.5
		葛南	66	40.9	36.4	31.8	25.8	24.2	19.7
		東葛飾	97	35.1	28.9	25.8	24.7	15.5	19.6
		印旛	32	31.3	15.6	15.6	21.9	25.0	21.9
	B地域	香取	11	27.3	45.5	18.2	36.4	27.3	27.3
		海匝	13	46.2	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7
		山武	7	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3
		長生	5	80.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0
		夷隅	8	37.5	25.0	50.0	37.5	0.0	50.0
		安房	7	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
		君津	16	50.0	37.5	18.8	6.3	31.3	6.3
組織形態	振興組合	51	43.1	45.1	41.2	23.5	35.3	29.4	
	協同組合	22	22.7	22.7	27.3	31.8	18.2	18.2	
	任意団体	228	41.7	32.5	26.3	26.3	21.9	21.1	
立地環境	繁華街	18	44.4	33.3	38.9	33.3	22.2	33.3	
	一般商店街	68	57.4	39.7	29.4	27.9	27.9	20.6	
	一般住宅街	76	35.5	34.2	13.2	17.1	17.1	15.8	
	住宅団地	14	21.4	14.3	35.7	28.6	14.3	21.4	
	駅前	72	37.5	37.5	40.3	31.9	30.6	27.8	
	駅ビル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	55.6	40.7	40.7	33.3	33.3	29.6	
	その他	12	33.3	25.0	33.3	33.3	25.0	25.0	

(注)複数回答

### ⑤ 商店街が必要とする情報（問 15- 8）

商店街が必要とする情報は、県全体では「補助制度や融資に関する情報」が 32.1%で最も高く、次いで「他商店街の先進事例」(26.9%)、「消費者の購買動向等の情報」(16.2%)、「空き店舗の借り手情報」(14.1%)、「都市開発、道路整備等の情報」(13.1%)などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、A地域・広域+超広域において「補助制度や融資に関する情報」や「空き店舗の借り手情報」、「都市開発、道路整備等の情報」の割合が比較的高くなっている。

図表 229 商店街が必要とする情報(県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別)

(単位:%)

		回答数 (n)	補助制度 や融資に 関する情 報	他商店街 の先進事 例	消費者の 購買動向 等の情報	空き店舗 の借り手 情報	都市開 発、道路 整備等の 情報	労働力確 保の情報	勉強会、 セミナー 等の情報	大型店出 店情報	コンサル タント(診 断士、税 理士等) の情報	無回答
令和4年度	県全体	327	32.1	26.9	16.2	14.1	13.1	7.6	6.7	3.7	3.4	35.2
地域・ タイプ	A地域	244	31.1	25.4	16.4	16.0	13.9	7.4	6.1	4.1	2.9	35.7
	うち近隣+地域	196	35.2	30.1	19.4	18.4	13.8	7.7	7.1	4.1	3.1	26.5
	うち広域+超広域	12	41.7	16.7	16.7	25.0	58.3	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7
	B地域計	67	34.3	29.9	14.9	9.0	9.0	9.0	6.0	1.5	4.5	34.3
ブロック	A地域	49	36.7	34.7	12.2	20.4	16.3	6.1	6.1	4.1	0.0	34.7
	葛南	66	34.8	19.7	15.2	16.7	10.6	6.1	6.1	4.5	6.1	37.9
	東葛飾	97	26.8	26.8	18.6	12.4	13.4	9.3	3.1	5.2	2.1	34.0
	印旛	32	28.1	18.8	18.8	18.8	18.8	6.3	15.6	0.0	3.1	37.5
	香取	11	45.5	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	18.2	27.3
	海匝	13	30.8	30.8	7.7	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	38.5
	B地域	7	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
	山武	5	40.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	長生	8	62.5	50.0	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
	夷隅	7	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1
	安房	16	25.0	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	31.3
	君津	16	25.0	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	31.3
組織 形態	振興組合	51	31.4	33.3	13.7	13.7	13.7	7.8	5.9	5.9	3.9	29.4
	協同組合	22	40.9	27.3	18.2	9.1	13.6	22.7	9.1	0.0	4.5	36.4
	任意団体	228	33.8	28.5	18.0	15.8	14.5	6.6	7.5	3.1	3.5	30.7
立地 環境	繁華街	18	38.9	27.8	27.8	11.1	33.3	11.1	11.1	5.6	5.6	22.2
	一般商店街	68	42.6	38.2	22.1	14.7	13.2	2.9	13.2	2.9	4.4	20.6
	一般住宅街	76	30.3	23.7	11.8	10.5	2.6	7.9	2.6	5.3	2.6	42.1
	住宅団地	14	42.9	21.4	0.0	14.3	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	28.6
	駅前	72	29.2	33.3	16.7	22.2	25.0	6.9	6.9	5.6	2.8	20.8
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ロードサイド	27	51.9	40.7	22.2	25.9	29.6	11.1	11.1	0.0	3.7	14.8
	その他	12	33.3	8.3	41.7	8.3	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3	33.3

(注)複数回答

⑥ 商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関（問 15-9）

商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関は、県全体では「商工会議所・商工会」が54.7%で最も高く、次いで「市町村」（42.5%）、「市町村の商店街連合会」（18.7%）などとなっている。

地域・タイプ別に見ると、「商工会議所・商工会」の割合が比較的高いのはA地域・広域＋超広域、B地域、「市町村の商店街連合会」の割合が比較的高いのはA地域・広域＋超広域となっている。

ブロック別に見ると、「商工会議所・商工会」の割合が比較的高いのは香取、長生、夷隅、安房、君津、「市町村」の割合が比較的高いのは夷隅、「市町村の商店街連合会」の割合が比較的高いのは香取となっている。

図表 230 商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関  
（県全体、地域・タイプ別、ブロック別、組織形態別、立地環境別）

（単位：％）

		回答数 (n)	商工会・ 商工会議 所	市町村	市町村の 商店街連 合会	隣接する 商店街	千葉県	中小企業 団体中央 会	中小企業 診断士・ 税理士な どの専門 家	地域住 民・NPO 法人	特に支援 は求めな かった	無回答	
令和4年度	県全体	327	54.7	42.5	18.7	4.9	4.6	4.6	2.8	1.8	8.6	20.8	
地域 タイプ	A地域計	244	52.0	45.5	20.5	5.3	4.1	4.5	3.3	1.2	9.0	20.9	
	うち近隣＋地域	196	57.1	51.5	22.4	5.6	4.1	4.1	3.1	1.5	10.2	11.7	
	うち広域＋超広域	12	75.0	41.7	33.3	8.3	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3	
	B地域計	67	67.2	32.8	13.4	4.5	7.5	6.0	1.5	4.5	6.0	19.4	
ブロック	A地域	千葉	49	49.0	42.9	18.4	2.0	4.1	8.2	6.1	0.0	8.2	18.4
		葛南	66	57.6	42.4	27.3	6.1	4.5	3.0	3.0	3.0	10.6	21.2
		東葛飾	97	48.5	49.5	15.5	8.2	4.1	4.1	2.1	0.0	10.3	19.6
		印旛	32	56.3	43.8	25.0	0.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	28.1
	B地域	香取	11	72.7	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2
		海匠	13	61.5	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1
		山武	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9
		長生	5	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0
		夷隅	8	75.0	62.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		安房	7	71.4	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
		君津	16	75.0	25.0	12.5	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5
形態 組織	振興組合	51	56.9	43.1	13.7	5.9	9.8	11.8	0.0	2.0	11.8	17.6	
	協同組合	22	45.5	27.3	4.5	0.0	0.0	27.3	22.7	0.0	9.1	31.8	
	任意団体	228	59.6	46.9	22.4	5.7	4.4	1.3	1.8	2.2	8.3	14.5	
立地 環境	繁華街	18	61.1	61.1	22.2	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	
	一般商店街	68	58.8	44.1	20.6	2.9	8.8	2.9	2.9	1.5	10.3	16.2	
	一般住宅街	76	52.6	46.1	18.4	5.3	1.3	2.6	2.6	2.6	10.5	17.1	
	住宅団地	14	28.6	35.7	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0	35.7	14.3	
	駅前	72	69.4	52.8	23.6	5.6	5.6	9.7	5.6	2.8	8.3	5.6	
	駅ビル	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ロードサイド	27	77.8	51.9	22.2	7.4	3.7	3.7	0.0	3.7	7.4	3.7	
その他	12	91.7	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)複数回答

### ⑦ 商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関の満足度（問 15-10）

商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関の満足度を見ると、「満足（満足＋どちらかと言えば）」とする回答は「地域住民・NPO法人」が 100.0%で最も高く、次いで「商工会・商工会議所」、「市町村の商店街連合会」（ともに 95.1%）となっている。その他の機関は「満足（満足＋どちらかと言えば）」とする回答がいずれも9割程度となっている。

図表 231 商店街事業実施に当たり支援（相談）を求めた機関の満足度

（単位：％）

	回答数 (n)	満足(満足+ どちらかと言 えれば満足)			不満(不満+ どちらかと言 えれば不満)			無回答
		満足	どちらかと言 えれば満足	満足(満足+ どちらかと言 えれば)	どちらかと言 えれば不満	不満	不満(不満+ どちらかと言 えれば)	
商工会・商工会議所	163	39.3	55.8	<b>95.1</b>	3.1	1.2	<b>4.3</b>	0.6
市町村	125	44.8	47.2	<b>92.0</b>	7.2	0.8	<b>8.0</b>	0.0
市町村の商店街連合会	58	39.3	55.8	<b>95.1</b>	3.1	1.2	<b>4.3</b>	0.6
千葉県	15	29.3	56.9	<b>86.2</b>	6.9	0.0	<b>6.9</b>	6.9
隣接する商店街	14	35.7	57.1	<b>92.9</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	7.1
中小企業団体中央会	13	38.5	53.8	<b>92.3</b>	7.7	0.0	<b>7.7</b>	0.0
中小企業診断士・税理士などの専門家	8	12.5	75.0	<b>87.5</b>	0.0	12.5	<b>12.5</b>	0.0
地域住民・NPO法人	5	40.0	60.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0
その他	2	100.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0